

14. 必要な要員及び資源の評価



## 目次

### 14. 必要な要員及び資源の評価

#### 14.1 必要な要員及び資源の評価条件

#### 14.2 重大事故等対策時に必要な要員の評価結果

#### 14.3 重大事故等対策時に必要な水源、燃料及び電源の評価結果

##### 14.3.1 水源の評価結果

##### 14.3.2 燃料の評価結果

##### 14.3.3 電源の評価結果



## 14. 必要な要員及び資源の評価

### 14.1 必要な要員及び資源の評価条件

必要な要員及び資源の評価は、対処に必要な要員及び資源が最も多くなる重大事故等の同時発生に対して成立性を確認する。重大事故等の同時発生の有効性評価は、外的事象の地震を代表事例としているため、必要な要員及び資源の評価についても外的事象の地震を条件とした場合に同時発生が想定される各重大事故等対策及び対策に必要な付帯作業を含めた重大事故等の同時発生への対処を対象に実施する。

なお、重大事故等の連鎖は、「13. 重大事故等が同時に又は連鎖して発生した場合の対処」に記載したとおり、発生が想定されない。

#### (1) 要員の評価条件

重大事故等への対処について、事業所内に常駐している実施組織要員の164人にて、対応期間の7日間の必要な作業対応が可能であることを評価する。

また、要員の評価は、必要人数が最も多くなる重大事故等の同時発生に対して成立性を確認する。

#### (2) 資源の評価条件

##### a. 全般

重大事故等対策の有効性評価において、通常系統からの給水及び給電が不可能となる事象についての水源、燃料及び電源に関する評価を実施する。

前提として、有効性評価の条件（各重大事故等への対処特有の評価条件）を考慮する。

また、資源の評価は、必要量が最も多くなる重大事故等の同時発生に対して成立性を確認する。

#### b. 水源

- (a) 冷却機能喪失による蒸発乾固の発生防止対策及び拡大防止対策において、水源となる第1貯水槽の一区画の保有水量（約10,000m<sup>3</sup>）が、枯渇しないことを評価する。
- (b) 冷却機能喪失による蒸発乾固の発生防止対策及び拡大防止対策において、内部ループへの通水、冷却コイル等への通水及び凝縮器への通水で使用した水を貯水槽へ戻し、再利用する際の温度上昇を想定しても、冷却の維持が可能なことを評価する。
- (c) 使用済燃料貯蔵プール等への注水において、水源となる第1貯水槽の一区画の保有水量（約10,000m<sup>3</sup>）が、枯渇しないことを評価する。
- (d) 冷却機能喪失による蒸発乾固の発生防止対策及び拡大防止対策で使用する第1貯水槽の区画と使用済燃料貯蔵プール等への注水で使用する第1貯水槽の区画は、異なる区画を使用する。

#### c. 燃料

- (a) 可搬型発電機（緊急時対策所電源設備の緊急時対策所用発電機は除く）、可搬型空気圧縮機、可搬型空冷ユニット用空気圧縮機、可搬型中型移送ポンプ、軽油用タンクローリ、可搬型中型移送ポンプ運搬車、ホース展張車、運搬車及びホイールローダのうち、対処に必要な設備を考慮し消費する燃料（軽油）が備蓄している軽油量に対して、対応期間の7日間の運転継続が可能であることを評価する。
- (b) 緊急時対策所電源設備の緊急時対策所用発電機で消費する燃料（重

油)が備蓄している重油量に対して、対応期間の7日間の運転継続が可能であることを評価する。

- (c) 可搬型発電機(緊急時対策所電源設備の緊急時対策所用発電機は除く)、可搬型空気圧縮機、可搬型空冷ユニット用空気圧縮機、可搬型中型移送ポンプ、軽油用タンクローリ、可搬型中型移送ポンプ運搬車、ホース展張車、運搬車及びホイールローダの使用を想定する事故条件については、可搬型発電機、可搬型空気圧縮機、可搬型空冷ユニット用空気圧縮機、可搬型中型移送ポンプ、軽油用タンクローリ、可搬型中型移送ポンプ運搬車、ホース展張車、運搬車及びホイールローダの燃料消費量の評価を行う。

この場合、燃料(軽油)の備蓄量として、軽油貯蔵タンク(約600m<sup>3</sup>)の容量を考慮する。

- (d) 緊急時対策所電源設備の緊急時対策所用発電機の使用を想定する事故条件については、緊急時対策所電源設備の緊急時対策所用発電機の燃料消費量の評価を行う。

この場合、燃料(重油)の備蓄量として、重油貯蔵タンク(約200m<sup>3</sup>)の容量を考慮する。

- (e) 燃料の必要量は、燃料を使用する設備の燃費(公称値)及び最大稼働時間に基づき算出する。

#### d. 電源

- (a) 前処理建屋可搬型発電機、分離建屋可搬型発電機、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋可搬型発電機、高レベル廃液ガラス固化建屋可搬型発電機及び制御建屋可搬型発電機により、有効性評価で考慮する設備に電源供給を行い、その最大負荷が各可搬型発電機の給電容量(約

80 k V A) 未満となることを評価する。

- (b) 排気モニタリング設備の可搬型発電機、代替環境モニタリング設備の可搬型発電機及び気象観測測定設備可搬型発電機により、有効性評価で考慮する設備に電源供給を行い、その最大負荷が可搬型発電機の給電容量（約3 k V A）未満となることを評価する。
- (c) 環境モニタリング設備用可搬型発電機により、有効性評価で考慮する設備に電源供給を行い、その最大負荷が可搬型発電機の給電容量（約5 k V A）未満となることを評価する。
- (d) 使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設可搬型発電機により、有効性評価で考慮する設備に電源供給を行い、その最大負荷が可搬型発電機の給電容量（約200 k V A）未満となることを評価する。
- (e) 緊急時対策所放射線計測設備の可搬型発電機により、有効性評価で考慮する設備に電源供給を行い、その最大負荷が可搬型発電機の給電容量（約3 k V A）未満となることを評価する。
- (f) 緊急時対策所電源設備の緊急時対策所用発電機により、有効性評価で考慮する設備に電源供給を行い、その最大負荷が可搬型発電機の給電容量（約1,700 k V A）未満となることを評価する。
- (g) 電源においては、それぞれ必要な負荷を積上げるとともに、その負荷の起動順序並びに動的負荷の起動時を考慮し評価する。

## 14.2 重大事故等対策時に必要な要員の評価結果

重大事故等が同時発生した場合において、重大事故等対策実施時の操作項目、必要な要員数及び移動時間を含めた各操作の所要時間について確認した。

重大事故等対策時に必要な要員数が最も多いのは、外的事象の地震を条件とした場合の重大事故等の同時発生であり、同時に作業している要員数の最大値は、130人であり、重大事故等の同時発生の対処に必要な要員は161人である。

事業所内に常駐している実施組織要員は164人であり、必要な作業対応が可能であることを確認した。

外的事象の地震を条件とした場合の重大事故等の同時発生の必要な要員及び作業項目を第14.2-1図から第14.2-10図に示す。また、外的事象の火山の影響を条件とした場合の重大事故等の同時発生の必要な要員及び作業項目を第14.2-11図から第14.2-20図に示す。

また、各条件での必要な要員について以下に示す。

外的事象の地震を条件として重大事故等が同時発生した場合、同時に作業している要員数の最大値は、130人であり、重大事故等の同時発生の対処に必要な要員は161人である。

外的事象の火山の影響を条件として重大事故等が同時発生した場合、同時に作業している要員数の最大値は、112人であり、重大事故等の同時発生の対処に必要な要員は160人である。

内的事象の「長時間の全交流動力電源の喪失」を条件として重大事故等が同時発生した場合は、外的事象の地震の場合に想定される環境条件より悪化することが想定されず、対処内容にも違いがないことから、必要な要員は合計161人以内である。

【補足説明資料14－1】

### 14.3 重大事故等対策時に必要な水源，燃料及び電源の評価結果

重大事故等が同時発生した場合において，7日間の重大事故等対策の継続に必要な水源，燃料及び電源を評価し，対応期間の7日間は，外部からの支援がない場合においても，必要量以上の水源，燃料及び電源が確保されていることを確認した。

重大事故等の同時発生時の対処に必要な水源，燃料及び電源についての評価の詳細を以下に示す。

### 14.3.1 水源の評価結果

重大事故等の同時発生時に水源を使用する対処は、冷却機能の喪失による蒸発乾固対策の内部ループへの通水，冷却コイル等への通水，凝縮器への通水及び機器への注水並びに使用済燃料貯蔵プール等への注水（想定事故2）である。

冷却機能の喪失による蒸発乾固対策の内部ループへの通水，冷却コイル等への通水，凝縮器への通水及び機器への注水で使用する第1貯水槽の区画と使用済燃料貯蔵プール等への注水（想定事故2）で使用する第1貯水槽の区画は異なるものを使用することを想定し評価する。

(1) 内部ループへの通水，冷却コイル等への通水及び凝縮器への通水による水の温度影響評価

第1貯水槽の一区画及び通水経路からの放熱を考慮せず断熱を仮定した場合であっても，内部ループへの通水，冷却コイル等への通水及び凝縮器への通水で使用する第1貯水槽の一区画の水温の上昇は1日あたり約3.1℃であり，実際の放熱を考慮すれば冷却を維持することは可能である。

水の温度影響評価の詳細を以下に示す。

内部ループへの通水，冷却コイル等への通水及び凝縮器への通水に使用した排水は，第1貯水槽の一区画へ戻し再利用する。この場合，第1貯水槽の水量は，貯槽等への注水並びに第1貯水槽及び可搬型排水受槽の開口部からの自然蒸発によって減少するが，第1貯水槽及び可搬型排水受槽の開口部は小さく，自然蒸発の影響は小さいことから，貯槽等への注水による減少分を考慮した第1貯水槽の一区画の温度上昇を算出するとともに，冷却への影響を分析した。

第1貯水槽の水の温度への影響の評価の条件は，外的事象の地震又

は火山の影響の想定によらず同じである。

第1貯水槽の一区画の水温の上昇は以下の仮定により算出した。

冷却対象貯槽の総熱負荷	:	1,470 kW
第1貯水槽の水量	:	9,970m <sup>3</sup> ※1
第1貯水槽の初期水温	:	29°C
第1貯水槽の水の密度	:	996 kg / m <sup>3</sup> ※2
第1貯水槽の水の比熱	:	4,179 J / kg / K※2

※1 機器に内包する溶液が沸騰することによって消費する蒸発量を30m<sup>3</sup>とし、第1貯水槽の一区画分の容積10,000m<sup>3</sup>から減じて設定。

※2 伝熱工学資料第4版 300Kの水の物性を引用

貯槽等から回収した熱量はそのまま第1貯水槽の水に与えられることから、第1貯水槽の1日あたりの水温上昇 $\Delta T$ は次のとおり算出される。

$$\begin{aligned}\Delta T [^\circ\text{C}/\text{日}] &= 1,470,000 [\text{J}/\text{s}] \times 86,400 [\text{s}/\text{日}] \\ &\quad / (9,970 [\text{m}^3] \times 996 [\text{kg}/\text{m}^3] \times 4,179 [\text{J}/\text{kg}/\text{K}]) \\ &= \text{約 } 3.1^\circ\text{C}/\text{日}\end{aligned}$$

なお、上記に示したとおり、自然蒸発による第1貯水槽の水の減少は、第1貯水槽及び可搬型排水受槽の開口部の構造上の特徴から、有意な量の水が蒸発することは考え難いが、自然蒸発による第1貯水槽の水の減少が第1貯水槽の水の温度に与える影響を把握する観点から、現実的には想定し得ない条件として、冷却対象貯槽等の総熱負荷によ

り第1貯水槽の水が蒸発する想定を置いた場合の第1貯水槽の水の温度上昇を評価する。

本想定における第1貯水槽の水の蒸発量は約 $310\text{m}^3$ となる。これを考慮し、第1貯水槽の水量を $9,690\text{m}^3$ と設定した場合、第1貯水槽の温度上昇は約 $3.2^\circ\text{C}/\text{日}$ であり、自然蒸発による第1貯水槽の水の減少が第1貯水槽の水の温度に与える影響は小さいと判断できる。

## (2) 水の使用量の評価

機器への注水に必要な水量は、冷却コイル等への通水開始し、高レベル廃液等が未沸騰状態に移行するまでの期間を考慮すると、外的事象の地震又は火山の影響の想定によらず、合計約 $26\text{m}^3$ の水が必要である。水源として、第1貯水槽の一区画に約 $10,000\text{m}^3$ の水を保有しており、これにより、必要な水源は確保可能である。

使用済燃料貯蔵プール等への注水（想定事故2）に必要な水量は、対応期間である7日間の対応を考慮すると、合計約 $2,300\text{m}^3$ の水が必要である。水源として、第1貯水槽の一区画に約 $10,000\text{m}^3$ の水を保有しており、これにより必要な水源は確保可能である。

また、重大事故等の同時発生時の水源としては、第1貯水槽のみでの対処が可能であるが、万が一第1貯水槽で保有する水が不足した場合、第2貯水槽からの第1貯水槽への供給も可能である。

水の使用量の評価の詳細を以下に示す。

### (a) 貯槽等への注水

貯槽等への注水によって消費される水量は、冷却コイル等へ通水開始し、高レベル廃液等が未沸騰状態に移行するまでの期間を考慮すると、外的事象の地震又は火山の影響の想定によらず、合計約 $26$

m<sup>3</sup>の水が必要である。水源として、第1貯水槽の一区画に約10,000m<sup>3</sup>の水を保有しており、これにより、必要な水源は確保可能である。

貯槽等への注水によって消費される水量についての詳細を以下に示す。

前処理建屋	約 <u>0</u> m <sup>3</sup>
分離建屋	約 <u>1.4</u> m <sup>3</sup>
精製建屋	約 <u>2.1</u> m <sup>3</sup>
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	約 <u>0.2</u> m <sup>3</sup>
高レベル廃液ガラス固化建屋	約 <u>23</u> m <sup>3</sup>
全建屋合計	約 <u>26</u> m <sup>3</sup>

また、代替安全冷却水系と第1貯水槽間を循環させるために必要な水量は、約3,000m<sup>3</sup>である。

(b) 燃料貯蔵プール等への注水

燃料貯蔵プール等への注水に必要な水量は、7日間の対応を考慮すると、以下に示す量の水が必要である。

外的事象の火山の影響を条件とした場合の想定事故1

必要水量 約1,600m<sup>3</sup>

外的事象の地震を条件とした場合の想定事故2

必要水量 約2,300m<sup>3</sup>

【補足説明資料14-2】

### 14.3.2 燃料の評価結果

重大事故等の同時発生時に必要な燃料（軽油）は、合計約85m<sup>3</sup>であり、軽油貯蔵タンクにて約600m<sup>3</sup>の軽油を確保していることから、外部支援を考慮しなくとも7日間の対処の継続が可能である。

重大事故等の同時発生時に必要な燃料（重油）は、合計約69m<sup>3</sup>であり、重油貯蔵タンクにて約200m<sup>3</sup>の重油を確保していることから、外部支援を考慮しなくとも7日間の対処の継続が可能である。

燃料の評価の詳細を以下に示す。

- (1) 内部ループへの通水，機器への注水，冷却コイル等への通水及び凝縮器への通水に使用する可搬型中型移送ポンプ

冷却機能の喪失による蒸発乾固の発生防止対策及び拡大防止対策に使用する可搬型中型移送ポンプによる各建屋の水の給排水については、可搬型中型移送ポンプの起動から7日間の対応を考慮すると、外的事象の地震又は火山の影響の想定によらず、運転継続に合計約40m<sup>3</sup>の軽油が必要である。

**【第1貯水槽から建屋への水供給及び建屋から第1貯水槽への排水】**

前処理建屋	約12m <sup>3</sup>
分離建屋，精製建屋及びウラン・プルトニウム混合脱硝理建屋	約14m <sup>3</sup>
高レベル廃液ガラス固化建屋	約14m <sup>3</sup>
全建屋合計	約40m <sup>3</sup>

- (2) 使用済燃料貯蔵プール等への注水に使用する可搬型中型移送ポンプ

使用済燃料受入れ・貯蔵建屋の燃料貯蔵プール等への注水に使用する可搬型中型移送ポンプによる貯水槽から使用済燃料貯蔵プール等へ

の水の注水は、可搬型中型移送ポンプの起動から7日目までの運転を想定すると、外的事象の地震又は火山の影響の想定によらず、運転継続に合計約7.3m<sup>3</sup>の軽油が必要となる。

(3) 各建屋の可搬型排風機の運転等に使用する可搬型発電機

冷却機能の喪失による蒸発乾固及び水素掃気機能の喪失による水素爆発が発生した際に、大気中への放射性物質の放出量を低減するために使用する前処理建屋の可搬型排風機等は、前処理建屋可搬型発電機から、分離建屋の可搬型排風機等は、分離建屋可搬型発電機から、精製建屋及びウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の可搬型排風機等は、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋可搬型発電機から、高レベル廃液ガラス固化建屋の可搬型排風機等は、高レベル廃液ガラス固化建屋可搬型発電機からそれぞれ必要な電源を供給する。

可搬型発電機による電源供給は、可搬型発電機の起動から7日目までの運転を想定すると、外的事象の地震又は火山の影響の想定によらず、運転継続に合計約12m<sup>3</sup>の軽油が必要となる。

前処理建屋	約2.9m <sup>3</sup>
分離建屋	約3.0m <sup>3</sup>
精製建屋及びウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	約3.0m <sup>3</sup>
高レベル廃液ガラス固化建屋	約3.0m <sup>3</sup>
全建屋合計	約12m <sup>3</sup>

(4) 使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設可搬型発電機

使用済燃料貯蔵プール等への注水時に使用する使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設可搬型発電機による電源供給は、可搬型発電機の起

動から7日目までの運転を想定すると、外的事象の地震又は火山の影響の想定によらず、運転継続に合計約5.3m<sup>3</sup>の軽油が必要となる。

(5) 制御建屋可搬型発電機

制御建屋可搬型発電機による電源供給は、可搬型発電機の起動から7日目までの運転を想定すると、外的事象の地震又は火山の影響の想定によらず、運転継続に合計約3.0m<sup>3</sup>の軽油が必要となる。

(6) 緊急時対策所放射線計測設備の可搬型発電機

緊急時対策所放射線計測設備の可搬型環境モニタリング設備の可搬型発電機による電源供給は、重大事故等の発生直後から7日目までの運転を想定すると、外的事象の地震又は火山の影響の想定によらず、運転継続に合計約0.21m<sup>3</sup>の軽油が必要となる。

(7) 緊急時対策所電源設備の緊急時対策所用発電機

緊急時対策所用発電機による電源供給は、外部交流電源の喪失後から7日目までの運転を想定すると、外的事象の地震又は火山の影響の想定によらず、運転継続に合計約69m<sup>3</sup>の重油が必要となる。

(8) 排気モニタリング設備の可搬型発電機

排気モニタリング設備の可搬型発電機による電源供給は、可搬型発電機の起動から7日目までの運転を想定すると、外的事象の地震又は火山の影響の想定によらず、運転継続に合計約0.22m<sup>3</sup>の軽油が必要となる。

(9) 代替環境モニタリング設備の可搬型発電機

代替環境モニタリング設備の可搬型発電機による電源供給は、可搬型発電機の起動から7日目までの運転を想定すると、外的事象の地震又は火山の影響の想定によらず、運転継続に合計約2.0m<sup>3</sup>の軽油が必要となる。

モニタリングポスト及びダストモニタが機能維持している場合は、モニタリングポスト及びダストモニタにより監視を継続するため、代替環境モニタリング設備の可搬型発電機は使用しない。

(10) 気象観測測定設備可搬型発電機

気象観測測定設備可搬型発電機による電源供給は、可搬型発電機の起動から7日目までの運転を想定すると、外的事象の地震又は火山の影響の想定によらず、運転継続に合計約0.22m<sup>3</sup>の軽油が必要となる。

(11) 環境モニタリング設備用可搬型発電機

環境モニタリング設備用可搬型発電機による電源供給は、可搬型発電機の起動から7日目までの運転を想定すると、外的事象の地震又は火山の影響の想定によらず、運転継続に合計約4.0m<sup>3</sup>の軽油が必要となる。

モニタリングポスト及びダストモニタが機能喪失した場合は、可搬型環境モニタリング設備により監視を行うため、環境モニタリング設備用可搬型発電機は使用しない。

(12) 可搬型空気圧縮機

前処理建屋可搬型空気圧縮機，分離建屋可搬型空気圧縮機，ウラ

ン・プルトニウム混合脱硝建屋可搬型空気圧縮機，高レベル廃液ガラス固化建屋可搬型空気圧縮機による水素掃気用の圧縮空気供給及び重大事故等計装設備の可搬型液位計への圧縮空気の供給は，可搬型空気圧縮機の起動から7日目までの運転を想定すると，外的事象の地震又は火山の影響の想定によらず，運転継続に合計約6.0m<sup>3</sup>の軽油が必要となる。

前処理建屋	約1.4m <sup>3</sup>
分離建屋	約1.6m <sup>3</sup>
精製建屋及びウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	約1.6m <sup>3</sup>
高レベル廃液ガラス固化建屋	約1.3m <sup>3</sup>
全建屋合計	約6.0m <sup>3</sup>

(13) 可搬型空冷ユニット用空気圧縮機

可搬型空冷ユニット用空気圧縮機による監視設備の保護のため冷却空気の供給は，可搬型空冷ユニット用空気圧縮機の起動から7日目までの運転を想定すると，外的事象の地震又は火山の影響の想定によらず，運転継続に合計約0.20m<sup>3</sup>の軽油が必要となる。

(14) 冷却機能の喪失による蒸発乾固，水素掃気機能の喪失による水素爆

発及び使用済燃料貯蔵プール等への注水対応時の運搬等に必要な車両軽油用タンクローリ，可搬型中型移送ポンプ運搬車，ホース展張車，運搬車及びホイールローダによる燃料及び可搬型重大事故等対処設備の運搬及び設置並びにアクセスルートの整備については，外的事象の地震を想定した場合，7日間の運転継続に合計約4.7m<sup>3</sup>の軽油が必要となる。また，外的事象の火山の影響を想定した場合，7日間の運転

継続に合計約4.8m<sup>3</sup>の軽油が必要となる。

**【補足説明資料14－3】**

### 14.3.3 電源の評価結果

#### (1) 各建屋の可搬型排風機等の運転に使用する可搬型発電機

##### a. 前処理建屋可搬型発電機

前処理建屋可搬型発電機の電源負荷は、前処理建屋における冷却機能の喪失による蒸発乾固及び水素掃気機能の喪失による水素爆発時の大気中への放射性物質の放出量の低減のために使用する可搬型排風機等の運転に必要な負荷として約12 kVAであり、可搬型排風機の起動時を考慮すると約46 kVAの給電が必要である。

前処理建屋可搬型発電機の供給容量は、約80 kVAであり、必要負荷に対しての電源供給が可能である。

##### b. 分離建屋可搬型発電機

分離建屋可搬型発電機の電源負荷は、分離建屋における冷却機能の喪失による蒸発乾固及び水素掃気機能の喪失による水素爆発時の大気中への放射性物質の放出量の低減のために使用する可搬型排風機等の運転に必要な負荷として約13 kVAであり、可搬型排風機の起動時を考慮すると約39 kVAの給電が必要である。

分離建屋可搬型発電機の供給容量は、約80 kVAであり、必要負荷に対しての電源供給が可能である。

##### c. ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋可搬型発電機

ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋可搬型発電機の電源負荷は、精製建屋及びウラン・プルトニウム混合脱硝建屋における冷却機能の喪失による蒸発乾固及び水素掃気機能の喪失による水素爆発時の大気中への放射性物質の放出量の低減のために使用する精製建屋及びウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の可搬型排風機等の運転に必要な負荷として約24 kVAであり、可搬型排風機の起動時を考慮すると約45 k

V Aの給電が必要である。

ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋可搬型発電機の供給容量は、約80 k V Aであり、必要負荷に対しての電源供給が可能である。

d. 高レベル廃液ガラス固化建屋可搬型発電機

高レベル廃液ガラス固化建屋可搬型発電機の電源負荷は、高レベル廃液ガラス固化建屋における冷却機能の喪失による蒸発乾固及び水素掃気機能の喪失による水素爆発時の大気中への放射性物質の放出量の低減のために使用する可搬型排風機等の運転に必要な負荷として約11 k V Aであり、可搬型排風機の起動時を考慮すると約39 k V Aの給電が必要である。

高レベル廃液ガラス固化建屋可搬型発電機の供給容量は、約80 k V Aであり、必要負荷に対しての電源供給が可能である。

(2) 排気モニタリング設備の可搬型発電機

排気モニタリング設備の可搬型発電機の電源負荷は、主排気筒から大気中への放射性物質の放出状況の監視に必要な負荷として、約2.8 k V Aであり、対象負荷の起動時を考慮しても約2.8 k V Aである。

排気モニタリング設備の可搬型発電機の供給容量は、約3 k V Aであり、必要負荷に対しての電源供給が可能である。

(3) 使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設可搬型発電機

使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設可搬型発電機の電源負荷は、使用済燃料貯蔵プール等への注水に必要な負荷として、約110 k V Aであり、対象負荷の起動時を考慮すると約150 k V Aの給電が必要である。

使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設可搬型発電機の供給容量は約

200 k V Aあり，必要負荷に対しての電源供給が可能である。

(4) 制御建屋可搬型発電機

制御建屋可搬型発電機の電源負荷は，制御建屋の中央制御室にとどまるための換気機能<sup>1)</sup>を確保する際に，中央制御室の空気を清浄に保つために使用する制御建屋の可搬型送風機の運転等に必要な負荷として約5.2 k V Aであり，可搬型送風機の起動時を考慮すると約39 k V Aの給電が必要である。

制御建屋可搬型発電機の供給容量は，約80 k V Aであり，必要負荷に対しての電源供給が可能である。

(5) 代替環境モニタリング設備の可搬型発電機

代替環境モニタリング設備の可搬型発電機の電源負荷は，周辺監視区域における放射性物質の濃度及び線量の測定に必要な負荷として，約0.8 k V Aであり，対象負荷の起動時を考慮しても約0.80 k V Aである。

排気監視測定設備可搬型発電機の供給容量は，約3 k V Aであり，必要負荷に対しての電源供給が可能である。

(6) 気象観測測定設備可搬型発電機

気象観測測定設備可搬型発電機の電源負荷は，敷地内において風向，風速その他の気象条件の測定に必要な負荷として，約0.84 k V Aであり，対象負荷の起動時を考慮しても約0.84 k V Aである。

排気監視測定設備可搬型発電機の供給容量は，約3 k V Aであり，必要負荷に対しての電源供給が可能である。

(7) 環境モニタリング設備用可搬型発電機

環境モニタリング設備用可搬型発電機の電源負荷は、周辺監視区域における放射性物質の濃度及び線量の測定に必要な負荷として、約2.4 kVAであり、対象負荷の起動時を考慮しても約2.4 kVAである。

環境モニタリング設備用可搬型発電機の供給容量は、約5 kVAであり、必要負荷に対しての電源供給が可能である。

(8) 緊急時対策所放射線計測設備可搬型発電機

緊急時対策所放射線計測設備可搬型発電機の電源負荷は、重大事故等に伴う大気中への放射性物質の放出状況の監視に必要な負荷として、約0.8 kVAであり、対象負荷の起動時を考慮しても約0.8 kVAである。

緊急時対策所放射線計測設備可搬型発電機の供給容量は、約3 kVAであり、必要負荷に対しての電源供給が可能である。

(9) 緊急時対策所電源設備の緊急時対策所用発電機

緊急時対策所の電源設備は、非常用電源系統とは異なる代替電源として独立した設計としている。

緊急時対策所用発電機の電源負荷は、緊急時対策所の居住性を確保するための設備、重大事故等に対処するために必要な指示及び通信連絡に関わる設備の機能を維持するために必要な負荷として約1,200 kVAの給電が必要である。

緊急時対策所用発電機の供給容量は、約1,700 kVAであり、必要負荷に対しての電源供給が可能である。

対策	作業番号	作業内容	作業班	要員数	所要時間※ (時:分)	経過時間(時:分)																								
						0:00	1:00	2:00	3:00	4:00	5:00	6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00	
現場環境確認	-	-	建屋内のアクセスルートの確認及び可搬型通話装置の設置	建屋内37班, 建屋内38班 建屋内39班	6	1:20																								
蒸発乾固発生防止	AA 19	-膨張槽液位確認	建屋内12班, 建屋内13班	4	1:30																									
	AA 22	-可搬型貯槽温度計設置及び貯槽溶液温度計測	建屋内14班, 建屋内15班	4	1:10																									
	AA 20	-内部ループ通水準備(可搬型建屋内ホース敷設, 接続, 隔離)	建屋内16班, 建屋内17班	4	1:00																									
	AA 21	-内部ループ通水(弁操作, 漏えい確認, 内部ループ健全性確認, 冷却水流量(内部ループ通水)確認)	建屋内14班	2	0:30																									
	AA 23	-貯槽溶液温度計測	建屋内15班	2	0:40																									
	AA 受血	-可搬型漏えい液受血液計設置(漏えい液受血液位測定)	建屋内16班, 建屋内17班	4	1:35																									
蒸発乾固拡大防止	AA 24	-可搬型建屋内ホース敷設, 接続	建屋内16班, 建屋内17班	4	1:00																									
	AA 25	-可搬型貯槽液位計設置及び貯槽液位計測	建屋内13班, 建屋内14班 建屋内15班	6	1:10																									
	AA 26	-貯槽注水, 漏えい確認等	建屋内28班	2	0:30																									
	AA 27	-貯槽液位計測	建屋内29班	2	0:40																									
水素爆発発生防止	AA 1	-可搬型建屋外ホース敷設	建屋内22班, 建屋内23班	4	1:30																									
	AA 2	-可搬型貯槽空気圧縮空気流量計, 可搬型水素掃気系統圧縮空気圧力計設置及び可搬型セル導出ユニット流量計設置	建屋内24班, 建屋内25班	4	0:25																									
	AA 3	-可搬型建屋内ホース敷設, 接続	建屋内24班, 建屋内25班	4	0:35																									
	AA 4	-可搬型空気圧縮機起動	建屋内24班, 建屋内25班	4	0:15																									
	AA 5	-可搬型空気圧縮機からの供給開始, 可搬型水素掃気系統圧縮空気圧力確認	放対6班	2	0:10																									
	AA 6	-水素掃気系統圧縮空気圧力及び貯槽掃気流量確認, 貯槽掃気流量調整, 可搬型セル導出ユニット流量確認	建屋内22班, 建屋内23班	4	1:00																									
水素爆発拡大防止	AA 7	-可搬型貯槽掃気圧縮空気流量計設置	建屋内24班, 建屋内25班	4	0:25																									
	AA 8	-可搬型建屋内ホース敷設, 接続	建屋内24班, 建屋内25班	4	0:25																									
	AA 9	-可搬型空気圧縮機からの供給開始	建屋内25班	2	0:10																									
	AA 10	-貯槽掃気流量確認, 貯槽掃気流量調整, 可搬型セル導出ユニット流量確認	建屋内22班, 建屋内23班	4	0:50																									
前処理建屋	AA 28	-可搬型建屋内ホース敷設, 接続, 隔離掃気温度計設置	建屋内16班, 建屋内17班	4	0:30																									
	AA 29	-凝縮器通水, 漏えい確認及び凝縮器通水流量監視	建屋内16班	2	0:40																									
	AA 11	-ダンパ閉止	建屋内33班	2	1:00																									
	AA 12	-隔離弁の操作, 可搬型セル導出ユニット流量計設置, 可搬型凝縮器通水流量計設置	建屋内32班	2	0:45																									
	AA 14	-可搬型導出先セル圧力計設置, 可搬型薬ガス洗浄塔入口圧力計設置	建屋内34班	2	1:20																									
	AA 15	-可搬型電源ケーブル敷設	制御室1班, 制御室2班 制御室3班	6	1:00																									
	AA 15	-可搬型ダクト, 可搬型フィルタ設置, 可搬型排風機設置	放対6班, 放対7班 放対8班, 放対9班	6	2:30																									
	AA 16	-可搬型発電機起動	制御室1班	2	0:15																									
	AA 17	-可搬型排風機起動準備	放対6班, 放対7班	4	0:15																									
	AA 13	-可搬型水素濃度計設置	建屋内46班, 建屋内47班	4	0:30																									
AA 31	-水素濃度測定	建屋内13班, 建屋内43班 建屋内46班	6	3:10																										
AA 18	-可搬型導出先セル圧力計確認, 可搬型排風機起動	放対6班, 放対7班 放対8班, 放対9班	6	1:00																										
蒸発乾固拡大防止	AAコ1 1	-可搬型建屋内ホース等運搬(前処理建屋内部ループ1)	建屋内17班	2	0:50																									
	AAコ1 2	-冷却コイル又は冷却ジャケット通水準備(可搬型建屋内ホース敷設, 冷却コイル圧力計設置, 接続(前処理建屋内部ループ1))	建屋内20班, 建屋内21班	4	1:30																									
	AAコ1 3	-冷却コイル又は冷却ジャケット通水(弁操作, 漏えい確認, 冷却コイル又は冷却ジャケット健全性確認, 冷却水圧力(冷却コイル通水)確認)(前処理建屋内部ループ1)	建屋内22班, 建屋内23班 建屋内24班	6	1:10																									
	AAコ1 4	-冷却コイル通水(弁操作, 漏えい確認, 冷却水圧力(冷却コイル通水)確認)(前処理建屋内部ループ1)	建屋内20班, 建屋内21班	4	0:15																									
	AAコ2 1	-可搬型建屋内ホース等運搬(前処理建屋内部ループ2)	建屋内20班	2	1:20																									
	AAコ2 2	-冷却コイル又は冷却ジャケット通水準備(可搬型建屋内ホース敷設, 冷却コイル圧力計設置, 接続(前処理建屋内部ループ2))	建屋内22班, 建屋内23班 建屋内24班, 建屋内25班	8	1:20																									
AAコ2 3	-冷却コイル又は冷却ジャケット通水(弁操作, 漏えい確認, 冷却コイル又は冷却ジャケット健全性確認, 冷却水圧力(冷却コイル通水)確認)(前処理建屋内部ループ2)	建屋内13班, 建屋内14班 建屋内15班, 建屋内16班	8	1:30																										
AAコ2 4	-冷却コイル通水(弁操作, 漏えい確認, 冷却水圧力(冷却コイル通水)確認)(前処理建屋内部ループ2)	建屋内25班	2	0:30																										
計器監視燃料の補給	AA 30	-計器監視(貯槽溶液温度, 水素掃気圧縮空気圧力, 水素掃気系統圧縮空気圧力, 貯槽掃気流量, 冷却水流量(内部ループ通水), 溶解セル圧力, 放射性配管分岐第1セル圧力, 水素濃度, 貯槽液位, 凝縮器出口水温度, 凝縮器通水流量), 可搬型発電機及び可搬型空気圧縮機等への燃料の補給	建屋内11班, 建屋内12班	4	-																									

※: 各作業内容の実施に必要な時間を示す。(複数回に分けて実施の場合は, 作業時間の合計)

第14.2-1 図 地震を想定した重大事故等が同時発生した場合の前処理建屋における必要な要員及び作業項目 (その1)

対策	作業番号	作業内容	作業班	要員数	経過時間(時:分)																								
					24:00	25:00	26:00	27:00	28:00	29:00	30:00	31:00	32:00	33:00	34:00	35:00	36:00	37:00	38:00	39:00	40:00	41:00	42:00	43:00	44:00	45:00	46:00	47:00	
現場環境確認	-	-	建屋内のアクセスルートの確認及び可搬型電話装置の設置	建屋内37班, 建屋内38班 建屋内39班	6																								
蒸発乾固発生防止	AA 19	膨張槽液位確認	建屋内12班, 建屋内13班	4	F11 → 建屋内12, 13班 → AA25(建屋内13班), AA30(建屋内13班)																								
	AA 22	可搬型貯槽温度計設置及び貯槽溶液温度計測	建屋内14班, 建屋内15班	4	F9(建屋内15班), F11(建屋内14班) → 建屋内14, 15班 → AA21(建屋内14班), AA23(建屋内15班)																								
	AA 20	内部ループ過水準備(可搬型建屋内ホース敷設, 接続, 隔離)	建屋内16班, 建屋内17班	4	AA免直 → 建屋内16, 17班 → AA24																								
	AA 21	内部ループ過水(弁操作, 漏えい確認, 内部ループ健全性確認, 冷却水流量(内部ループ過水)確認)	建屋内14班	2	AA22 → 建屋内14班 → AA25																								
	AA 23	貯槽溶液温度計測	建屋内15班	2	AA22 → 建屋内15班 → AA25																								
	AA 受直	可搬型深えい液受血液計設置(深えい液受血液位測定)	建屋内16班, 建屋内17班	4	F9 → 建屋内16, 17班 → AA20																								
蒸発乾固拡大防止	AA 24	可搬型建屋内ホース敷設, 接続	建屋内16班, 建屋内17班	4	AA20 → 建屋内16, 17班 → AA28																								
	AA 25	可搬型貯槽液位計設置及び貯槽液位計測	建屋内13班, 建屋内14班 建屋内15班	6	AA19(建屋内13班), AA21(建屋内14班), AA23(建屋内15班) → 建屋内13, 14, 15班 → AA32 3																								
	AA 26	貯槽注水, 漏えい確認等	建屋内28班	2																									
	AA 27	貯槽液位計測	建屋内29班	2																									
水素爆発発生防止	AA 1	可搬型建屋外ホース敷設	建屋内22班, 建屋内23班	4	AC31 4(建屋内22班), AC32 2(建屋内23班) → 建屋内22, 23班 → AA6																								
	AA 2	可搬型貯槽圧縮空気流量計, 可搬型水素掃気系統圧縮空気圧力計設置及び可搬型セル導出ユニット流量計設置	建屋内24班, 建屋内25班	4	AC32 2 → 建屋内24, 25班 → AA7																								
	AA 3	可搬型建屋内ホース敷設, 接続	建屋内24班, 建屋内25班	4	AA18 → 放対6班 → AA7																								
	AA 4	可搬型空気圧縮機起動	建屋内24班, 建屋内25班	4	AA18 → 放対6班 → AA7																								
	AA 5	可搬型空気圧縮機からの供給開始, 可搬型水素掃気系統圧縮空気圧力確認	放対6班	2	AA18 → 放対6班 → AA7																								
	AA 6	水素掃気系統圧縮空気圧力及び貯槽掃気流量確認, 貯槽掃気流量調整, 可搬型セル導出ユニット流量確認	建屋内22班, 建屋内23班	4	AA1 → 建屋内22, 23班 → AA10																								
水素爆発拡大防止	AA 7	可搬型貯槽圧縮空気流量計設置	建屋内24班, 建屋内25班	4	AA4 → 建屋内24, 25班 → AA32 2(建屋内24班)																								
	AA 8	可搬型建屋内ホース敷設, 接続	建屋内24班, 建屋内25班	4	AA4 → 建屋内24, 25班 → AA32 2(建屋内24班)																								
	AA 9	可搬型空気圧縮機からの供給開始	建屋内25班	2	AA4 → 建屋内24, 25班 → AA32 2(建屋内24班)																								
	AA 10	貯槽掃気流量確認, 貯槽掃気流量調整, 可搬型セル導出ユニット流量確認	建屋内22班, 建屋内23班	4	AA6 → 建屋内22, 23班 → AA32 2																								
前処理建屋	AA 28	可搬型建屋内ホース敷設, 接続, 隔離掃気温度計設置	建屋内16班, 建屋内17班	4	AA24 → 建屋内16, 17班 → AA31 1(建屋内17班)																								
	AA 29	凝縮器過水, 漏えい確認及び凝縮器過水流量監視	建屋内16班	2	AA24 → 建屋内16班 → AA32 3																								
	AA 11	ダンパ閉止	建屋内33班	2																									
	AA 12	隔離弁の操作, 可搬型セル導出ユニット流量計設置, 可搬型凝縮器過水流量計設置	建屋内32班	2																									
	AA 14	可搬型導出先セル圧力計設置, 可搬型廃ガス洗浄塔入口圧力計設置	建屋内34班	2																									
	AA 15	可搬型電源ケーブル敷設	制御室1班, 制御室2班 制御室3班	6																									
	AA 15	可搬型ダクト, 可搬型フィルタ設置, 可搬型排風機設置	放対6班, 放対7班 放対8班, 放対9班	6	AA15(放対6班) → 放対6, 7班 → AA18																								
	AA 16	可搬型発電機起動	制御室1班	2																									
	AA 17	可搬型排風機起動準備	放対6班, 放対7班	4	AA15(放対6班) → 放対6, 7班 → AA18																								
	AA 13	可搬型水素濃度計設置	建屋内46班, 建屋内47班	4																									
拡大防止(放出防止)	AA 31	水素濃度測定	建屋内43班, 建屋内44班 建屋内46班	6	AA15(放対6班), AA17(放対6, 7班) → 放対6, 7, 8, 9班 → AA5(放対6班)																								
	AA 18	可搬型導出先セル圧力計確認, 可搬型排風機起動	放対6班, 放対7班 放対8班, 放対9班	6	AA15(放対6班), AA17(放対6, 7班) → 放対6, 7, 8, 9班 → AA5(放対6班)																								
	AA21 1	可搬型建屋内ホース等運搬(前処理建屋内部ループ1)	建屋内17班	2																									
	AA21 2	冷却コイル又は冷却ジャケット過水準備(可搬型建屋内ホース敷設, 冷却コイル圧力計設置, 接続)(前処理建屋内部ループ1)	建屋内20班, 建屋内21班	4	AA23 → AA32 3(建屋内20班) → 建屋内20, 21班 → AA31 4																								
	AA21 3	冷却コイル又は冷却ジャケット過水(弁操作, 漏えい確認, 冷却コイル又は冷却ジャケット健全性確認, 冷却水圧力(冷却コイル過水)確認)(前処理建屋内部ループ1)	建屋内22班, 建屋内23班 建屋内24班	6	AA32 2 → 建屋内22, 23, 24班 → AA31 2																								
	AA21 4	冷却コイル過水(弁操作, 漏えい確認, 冷却水圧力(冷却コイル過水)確認)(前処理建屋内部ループ1)	建屋内20班, 建屋内21班	4	AA31 2 → 建屋内20, 21班 → AA31 2																								
蒸発乾固拡大防止	AA22 1	可搬型建屋内ホース等運搬(前処理建屋内部ループ2)	建屋内20班	2	AA32 4 → 建屋内20班 → AA31 2																								
	AA22 2	冷却コイル又は冷却ジャケット過水準備(可搬型建屋内ホース敷設, 冷却コイル圧力計設置, 接続)(前処理建屋内部ループ2)	建屋内22班, 建屋内23班 建屋内24班, 建屋内25班	8	AA8(建屋内24班), AA9(建屋内25班), AA10(建屋内22, 23班) → 建屋内22, 23, 24, 25班 → AA31 3(建屋内22, 23, 24班)																								
	AA22 3	冷却コイル又は冷却ジャケット過水(弁操作, 漏えい確認, 冷却コイル又は冷却ジャケット健全性確認, 冷却水圧力(冷却コイル過水)確認)(前処理建屋内部ループ2)	建屋内13班, 建屋内14班 建屋内15班, 建屋内16班	8	AA25(建屋内13, 14, 15班), AA29(建屋内16班) → 建屋内13, 14, 15, 16班 → AA31(建屋内13班)																								
	AA22 4	冷却コイル過水(弁操作, 漏えい確認, 冷却水圧力(冷却コイル過水)確認)(前処理建屋内部ループ2)	建屋内25班	2	AA32 2 → 建屋内25班																								
計器監視燃料の補給	AA 30	計器監視(貯槽溶液温度, 水素掃気用圧縮空気圧力, 水素掃気系統圧縮空気圧力, 貯槽掃気流量, 冷却水流量(内部ループ過水), 溶解セル圧力, 放射性配管分岐第1セル圧力, 水素濃度, 貯槽液位, 凝縮器出口掃気流量, 凝縮器過水流量), 可搬型発電機及び可搬型空気圧縮機等への燃料の補給	建屋内11班, 建屋内12班	4	F11(建屋内11班) → 建屋内11班 → AA19(建屋内12班) → 建屋内12班 → 建屋内12班 → 建屋内12班 → 建屋内12班 → 建屋内12班																								

第14.2-1 図 地震を想定した重大事故等が同時発生した場合の前処理建屋における必要な要員及び作業項目(その2)















対策	作業番号	作業内容	作業班	要員数	所要時間※ (時:分)	経過時間(時:分)																								
						0:00	1:00	2:00	3:00	4:00	5:00	6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00	
AC, CA 現管補助	-	-	現場管理者の作業の補助	建屋内24班	2	1:20	建屋内24班 → AC16																							
現場環境 確認	-	-	建屋内のアクセスルートの確認及び可搬型通話装置の設置	建屋内11班, 建屋内12班 建屋内26班	6	1:20	建屋内11, 12, 26班 → AC16(建屋内26班) AC19(建屋内11, 12班)																							
蒸発乾固 発生防止	AC 20	膨張槽液位測定	建屋内23班	2	1:00	建屋内23班 → CA16 → 建屋内23班 → AC8																								
	AC 21	可搬型貯槽温度計設置及び貯槽溶液温度計測	建屋内14班, 建屋内15班	4	1:30	AC13(建屋内14班) → 建屋内14, 15班 → AC22 AC32(建屋内15班)																								
	AC 22	内部ループ通水準備(可搬型建屋内ホース敷設, 接続, 弁隔離)	建屋内14班, 建屋内15班	4	0:50	建屋内14, 15班 → AC21 → 建屋内14, 15班																								
	AC 23	内部ループ通水(弁操作, 漏えい確認, 冷却水流量(内部ループ通水)確認)	建屋内14班	2	0:30	建屋内14班 → CA14																								
	AC 24	貯槽溶液温度計測	建屋内15班	2	0:30	建屋内15班 → CA14																								
蒸発乾固 拡大防止	AC 受血	可搬型漏えい液受血液位計設置(漏えい液受血液位測定)	建屋内16班, 建屋内17班 建屋内18班	6	1:20	CA10(建屋内16班) → 建屋内16, 17, 18班 → AC26(建屋内16, 17班), AC34(建屋内18班) CA12(建屋内17, 18班)																								
	AC 25	可搬型建屋内ホース敷設, 接続, 漏えい確認	建屋内18班, 建屋内19班	4	0:45	AC33(建屋内19班), AC34(建屋内18班) → 建屋内18, 19班 → CA14																								
	AC 26	可搬型貯槽液位計設置及び貯槽液位計測	建屋内16班, 建屋内17班 建屋内20班	6	1:30	AC33(建屋内20班), AC受血(建屋内16, 17班) → 建屋内16, 17, 20班 → CA14(建屋内16, 17班), CA30(建屋内20班)																								
	AC 27	貯槽注水	建屋内48班	2	0:30	建屋内48班 → CA14																								
AC 28	貯槽液位測定	建屋内48班	2	0:30	建屋内48班 → CA14																									
水素爆発 発生防止	AC 2	可搬型建屋外ホース及び可搬型建屋内ホース敷設, 接続	建屋内27班	2	0:30	建屋内27班 → CA16																								
	AC 3	可搬型貯槽掃気圧縮空気流量計及び可搬型水素掃気系統圧縮空気圧力計設置	建屋内24班, 建屋内25班	4	0:45	AC16 → 建屋内24, 25班 → AC8(建屋内24班)																								
	AC 4	可搬型建屋内ホース接続	建屋内24班, 建屋内25班	4	0:15	建屋内24, 25班 → AC8(建屋内24班)																								
	AC 5	可搬型空気圧縮機起動	建屋内27班	2	0:20	建屋内27班 → AC15																								
	AC 6	可搬型空気圧縮機からの供給開始, 水素掃気用圧縮空気圧力確認	建屋内22班	2	0:15	建屋内22班 → AC34																								
	AC 7	水素掃気系統圧縮空気圧力及び貯槽掃気圧縮空気流量確認, 貯槽掃気流量調整, セル導出ユニット流量確認	建屋内21班, 建屋内22班	4	1:05	AC34(建屋内21班) → 建屋内21, 22班 → AC11																								
	AC 33	圧縮空気自動供給貯槽又は機器圧縮空気自動供給ユニット圧力確認	建屋内13班, 建屋内19班 建屋内20班, 建屋内25班	8	0:50	AC32 → 建屋内13班 → AC17 → 建屋内20班 → AC26 → 建屋内25班 → AC34 AC34 → 建屋内20班 → AC16 → 建屋内19班 → AC25																								
AC 35	圧縮空気自動供給貯槽圧力確認, 弁操作	建屋内21班	2	0:10	建屋内21班 → AC1 → 建屋内21班 → AC34																									
水素爆発 拡大防止	AC 1	圧縮空気手動供給ユニットからかはん系統への圧縮空気供給	建屋内20班, 建屋内21班	4	1:05	建屋内20, 21班 → AC34(建屋内20班), AC35(建屋内21班)																								
	AC 34	圧縮空気手動供給ユニット圧力確認	建屋内18班, 建屋内20班 建屋内21班, 建屋内22班 建屋内25班	10	1:00	AC1 → 建屋内20班 → AC33 → 建屋内21班 → AC16 → 建屋内18班 → AC7 → AC受血 → 建屋内25班 → AC25 AC35 → 建屋内21班 → AC1 → CA16 → 建屋内22班 → AC33 → 建屋内25班 → AC32																								
	AC 8	可搬型建屋内ホース接続(建屋入口)	建屋内23班, 建屋内24班	4	0:20	AC4(建屋内24班) → 建屋内23, 24班 → AC20(建屋内23班)																								
	AC 9	可搬型建屋内ホース接続(建屋内), 可搬型貯槽掃気圧縮空気流量計及び可搬型かはん系統圧縮空気圧力計設置	建屋内23班, 建屋内24班	4	0:30	AC32(建屋内24班)																								
	AC 10	可搬型空気圧縮機からの供給開始, かはん系統圧縮空気圧力確認	建屋内23班	2	0:15	建屋内23班 → CA27																								
	AC 11	かはん系統圧縮空気圧力及び貯槽掃気流量確認, 貯槽掃気流量調整, セル導出ユニット流量確認	建屋内21班, 建屋内22班	4	1:30	AC7 → 建屋内21, 22班 → CA31(建屋内21班), CA受血(建屋内22班)																								
拡大防止 (放出防止)	AC 29	可搬型建屋内ホース敷設, 接続, 排気温度計設置	建屋内11班, 建屋内12班	4	1:00	建屋内11, 12班 → AC19 → 建屋内11, 12班 → CA27																								
	AC 30	漏えい確認等, 凝縮器通水	建屋内11班, 建屋内12班	4	0:20	建屋内11, 12班 → CA27																								
	AC 12	隔離弁の操作, 可搬型セル導出ユニット流量計設置	建屋内14班	2	0:45	建屋内14班 → AC21																								
	AC 13	可搬型導出先セル圧力計設置	建屋内14班	2	0:15	建屋内14班 → AC21																								
	AC 14	ダンパ閉止	建屋内15班	2	0:50	建屋内15班 → AC32																								
	AC 15	可搬型水素濃度計設置	建屋内13班, 建屋内27班	4	0:30	建屋内13, 27班 → AC5(建屋内27班)																								
	AC 32	水素濃度測定	建屋内13班, 建屋内15班 建屋内19班, 建屋内20班 建屋内24班, 建屋内25班 建屋内26班	14	2:00	建屋内13班 → AC33 → 建屋内19班 → AC16 → 建屋内26班 → AC31 → AC9 → 建屋内24班 → CA31 建屋内15班 → AC21 → AC16 → 建屋内20班 → AC33 → AC4 → 建屋内25班 → AC33 → 建屋内25班 → CA30 AC14 → 建屋内15班 → AC21 → AC16 → 建屋内20班 → AC33 → AC4 → 建屋内25班 → AC33 → 建屋内25班 → CA30																								
	AC 16	可搬型ダクト, 可搬型排風機, 可搬型フィルタの設置	建屋内19班, 建屋内20班 建屋内21班, 建屋内24班 建屋内25班, 建屋内26班	12	2:15	AC-GA現管補助(建屋内24班) → 建屋内24, 25, 26班 → AC3(建屋内24, 25班) AC現場環境(建屋内26班) → AC32(建屋内20班, 建屋内26班) AC33(建屋内19班) → 建屋内19, 20, 21班 → AC34(建屋内21班)																								
	AC 17	可搬型排風機起動準備	建屋内13班	2	0:20	通1(建屋内25班) → AC32(建屋内19班) → AC33(建屋内20班) → 建屋内13班 → CA1																								
AC 18	放射性配管分岐第1セル圧力確認, 可搬型排風機起動	建屋内13班	2	1:00	建屋内13班 → CA1																									
AC 19	可搬型電源ケーブル敷設	建屋内11班, 建屋内12班	4	1:30	AC現場環境 → 建屋内11, 12班 → AC29																									
蒸発乾固 拡大防止	ACコ1 1	可搬型建屋内ホース等運搬(精製建屋内部ループ1)	建屋内20班, 建屋内22班 建屋内23班	6	0:40	建屋内20, 22, 23班																								
	ACコ1 2	冷却コイル通水準備(可搬型建屋内ホース敷設, 冷却コイル圧力計設置)(精製建屋内部ループ1)	建屋内20班, 建屋内22班 建屋内23班	6	0:40	建屋内20, 22, 23班																								
	ACコ1 3	冷却コイル健全性確認(弁操作, 漏えい確認, 冷却コイル健全性確認, 冷却水圧力(冷却コイル通水)確認)(精製建屋内部ループ1)	建屋内21班, 建屋内22班	4	5:00	建屋内21, 22班																								
	ACコ1 4	冷却コイル通水(弁操作, 漏えい確認, 冷却水圧力(冷却コイル通水)確認)(精製建屋内部ループ1)	建屋内22班	2	0:20	建屋内22班																								
	ACコ2 1	可搬型建屋内ホース等運搬(精製建屋内部ループ2)	建屋内23班, 建屋内24班 建屋内25班	6	0:40	建屋内23, 24, 25班																								
	ACコ2 2	冷却コイル通水準備(可搬型建屋内ホース敷設, 冷却コイル圧力計設置)(精製建屋内部ループ2)	建屋内23班, 建屋内24班 建屋内25班	6	0:50	建屋内23, 24, 25班																								
	ACコ2 3	冷却コイル健全性確認(弁操作, 漏えい確認, 冷却コイル健全性確認, 冷却水圧力(冷却コイル通水)確認)(精製建屋内部ループ2)	建屋内20班, 建屋内21班	4	6:00	建屋内20, 21班																								
ACコ2 4	冷却コイル通水(弁操作, 漏えい確認, 冷却水圧力(冷却コイル通水)確認)(精製建屋内部ループ2)	建屋内20班	2	0:30	建屋内20班																									
計器監視 燃料の補給	AC 31	計器監視(貯槽溶液温度, 冷却水流量(内部ループ通水), 水素掃気系統圧縮空気圧力, 貯槽掃気圧縮空気流量, 放射性配管分岐第1セル圧力, フルトニウム系塔槽液ガス洗浄塔セル圧力確認, 水素濃度, 貯槽液位, 凝縮器出口排気温度, 凝縮器通水流量, かはん系統圧縮空気圧力) 可搬型発電機及び可搬型空気圧縮機等への燃料の補給	建屋内26班, 建屋内27班	4	-	AC32(建屋内26班) → 建屋内26班 → 建屋内26班 → 建屋内26班 → 建屋内26班 → 建屋内26班 CA31(建屋内27班) → 建屋内27班 → 建屋内27班 → 建屋内27班 → 建屋内27班 → 建屋内27班																								

※:各作業内容の実施に必要な時間を示す。(複数回に分けて実施の場合は, 作業時間の合計)

第14.2-3図 地震を想定した重大事故等が同時発生した場合の精製建屋における必要な要員及び作業項目(その1)





対策	作業番号	作業内容	作業班	要員数	所要時間(時:分)	経過時間(時:分)																							
						0:00	1:00	2:00	3:00	4:00	5:00	6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00
現場環境確認	-	- 建屋内のアクセスルートの確認及び可搬型通話装置の設置	建屋内19班, 建屋内23班	6	1:20																								
蒸発乾固発生防止	CA 20	- 膨張槽液位確認	建屋内23班	2	1:00																								
	CA 21	- 可搬型貯槽温度計設置及び貯槽温度計測	建屋内24班, 建屋内25班	4	1:10																								
	CA 22	- 内部ループ通水準備(弁隔離, 可搬型建屋内ホース敷設, 接続, 弁操作, 内部ループ健全性確認, 漏えい確認)	建屋内15班, 建屋内16班	4	1:30																								
	CA 23	- 内部ループ通水(弁操作, 冷却水流量(内部ループ通水)確認)	建屋内23班	2	0:10																								
	CA 24	- 可搬型漏えい液受皿液位計設置(漏えい液受皿液位計測)	建屋内20班, 建屋内22班	4	2:00																								
蒸発乾固拡大防止	CA 24	- 可搬型建屋内ホース敷設, 接続, 弁操作, 漏えい確認	建屋内11班, 建屋内12班	4	1:20																								
	CA 25	- 弁操作, 機器注水	建屋内48班	2	0:10																								
	CA 26	- 可搬型貯槽液位計設置及び貯槽液位計測	建屋内13班, 建屋内14班	4	2:00																								
水素爆発発生防止	CA 1	- 可搬型建屋外ホース敷設, 接続	建屋内13班	2	0:40																								
	CA 2	- 可搬型貯槽掃気圧縮空気流量計及び可搬型水素掃気系統圧縮空気圧力計設置	建屋内20班	2	0:30																								
	CA 3	- 可搬型建屋内ホース敷設, 接続	建屋内13班	2	0:20																								
	CA 4	- 可搬型空気圧縮機からの供給開始, 水素掃気系統圧縮空気圧力確認	建屋内20班	2	0:10																								
	CA 5	- 水素掃気系統圧縮空気圧力及び貯槽掃気圧縮空気流量確認, 貯槽掃気圧縮空気流量調整, セル導出ユニット流量確認	建屋内20班, 建屋内22班	4	0:30																								
	CA 31	- 圧縮空気自動供給ユニット又は機器圧縮空気自動供給ユニット圧力確認	建屋内21班, 建屋内24班, 建屋内27班, 建屋内43班, 建屋内47班	10	1:20																								
	CA 33	- 圧縮空気自動供給ユニット圧力確認, 弁操作	建屋内47班	2	0:10																								
水素爆発拡大防止	-	- 圧縮空気自動供給ユニットからかはん系統への圧縮空気供給(現場環境確認時実施)	建屋内19班, 建屋内22班, 建屋内23班	6	0:20																								
	CA 6	- 可搬型建屋外ホース接続	建屋内21班	2	0:20																								
	CA 7	- 可搬型建屋内ホース敷設, 接続, 可搬型貯槽掃気圧縮空気流量計及び可搬型かはん系統圧縮空気圧力計設置	建屋内21班	2	0:40																								
	CA 8	- 可搬型空気圧縮機からの供給開始, かはん系統圧縮空気圧力確認	建屋内21班	2	0:10																								
	CA 9	- 貯槽掃気圧縮空気流量確認, 貯槽掃気圧縮空気流量調整, セル導出ユニット流量確認	建屋内20班, 建屋内22班	4	0:30																								
CA 32	- 圧縮空気自動供給ユニット圧力確認	建屋内12班, 建屋内24班, 建屋内27班, 建屋内43班, 建屋内47班	10	1:30																									
拡大防止(放出防止)	CA 27	- 可搬型建屋内ホース敷設, 接続, 弁操作, 漏えい確認	建屋内11班, 建屋内12班, 建屋内13班, 建屋内23班	8	3:50																								
	CA 28	- 弁操作, 凝縮器通水	建屋内11班	2	0:10																								
	CA 10	- 隔離弁の操作, 可搬型セル導出ユニット流量計設置	建屋内16班	2	1:30																								
	CA 11	- ダンパ閉止	建屋内17班, 建屋内18班	4	0:30																								
	CA 12	- 可搬型導出先セル圧力計設置	建屋内17班, 建屋内18班	4	0:10																								
	CA 13	- 可搬型水素濃度計設置	建屋内45班, 建屋内46班	4	0:30																								
	CA 30	- 水素濃度測定	建屋内17班, 建屋内20班, 建屋内23班, 建屋内24班, 建屋内25班, 建屋内27班, 建屋内43班, 建屋内45班, 建屋内47班	18	2:30																								
	CA 14	- 可搬型ダクト設置	建屋内14班, 建屋内15班, 建屋内16班, 建屋内17班, 建屋内18班, 建屋内19班	12	2:30																								
	CA 15	- 可搬型風機, 可搬型フィルタ設置	建屋内14班, 建屋内19班	4	0:50																								
	CA 16	- 可搬型電源ケーブル敷設	建屋内22班, 建屋内23班, 建屋内27班	6	1:50																								
CA 17	- ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋可搬型発電機起動	建屋内27班	2	0:20																									
CA 18	- 可搬型排風機起動準備	建屋内14班, 建屋内19班	4	0:10																									
CA 19	- 導出先セル圧力確認, 可搬型排風機起動	建屋内21班	2	1:00																									
蒸発乾固拡大防止	CAコ1 1	- 可搬型建屋内ホース等運搬	建屋内11班, 建屋内12班, 建屋内13班, 建屋内14班	8	1:00																								
	CAコ1 2	- 冷却ジャケット通水準備(可搬型建屋内ホース敷設, 冷却ジャケット圧力計設置)	建屋内15班, 建屋内16班, 建屋内17班	6	0:30																								
	CAコ1 3	- 冷却ジャケット健全性確認(弁操作, 漏えい確認, 冷却ジャケット健全性確認, 冷却水圧力(冷却ジャケット通水)確認)	建屋内15班, 建屋内24班, 建屋内25班	6	0:50																								
	CAコ1 4	- 冷却ジャケット通水(弁操作, 漏えい確認, 冷却水圧力(冷却ジャケット通水)確認)	建屋内24班, 建屋内25班	4	0:50																								
計器監視燃料の補給	CA 29	- 計器監視(水素掃気系統圧縮空気圧力又はかはん系統圧縮空気圧力, 貯槽掃気圧縮空気流量, 導出先セル圧力, 水素濃度, 貯槽温度, 冷却水流量(内部ループ通水), 貯槽液位, 凝縮器通水流量, 凝縮器出口排気温度, 貯槽溶液温度) *可搬型発電機及び可搬型空気圧縮機等への燃料の補給	建屋内18班, 建屋内19班	4	-																								

※:各作業内容の実施に必要な時間を示す。(複数回に分けて実施の場合は, 作業時間の合計)

第14.2-4 図 地震を想定した重大事故等が同時発生した場合のウラン・プルトニウム混合脱硝建屋における必要な要員及び作業項目(その1)





対策	作業番号	作業内容	作業班	要員数	所要時間(時:分)	経過時間(時:分)																								
						0:00	1:00	2:00	3:00	4:00	5:00	6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00	
AA, KA 現場補助	-	-現場管理者の作業の補助	建屋内36班	2	1:20	[Timeline diagram showing activity for AA, KA site assistance]																								
現場環境 確認	-	-建屋内のアセシートの確認及び可搬型通話装置の設置	建屋内40班, 建屋内41班 建屋内42班	6	1:20	[Timeline diagram showing activity for site environment confirmation]																								
蒸発乾固 発生防止	KA 17	-貯槽槽液位確認	建屋内35班, 建屋内36班	4	1:30	[Timeline diagram showing activity for tank liquid level confirmation]																								
	KA 18	-可搬型貯槽温度計設置及び貯槽溶液温度計測	建屋内28班, 建屋内29班 建屋内30班, 建屋内31班 建屋内32班, 建屋内33班	12	1:15	[Timeline diagram showing activity for tank temperature measurement]																								
	KA 19	-内部ループ通水準備(可搬型建屋内ホース敷設, 接続)	建屋内28班, 建屋内29班 建屋内30班	6	1:30	[Timeline diagram showing activity for internal loop water preparation]																								
	KA 20	-内部ループ通水準備(弁隔離)	建屋内28班, 建屋内29班 建屋内30班	6	1:30	[Timeline diagram showing activity for internal loop water preparation (valve isolation)]																								
	KA 21	-内部ループ通水(弁操作, 漏えい確認, 冷却水流量(内部ループ通水)確認)	建屋内28班, 建屋内29班 建屋内30班	6	0:30	[Timeline diagram showing activity for internal loop water flow confirmation]																								
	KA 22	-可搬型建屋内ホース敷設, 接続	建屋内41班, 建屋内42班	4	3:50	[Timeline diagram showing activity for mobile building hose installation]																								
蒸発乾固 拡大防止	KA 22	-可搬型建屋内ホース敷設, 接続	建屋内34班, 建屋内35班 建屋内36班	6	1:20	[Timeline diagram showing activity for mobile building hose installation]																								
	KA 24	-可搬型貯槽液位計設置及び貯槽液位計測	建屋内31班, 建屋内32班 建屋内33班	6	3:25	[Timeline diagram showing activity for tank liquid level measurement]																								
	KA 23	-貯槽注水/漏えい確認	建屋内28班, 建屋内29班 建屋内30班	6	0:30	[Timeline diagram showing activity for tank water injection/leak confirmation]																								
高レベル 廃液ガラス 固化建屋	水素爆発 発生防止	KA 1	-可搬型建屋外ホース及び可搬型建屋内ホース敷設, 接続, 可搬型空気圧縮機起動	建屋内28班, 建屋内29班 建屋内30班, 建屋内31班 建屋内32班	10	1:30	[Timeline diagram showing activity for mobile building hose and compressor start]																							
		KA 2	-可搬型貯槽空気圧縮空気流量計及び可搬型水素掃気系統圧縮空気圧力計又ははくはん系統圧縮空気圧力計設置	建屋内33班, 建屋内34班	4	1:45	[Timeline diagram showing activity for tank air flow and hydrogen scavenging system pressure measurement]																							
		KA 3	-可搬型建屋内ホース接続	建屋内35班	2	1:10	[Timeline diagram showing activity for mobile building hose connection]																							
		KA 4	-可搬型空気圧縮機からの高レベル廃液ガラス固化建屋への圧縮空気の供給, 水素掃気系統圧縮空気圧力又ははくはん系統圧縮空気圧力確認	建屋内37班	2	0:15	[Timeline diagram showing activity for compressed air supply and pressure confirmation]																							
		KA 5	-水素掃気系統圧縮空気圧力又ははくはん系統圧縮空気圧力及び貯槽掃気流量確認, 貯槽掃気流量調整	建屋内37班, 建屋内38班	4	0:35	[Timeline diagram showing activity for hydrogen scavenging system pressure and flow confirmation]																							
		KA 5	-セル導出ユニット流量確認	建屋内39班, 建屋内40班	4	1:05	[Timeline diagram showing activity for cell output unit flow confirmation]																							
水素爆発 拡大防止	KA 6	-可搬型建屋外ホース及び可搬型建屋内ホース接続	建屋内38班	2	0:20	[Timeline diagram showing activity for mobile building hose connection]																								
	KA 7	-可搬型建屋内ホース敷設, 可搬型貯槽掃気圧縮空気流量計設置	建屋内35班, 建屋内36班 建屋内37班, 建屋内38班 建屋内39班, 建屋内40班	12	2:30	[Timeline diagram showing activity for mobile building hose installation and tank air flow measurement]																								
	KA 8	-可搬型空気圧縮機からの高レベル廃液ガラス固化建屋への圧縮空気の供給	建屋内38班	2	0:15	[Timeline diagram showing activity for compressed air supply]																								
	KA 9	-貯槽掃気流量確認, 貯槽掃気流量調整, セル導出ユニット流量確認	建屋内35班, 建屋内36班 建屋内38班, 建屋内39班	8	2:10	[Timeline diagram showing activity for tank air flow and cell output unit flow confirmation]																								
拡大防止 (放出防止)	KA 25	-可搬型建屋内ホース敷設, 接続, 弁操作	建屋内34班	2	1:10	[Timeline diagram showing activity for mobile building hose installation]																								
	KA 26	-可搬型凝縮器出口排気温度計設置	建屋内34班	2	0:25	[Timeline diagram showing activity for condenser outlet exhaust temperature measurement]																								
	KA 27	-通水/漏えい確認等	建屋内34班	2	0:30	[Timeline diagram showing activity for water flow/leak confirmation]																								
	KA 10	-隔離弁の操作	建屋内28班, 建屋内29班	4	1:40	[Timeline diagram showing activity for isolation valve operation]																								
	KA 13	-可搬型廃ガス洗浄塔入口圧力計及び可搬型導出先セル圧力計の設置	建屋内31班	2	0:40	[Timeline diagram showing activity for mobile gas washing tower and cell pressure measurement]																								
	KA 11	-可搬型セル導出ユニット流量計設置	建屋内31班	2	0:15	[Timeline diagram showing activity for mobile cell output unit flow measurement]																								
	KA 11	-ダンパ閉止	建屋内28班, 建屋内29班 建屋内30班, 建屋内31班 建屋内32班, 建屋内33班 建屋内34班	14	1:30	[Timeline diagram showing activity for damper closure]																								
	KA 12	-可搬型水素濃度計設置1	建屋内45班, 建屋内46班	4	0:30	[Timeline diagram showing activity for mobile hydrogen concentration measurement]																								
	KA 31	-水素濃度測定1	建屋内45班, 建屋内46班 建屋内47班	6	2:10	[Timeline diagram showing activity for hydrogen concentration measurement]																								
	KA 32	-可搬型水素濃度計設置2	建屋内45班, 建屋内46班	4	0:30	[Timeline diagram showing activity for mobile hydrogen concentration measurement]																								
	KA 14	-可搬型排風機及び高レベル廃液ガラス固化建屋可搬型発電機の接続, 可搬型発電機起動	建屋内37班, 建屋内38班 建屋内39班, 建屋内40班	8	2:20	[Timeline diagram showing activity for mobile fan and generator connection]																								
KA 15	-可搬型ダクトによる高レベル廃液ガラス固化建屋排気系, 可搬型フィルタ及び可搬型排風機の接続	建屋内37班, 建屋内38班 建屋内39班, 建屋内40班	8	1:55	[Timeline diagram showing activity for mobile duct, filter, and fan connection]																									
KA 16	-放射特性分散セル圧力確認, 可搬型排風機起動	建屋内36班	2	1:00	[Timeline diagram showing activity for mobile fan start and radiation dispersion cell pressure confirmation]																									

※:各作業内容の実施に必要な時間を示す。(複数回に分けて実施の場合は、作業時間の合計)

第14.2-5図 地震を想定した重大事故等が同時発生した場合の高レベル廃液ガラス固化建屋における必要な要員及び作業項目(その1)













対策	作業番号	作業内容	作業班	要員数	経過時間(時:分)																							
					24:00	25:00	26:00	27:00	28:00	29:00	30:00	31:00	32:00	33:00	34:00	35:00	36:00	37:00	38:00	39:00	40:00	41:00	42:00	43:00	44:00	45:00	46:00	47:00
通信手段の確保	通 4	・可搬型衛星電話及び可搬型トランシーバの敷設	放対7班, 放対9班	3																								
	通 5	・屋内機器と可搬型発電機の接続	放対7班, 放対9班	3																								
使用済燃料受入れ・貯蔵建屋	F制 1	・外部電源及び第1非常用D/Gの運転状態確認	制御室1班	2																								
	F制 2	・送風機, ダンパ及び使用済燃料受入れ・貯蔵建屋内ハザード確認	制御室2班, 制御室3班	4																								
	F制 3	・使用済燃料受入れ・貯蔵建屋内ケーブルルート確認	制御室1班	2																								
	F制 4	・使用済燃料受入れ貯蔵建屋の制御室への可搬型照明設置	制御室1班, 制御室2班	4																								
	F制 5	・可搬型送風機の起動準備(ケーブル敷設)	制御室1班, 制御室2班	4																								
	F制 6	・可搬型送風機の起動準備	制御室1班, 制御室2班	4																								
	F制 7	・可搬型送風機の起動	制御室3班	2																								
	状態監視	・状態監視(可搬型発電機, 可搬型送風機) ・可搬型発電機への燃料の補給	建屋内1班, 建屋内2班	2																								
	現場環境確認	-	・建屋内のアクセスルートの確認	建屋内1班	1																							
	使用済燃料損傷対策	F 1	・保管場所への移動並びに運搬車及びホイールローダによる可搬型重大事故等対処設備の運搬	建屋内7班, 建屋内8班 建屋内9班, 建屋内10班 建屋内44班	10																							
		F 2	・ホース敷設, 流量計設置及び建屋内外ホース接続	建屋内21班, 建屋内22班 建屋内24班, 建屋内25班	8																							
F 3		・注水開始・流量確認	建屋内21班, 建屋内22班 建屋内24班, 建屋内25班	8																								
F 4		・監視設備配置, ケーブル敷設・接続	建屋内11班, 建屋内12班 建屋内13班, 建屋内14班 建屋内15班, 建屋内16班 建屋内17班, 建屋内20班	16																								
F 5		・監視ユニット, 計装ユニットとの接続	建屋内11班, 建屋内12班 建屋内13班, 建屋内14班 建屋内15班, 建屋内16班 建屋内17班, 建屋内20班	16																								
F 6		・可搬型発電機の起動	建屋内11班, 建屋内12班 建屋内13班, 建屋内14班	8																								
F 7		・監視設備の起動確認, 状態確認	建屋内11班, 建屋内12班 建屋内13班, 建屋内14班	8																								
F 8		・冷却ケースの設置	建屋内11班, 建屋内12班 建屋内13班, 建屋内14班	8																								
F 9		・空冷ユニット用ホース敷設	建屋内11班, 建屋内12班 建屋内13班, 建屋内14班 建屋内15班, 建屋内16班 建屋内17班, 建屋内20班	16																								
F 10		・計測ユニット, 空冷ユニットとの接続	建屋内11班, 建屋内12班 建屋内13班, 建屋内14班	8																								
F 11		・空冷ユニット系統起動, 起動状態確認	建屋内11班, 建屋内12班 建屋内13班, 建屋内14班	8																								

第14.2-6 図 地震を想定した重大事故等が同時発生した場合の使用済燃料受入れ・貯蔵建屋における必要な要員及び作業項目 (その2)





作業番号	作業内容	作業班	要員数	所要時間※ (時:分)	経過時間(時:分)																							
					0:00	1:00	2:00	3:00	4:00	5:00	6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00
外 6	・使用する資機材の確認	建屋外2班、建屋外3班 建屋外4班、建屋外5班 建屋外6班	10	0:20	建屋外2、3、4、5、6班																							
外 7	・第1貯水槽取水準備	建屋外2班、建屋外3班 建屋外4班、建屋外5班 建屋外6班	10	0:10	外10(建屋外3班) 外11(建屋外4、5班) 外25(建屋外6班) 建屋外2班																							
外 8	・分離建屋、精製建屋及びウラン・プルトニウム混合脱硝建屋用の運搬車で運搬する可搬型建屋外ホースの準備(金具類、可搬型流量計、可搬型圧力計)	建屋外2班	2	0:30	建屋外2班 → 外5																							
外 9	・分離建屋、精製建屋及びウラン・プルトニウム混合脱硝建屋用の運搬車による可搬型建屋外ホースの設置(金具類、可搬型流量計、可搬型圧力計)	建屋外2班	2	3:30																								
外 10	・分離建屋、精製建屋及びウラン・プルトニウム混合脱硝建屋用の可搬型中型移送ポンプ運搬車による可搬型中型移送ポンプの運搬	建屋外3班	2	0:10	外7 → 建屋外3班																							
外 11	・分離建屋、精製建屋及びウラン・プルトニウム混合脱硝建屋用の可搬型中型移送ポンプの設置	建屋外3班、建屋外4班 建屋外5班	6	0:30	外7(建屋外4、5班) → 外27 建屋外3、4、5班 → 外27 建屋外6班 → 外26																							
外 12	・分離建屋、精製建屋及びウラン・プルトニウム混合脱硝建屋用のホース展張車で敷設する可搬型建屋外ホースの準備	建屋外6班	2	0:30	外25 → 外26																							
外 13	・分離建屋、精製建屋及びウラン・プルトニウム混合脱硝建屋用のホース展張車による可搬型建屋外ホースの敷設及び接続	建屋外4班、建屋外5班 建屋外6班、建屋外7班	8	1:10	外27(建屋外6班)、外38(建屋外4、5、7班) → 建屋外4、5、6、7班 → 外14(建屋外4班)、外15(建屋外5、6、7班)																							
外 14	・分離建屋、精製建屋及びウラン・プルトニウム混合脱硝建屋用の可搬型中型移送ポンプの試運転	建屋外4班	2	0:30	外13 → 建屋外4班 → 外17																							
外 15	・分離建屋、精製建屋及びウラン・プルトニウム混合脱硝建屋用の可搬型建屋外ホースの状態確認	建屋外5班、建屋外6班 建屋外7班	6	0:30	外13 → 建屋外5、6、7班																							
外 16	・分離建屋、精製建屋及びウラン・プルトニウム混合脱硝建屋用の可搬型排水受槽を運搬車による運搬、設置及び可搬型建屋外ホースとの接続	建屋外5班、建屋外6班 建屋外7班	6	1:30	外14 → 建屋外4班 → 外18 外17 → 建屋外4班 → 外21 外64(建屋外5班)、外65(建屋外6、7班)																							
外 17	・第1貯水槽へ可搬型水位計の設置	建屋外4班	2	0:20	外14 → 建屋外4班 → 外18 外17 → 建屋外4班 → 外21																							
外 18	・精製建屋用の可搬型建屋外ホースと可搬型建屋内ホースとの接続	建屋外4班	2	0:10	外17 → 建屋外4班 → 外21																							
外 19	・分離建屋用の可搬型建屋外ホースと可搬型建屋内ホースとの接続	建屋外3班	2	0:10	外29 → 建屋外3班 → 外22																							
外 20	・ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋用の可搬型建屋外ホースと可搬型建屋内ホースとの接続	建屋外3班	2	0:10	外22 → 建屋外3班 → 外40																							
外 21	・精製建屋への水の供給流量及び圧力の調整	建屋外1班、建屋外4班	4	0:30	外4(建屋外1班)、外18(建屋外4班) → 建屋外1、4班 → 外30(建屋外4班)、外24(建屋外1班)																							
外 22	・分離建屋への水の供給流量及び圧力の調整(必要に応じ精製建屋側も調整)	建屋外1班、建屋外3班	4	0:35	外19(建屋外3班)、外24(建屋外1班) → 建屋外1、3班 → 外20(建屋外3班)、外24(建屋外1班)																							
外 23	・ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋への水の供給流量及び圧力の調整(必要に応じ分離建屋及び精製建屋側も実施)	建屋外1班、建屋外2班	4	1:40	外66(建屋外2班)、外24(建屋外1班) → 建屋外1、2班 → 外66(建屋外2班)、外24(建屋外1班)																							
外 24	・分離建屋、精製建屋及びウラン・プルトニウム混合脱硝建屋への水の供給及び状態監視(流量、圧力、第1貯水槽Aの水位)・可搬型中型移送ポンプへ燃料の補給	建屋外1班	2	—	建屋外1班																							
外 25	・高レベル廃液ガラス固化建屋用の中型移送ポンプ運搬車による可搬型中型移送ポンプの運搬	建屋外6班	2	0:10	外7 → 建屋外6班 → 外12																							
外 26	・高レベル廃液ガラス固化建屋用の可搬型中型移送ポンプの設置	建屋外3班、建屋外4班 建屋外5班	6	0:30	外11 → 建屋外3、4、5班 → 外38(建屋外4、5班)、外39(建屋外3班)																							
外 27	・高レベル廃液ガラス固化建屋用のホース展張車で敷設する可搬型建屋外ホースの準備	建屋外6班	2	0:30	外12 → 建屋外6班 → 外13																							
外 28	・高レベル廃液ガラス固化建屋用の運搬車で運搬する可搬型建屋外ホースの準備(金具類、可搬型流量計、可搬型圧力計)	建屋外3班	2	1:00	外39 → 建屋外3班																							
外 29	・高レベル廃液ガラス固化建屋用の運搬車による可搬型建屋外ホースの設置(金具類、可搬型流量計、可搬型圧力計)	建屋外3班	2	1:30	外39 → 建屋外3班 → 外19																							
外 30	・高レベル廃液ガラス固化建屋用のホース展張車による可搬型建屋外ホースの敷設及び接続	建屋外4班、建屋外5班 建屋外6班、建屋外7班	8	2:00	外21(建屋外4班)、外65(建屋外5、6、7班) → 建屋外4、5、6、7班 → 外5(建屋外4班)、外32(建屋外5、6、7班)																							
外 31	・高レベル廃液ガラス固化建屋用の可搬型中型移送ポンプの試運転	建屋外1班	2	0:30	外24 → 建屋外1班 → 外24																							
外 32	・高レベル廃液ガラス固化建屋用の可搬型建屋外ホースの状態確認	建屋外5班、建屋外6班 建屋外7班	6	0:30	外30 → 建屋外5、6、7班																							
外 33	・高レベル廃液ガラス固化建屋用の可搬型排水受槽を運搬車による運搬、設置及び可搬型建屋外ホースとの接続	建屋外5班、建屋外6班 建屋外7班	6	1:30	外30 → 建屋外5、6、7班 → 外67(建屋外6班)、外68(建屋外5、7班)																							
外 34	・高レベル廃液ガラス固化建屋用の可搬型建屋外ホースの可搬型建屋内ホースとの接続	建屋外3班	2	0:10	外41 → 建屋外3班 → 外35																							
外 35	・高レベル廃液ガラス固化建屋用への水の供給流量及び圧力の調整	建屋外1班、建屋外3班	4	0:30	外34(建屋外3班)、外24(建屋外1班) → 外69(建屋外3班)、外24、36(建屋外1班)																							
外 36	・高レベル廃液ガラス固化建屋への水の供給及び状態監視(流量、圧力、第1貯水槽の水位)・可搬型中型移送ポンプへ燃料の補給	建屋外1班	2	—	建屋外1班																							

※:各作業内容の実施に必要な時間を示す。(複数回に分けて実施の場合は、作業時間の合計)

第14.2-7図 地震を想定した重大事故等が同時発生した場合の屋外における必要な要員及び作業項目(その2)







作業番号	作業内容	作業班	要員数	経過時間(時分)																							
				24:00	25:00	26:00	27:00	28:00	29:00	30:00	31:00	32:00	33:00	34:00	35:00	36:00	37:00	38:00	39:00	40:00	41:00	42:00	43:00	44:00	45:00	46:00	47:00
外 37	・使用済燃料受入れ・貯蔵建屋用の可搬型中型移送ポンプ運搬車による可搬型中型移送ポンプの運搬	建屋外7班	2																								
外 38	・使用済燃料受入れ・貯蔵建屋用の可搬型中型移送ポンプの設置	建屋外4班 建屋外5班 建屋外7班	6																								
外 39	・使用済燃料受入れ・貯蔵建屋用のホース展開車で敷設する可搬型建屋外ホースの準備	建屋外3班	2																								
外 40	・使用済燃料受入れ・貯蔵建屋用の可搬型建屋外ホースの準備(金具類、可搬型流量計、可搬型圧力計)	建屋外3班	2																								
外 41	・使用済燃料受入れ・貯蔵建屋用の可搬型建屋外ホースの設置(金具類、可搬型流量計、可搬型圧力計)	建屋外3班	2																								
外 42	・使用済燃料受入れ・貯蔵建屋用のホース展開車による可搬型建屋外ホースの敷設及び接続	建屋外4班 建屋外5班 建屋外6班 建屋外7班	8																								
外 43	・使用済燃料受入れ・貯蔵建屋用の可搬型建屋外ホースの敷設(使用済燃料受入れ・貯蔵建屋 ホース展開車侵入不可部分を人手による運搬及び敷設)	建屋外4班 建屋外5班 建屋外6班 建屋外7班	8																								
外 44	・使用済燃料受入れ・貯蔵建屋用の可搬型中型移送ポンプの試運転(使用済燃料受入れ・貯蔵建屋)	建屋外1班	2																								
外 45	・使用済燃料受入れ・貯蔵建屋用の可搬型建屋外ホースの状態確認(使用済燃料受入れ・貯蔵建屋)	建屋外4班 建屋外5班	4																								
外 46	・使用済燃料受入れ・貯蔵建屋用の可搬型建屋外ホースと可搬型建屋内ホースとの接続	建屋外4班 建屋外5班	4																								
外 47	・使用済燃料受入れ・貯蔵建屋へホイールローダにて建屋外設備(空冷ユニット等)の運搬	建屋外6班	1																								
外 48	・使用済燃料受入れ・貯蔵建屋への水の供給流量及び圧力の調整	建屋外6班 建屋外7班	4																								
外 49	・使用済燃料受入れ・貯蔵建屋用への水の供給及び状態監視(流量、圧力、第1貯水槽の水位) ・可搬型中型移送ポンプへ燃料の補給	建屋外1班	2																								
外 50	・可搬型中型移送ポンプ運搬車による故障時バックアップ用可搬型中型移送ポンプの運搬	建屋外4班	2																								
外 51	・故障時バックアップ用可搬型中型移送ポンプの設置及び試運転	建屋外5班 建屋外6班 建屋外7班	6																								
外 52	・前処理建屋用の可搬型中型移送ポンプ運搬車による可搬型中型移送ポンプの運搬	建屋外6班	2																								
外 53	・前処理建屋用の可搬型中型移送ポンプの設置	建屋外4班 建屋外5班 建屋外7班	6																								
外 54	・前処理建屋用のホース展開車で敷設する可搬型建屋外ホースの準備	建屋外6班	2																								
外 55	・前処理建屋用の運搬車で運搬する可搬型建屋外ホースの準備(金具類、可搬型流量計、可搬型圧力計)	建屋外4班	2																								
外 56	・前処理建屋用の運搬車による可搬型建屋外ホースの設置(金具類、可搬型流量計、可搬型圧力計)	建屋外4班	2																								
外 57	・前処理建屋用のホース展開車による可搬型建屋外ホースの敷設及び接続	建屋外4班 建屋外5班 建屋外6班 建屋外7班	8																								
外 58	・前処理建屋用の可搬型中型移送ポンプの試運転	建屋外1班	2																								
外 59	・前処理建屋用の可搬型建屋外ホースの状態確認	建屋外4班 建屋外5班	4																								
外 60	・前処理建屋用の可搬型排水受槽を運搬車による運搬、設置及び可搬型建屋外ホースとの接続	建屋外4班 建屋外5班 建屋外7班	6																								
外 61	・前処理建屋用の可搬型建屋外ホースと可搬型建屋内ホースとの接続	建屋外4班	2																								
外 62	・前処理建屋への水の供給流量及び圧力の調整	建屋外1班 建屋外4班	4																								
外 63	・前処理建屋用への水の供給及び状態監視(流量、圧力、第1貯水槽の水位) ・可搬型中型移送ポンプへ燃料の補給	建屋外1班	2																								
外 64	・可搬型中型移送ポンプ運搬車による排水用可搬型中型移送ポンプの運搬(分離建屋、精製建屋及びウラン・プルトニウム混合脱硝建屋)	建屋外5班	2																								
外 65	・排水用可搬型中型移送ポンプの設置及び試運転(分離建屋、精製建屋及びウラン・プルトニウム混合脱硝建屋)	建屋外5班 建屋外6班 建屋外7班	6																								
外 66	・可搬型中型移送ポンプによる排水及び状態監視並びに第1貯水槽の水位確認(分離建屋、精製建屋及びウラン・プルトニウム混合脱硝建屋) ・可搬型中型移送ポンプへ燃料の補給	建屋外2班	2																								
外 67	・可搬型中型移送ポンプ運搬車による排水用可搬型中型移送ポンプの運搬(高レベル廃液ガラス固化建屋)	建屋外6班	2																								
外 68	・排水用可搬型中型移送ポンプの設置及び試運転(高レベル廃液ガラス固化建屋)	建屋外5班 建屋外6班 建屋外7班	6																								
外 69	・可搬型中型移送ポンプによる排水及び状態監視並びに第1貯水槽の水位確認(高レベル廃液ガラス固化建屋) ・可搬型中型移送ポンプへ燃料の補給	建屋外3班	2																								
外 70	可搬型・中型移送ポンプ運搬車による排水用可搬型中型移送ポンプの運搬(前処理建屋)	建屋外7班	2																								
外 71	・排水用可搬型中型移送ポンプの設置及び試運転(前処理建屋)	建屋外5班 建屋外6班 建屋外7班	6																								
外 72	・可搬型中型移送ポンプによる排水及び状態監視並びに第1貯水槽の水位確認(前処理建屋) ・可搬型中型移送ポンプへ燃料の補給	建屋外2班	2																								

第14.2-7図 地震を想定した重大事故等が同時発生した場合の屋外における必要な要員及び作業項目(その6)







対策	作業番号	作業内容	作業班	要員数	所要時間※ (時:分)	経過時間(時:分)																								
						0:00	1:00	2:00	3:00	4:00	5:00	6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00	
通信手段の確保	通 1	可搬型衛星電話及び可搬型トランシーバの敷設	建屋内6班, 建屋内17班, 建屋内18班, 建屋内25班, 建屋内30班, 建屋内35班	12	1:15	建屋内6, 17, 18, 25, 30, 35班 → AG9(建屋内30班) → AB24(建屋内6班), AC16(建屋内25班), CA11(建屋内17, 18班), KA17(建屋内35班)																								
	通 2	電源ケーブルの敷設	制御室1班, 制御室2班, 制御室3班	6	1:30	AA15(制御室2班, 3班) AA16(制御室1班) → 制御室1, 2, 3班																								
	通 3	屋内機器と可搬型発電機の接続	制御室1班, 制御室2班, 制御室3班	6	1:00	→ F制1(制御室1班), F制2(制御室2班, 3班)																								
制御建屋	中央制御室の対応判断	AG 1	外部電源及び第2非常用D/Gの運転状態確認	制御室1班	2	0:05	制御室1班 → AG3 <b>対策完了時間</b>																							
		AG 2	送風機, ダンパ及び制御建屋内ハザード確認	制御室3班, 制御室5班	4	0:50	制御室3, 5班 → AG11 <b>制御建屋 落電範囲 制限時間</b>																							
		AG 3	制御建屋内ケーブルルート確認	制御室1班	2	0:50	AG1 ↓ 制御室1班 → AG10 制御室4班 → AG7																							
	可搬型照明による中央制御室の照明確保	AG 4	安全監視室への可搬型照明設置	制御室4班	2	1:00	制御室4班 → AG7																							
		AG 5	第1ブロックへの可搬型照明設置	制御室4班	2	0:40	AG7 → 制御室4班 → AG6																							
		AG 6	第2ブロックへの可搬型照明設置	制御室4班	2	0:30	AG5 → 制御室4班 → AG14																							
		AG 7	第3ブロック及び第4ブロックへの可搬型照明設置	制御室4班	2	0:50	AG4 → 制御室4班 → AG5																							
		AG 8	第5ブロックへの可搬型照明設置	建屋内30班	2	0:35	建屋内30班 → AG9 → KA11																							
		AG 9	第6ブロックへの可搬型照明設置	建屋内30班	2	0:30	建屋内30班 → 通1 → AG8																							
	代替中央制御室送風機による中央制御室の換気確保	AG 10	可搬型発電機の起動準備	制御室1班, 制御室2班	4	2:50	AG3 → 制御室2班 → AG12(制御室2班) (制御室1班) → 制御室1班 → AA15(制御室1班)																							
		AG 11	可搬型送風機の起動準備	制御室3班, 制御室5班	4	2:50	AG2 → 制御室3班 → AG13(制御室3班), AG14(制御室5班) 制御室5班																							
		AG 12	可搬型発電機の起動	制御室2班	2	0:10	AG10 → 制御室2班 → AA15(制御室2班)																							
		AG 13	可搬型送風機の起動	制御室3班	2	0:10	AG11 → 制御室3班 → AA15(制御室3班)																							
	状態監視 燃料の補給	AG 14	状態監視(可搬型発電機, 可搬型送風機) 可搬型発電機への燃料の補給	制御室4班, 制御室5班	4	-	AG6(制御室4班), AG11(制御室5班) → 制御室4班, 制御室5班, 制御室4班, 制御室5班																							

※:各作業内容の実施に必要な時間を示す。(複数回に分けて実施の場合は、作業時間の合計)

第14.2-8図 地震を想定した重大事故等が同時発生した場合の制御建屋における必要な要員及び作業項目 (その1)



対策	作業番号	作業内容	作業班	要員数	経過時間(時:分)																																																																																																							
					48:00	49:00	50:00	51:00	52:00	53:00	54:00	55:00	56:00	57:00	58:00	59:00	60:00	61:00	62:00	63:00	64:00	65:00	66:00	67:00	68:00	69:00	70:00	71:00																																																																																
通信手段の確保	通 1	・可搬型衛星電話及び可搬型トランシーバの敷設	建屋内6班, 建屋内17班 建屋内18班, 建屋内25班 建屋内30班, 建屋内35班	12																																																																																																								
	通 2	・電源ケーブルの敷設	制御室1班, 制御室2班 制御室3班	6																																																																																																								
	通 3	・屋内機器と可搬型発電機の接続	制御室1班, 制御室2班 制御室3班	6																																																																																																								
制御建屋	中央制御室の対応判断	AG 1	・外部電源及び第2非常用D/Gの運転状態確認	制御室1班	2																																																																																																							
		AG 2	・送風機, ダンパ及び制御建屋内ハザード確認	制御室3班, 制御室5班	4																																																																																																							
		AG 3	・制御建屋内ケーブルルート確認	制御室1班	2																																																																																																							
	可搬型照明による中央制御室の照明確保	AG 4	・安全監視室への可搬型照明設置	制御室4班	2																																																																																																							
		AG 5	・第1ブロックへの可搬型照明設置	制御室4班	2																																																																																																							
		AG 6	・第2ブロックへの可搬型照明設置	制御室4班	2																																																																																																							
		AG 7	・第3ブロック及び第4ブロックへの可搬型照明設置	制御室4班	2																																																																																																							
		AG 8	・第5ブロックへの可搬型照明設置	建屋内30班	2																																																																																																							
		AG 9	・第6ブロックへの可搬型照明設置	建屋内30班	2																																																																																																							
	代替中央制御室送風機による中央制御室の換気確保	AG 10	・可搬型発電機の起動準備	制御室1班, 制御室2班	4																																																																																																							
AG 11		・可搬型送風機の起動準備	制御室3班, 制御室5班	4																																																																																																								
AG 12		・可搬型発電機の起動	制御室2班	2																																																																																																								
AG 13		・可搬型送風機の起動	制御室3班	2																																																																																																								
状態監視 燃料の補給	AG 14	・状態監視(可搬型発電機, 可搬型送風機) ・可搬型発電機への燃料の補給	制御室4班, 制御室5班	4	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:10%;"></td><td style="width:10%;"></td> </tr> <tr> <td>制御室4班</td><td>制御室4班</td><td>制御室4班</td><td>制御室4班</td><td>制御室4班</td><td>制御室4班</td><td>制御室4班</td><td>制御室4班</td><td>制御室4班</td><td>制御室4班</td><td>制御室4班</td><td>制御室4班</td><td>制御室4班</td><td>制御室4班</td><td>制御室4班</td><td>制御室4班</td><td>制御室4班</td><td>制御室4班</td><td>制御室4班</td><td>制御室4班</td><td>制御室4班</td><td>制御室4班</td><td>制御室4班</td><td>制御室4班</td><td>制御室4班</td><td>制御室4班</td><td>制御室4班</td> </tr> <tr> <td>制御室5班</td><td>制御室5班</td><td>制御室5班</td><td>制御室5班</td><td>制御室5班</td><td>制御室5班</td><td>制御室5班</td><td>制御室5班</td><td>制御室5班</td><td>制御室5班</td><td>制御室5班</td><td>制御室5班</td><td>制御室5班</td><td>制御室5班</td><td>制御室5班</td><td>制御室5班</td><td>制御室5班</td><td>制御室5班</td><td>制御室5班</td><td>制御室5班</td><td>制御室5班</td><td>制御室5班</td><td>制御室5班</td><td>制御室5班</td><td>制御室5班</td><td>制御室5班</td><td>制御室5班</td> </tr> </table>																																																		制御室4班	制御室5班																																																				
制御室4班	制御室4班	制御室4班	制御室4班	制御室4班	制御室4班	制御室4班	制御室4班	制御室4班	制御室4班	制御室4班	制御室4班	制御室4班	制御室4班	制御室4班	制御室4班	制御室4班	制御室4班	制御室4班	制御室4班	制御室4班	制御室4班	制御室4班	制御室4班	制御室4班	制御室4班	制御室4班																																																																																		
制御室5班	制御室5班	制御室5班	制御室5班	制御室5班	制御室5班	制御室5班	制御室5班	制御室5班	制御室5班	制御室5班	制御室5班	制御室5班	制御室5班	制御室5班	制御室5班	制御室5班	制御室5班	制御室5班	制御室5班	制御室5班	制御室5班	制御室5班	制御室5班	制御室5班	制御室5班	制御室5班																																																																																		

第14.2-8図 地震を想定した重大事故等が同時発生した場合の制御建屋における必要な要員及び作業項目 (その3)

作業番号	作業内容	作業班	要員数	所要時間※ (時・分)	経過時間(時・分)																							
					0:00	1:00	2:00	3:00	4:00	5:00	6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00
放 1	放射線監視装置の状態確認及び監視	放射線対応班長	1	-	放射線対応班長																							
放 2	線量計貸出、入域管理、現場環境確認(初動対応)を行う各建屋対策班の対策作業員への着装補助	放対2班	2	0:20	放対2班 → 放7																							
放 3	可搬型排気モニタリング設備設置(主排気筒管理建屋)	放対1班	2	1:00	放対1班 → 放6																							
放 4	放射性希ガスの指示値確認	放対1班、放対2班 放対3班、放対4班 放対5班	8	2:10	放対1班 → 放18, 放対2班 → 放8, 放対3班 → 放10, 放対4班 → 放8, 放対5班 → 放8																							
放 5	捕集した排気試料の放射能測定	放対1班、放対2班 放対3班、放対4班 放対5班	8	3:10	放対1班 → 放18, 放対2班 → 放8, 放対3班 → 放10, 放対4班 → 放8, 放対5班 → 放8																							
放 6	簡易型風向・風速測定	放対2班、放対3班 放対4班、放対5班	6	0:40	放対2班 → 放10, 放対3班 → 放8, 放対4班 → 放8, 放対5班 → 放8																							
放 7	出入管理区画設営(中央制御室用)	放対2班、放対3班 放対4班、放対5班	6	1:00	放対2班 → 放8(放対5班)、放10(放対3、4班)																							
放 8	出入管理区画運営(中央制御室用) ※:放射性物質の放出後は、5の対応を追加する(11:00以降を想定)	放対2班、放対3班 放対4班、放対5班	6	-	放対2班 → 放10, 放対3班 → 放8, 放対4班 → 放8, 放対5班 → 放8																							
放 9	管理区域への入域状況確認、通常退域者の支援	放対3班、放対4班 放対5班 建屋内32班、建屋内33班	8	0:20	放対3、4、5班(建屋内32、33班)																							
放 10	建屋周辺モニタリング	放対2班、放対3班 放対4班、放対5班 建屋内32班、建屋内33班	10	2:10	放対2班 → 放8, 放対3班 → 放10, 放対4班 → 放8, 放対5班 → 放8																							
放 11	可搬型環境モニタリング設備及びデータ伝送装置設置	放対6班、放対7班 放対8班、放対9班	6	11:10	放対6班 → 放12, 放対7班 → 放12, 放対8班 → 放12, 放対9班 → 放12																							
放 12	可搬型環境モニタリング設備及びデータ伝送装置設置(緊急時対策用)	放対6班	2	1:00	放対6班 → 放11 → AA35																							
放 13	可搬型気象観測設備及びデータ伝送装置の設置	放対1班	2	2:00	放対1班 → 放18 → 放4、5																							
放 14	中央制御室及び緊急時対策所へのデータ伝送装置の設置(可搬型ガスモニタ用)	放対1班	2	1:30	放対1班 → 放4、5 → 放6																							
放 15	出入管理区画の設置・運営(使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の制御室用)	放対3班、放対4班	2	2:00	放対3、4班 → 放8																							
放 16	緊急時環境モニタリング(放射性物質の放出後に実施(11:00以降を想定))	放対1班	2	-	放5 → 放対1班																							
放 17	可搬型排気モニタリング設備運搬(使用済燃料受入れ・貯蔵管理建屋)	放対8班、放対9班	2	0:50	放対8、9班 → 放11																							
放 18	可搬型排気モニタリング設備設置(使用済燃料受入れ・貯蔵管理建屋)	放対1班	2	1:50	放4、5 → 放対1班 → 放13																							

※:各作業内容の実施に必要な時間を示す。(複数回に分けて実施の場合は、作業時間の合計)

第14.2-9図 地震を想定した重大事故等が同時発生した場合の放射線管理における必要な要員及び作業項目(その1)

作業番号	作業内容	作業班	要員数	経過時間(時:分)																							
				24:00	25:00	26:00	27:00	28:00	29:00	30:00	31:00	32:00	33:00	34:00	35:00	36:00	37:00	38:00	39:00	40:00	41:00	42:00	43:00	44:00	45:00	46:00	47:00
放 1	放射線監視盤の状態確認及び監視	放射線対応班長	1	放射線対応班長																							
放 2	検量計貸出、入域管理、現場環境確認(初動対応)を行う各建屋対策班の対策作業員への着装補助	放対2班	2																								
放 3	可搬型排気モニタリング設備設置(主排気筒管理建屋)	放対1班	2																								
放 4	放射性希ガスの指示値確認	放対1班、放対2班 放対3班、放対4班 放対5班	8																								
放 5	捕集した排気試料の放射能測定	放対1班、放対2班 放対3班、放対4班 放対5班	8																								
放 6	簡易型風向・風速測定	放対2班、放対3班 放対4班、放対5班	6																								
放 7	出入管理区画設営(中央制御室用)	放対2班、放対3班 放対4班、放対5班	6																								
放 8	出入管理区画運営(中央制御室用) ※:放射性物質の放出後は、5の対応を追加する(11:00以降を想定)	放対2班、放対3班 放対4班、放対5班	6																								
放 9	管理区域への入域状況確認、通常退域者の支援	放対3班、放対4班 放対5班 建屋内32班、建屋内33班	8																								
放 10	建屋周辺モニタリング	放対2班、放対3班 放対4班、放対5班 建屋内32班、建屋内33班	10																								
放 11	可搬型環境モニタリング設備及びデータ伝送装置設置	放対6班、放対7班 放対8班、放対9班	6																								
放 12	可搬型環境モニタリング設備及びデータ伝送装置設置(緊急時対策用)	放対6班	2																								
放 13	可搬型気象観測設備及びデータ伝送装置の設置	放対1班	2																								
放 14	中央制御室及び緊急時対策所へのデータ伝送装置の設置(可搬型ガスモニター用)	放対1班	2																								
放 15	出入管理区画の設営・運営(使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の制御室用)	放対3班、放対4班	2																								
放 16	緊急時環境モニタリング(放射性物質の放出後に実施(11:00以降を想定))	放対1班	2	放対1班																							
放 17	可搬型排気モニタリング設備運搬(使用済燃料受入れ・貯蔵管理建屋)	放対8班、放対9班	2																								
放 18	可搬型排気モニタリング設備設置(使用済燃料受入れ・貯蔵管理建屋)	放対1班	2																								

第14.2-9 図 地震を想定した重大事故等が同時発生した場合の放射線管理における必要な要員及び作業項目(その2)

作業番号	作業内容	作業班	要員数	経過時間(時:分)																							
				48:00	49:00	50:00	51:00	52:00	53:00	54:00	55:00	56:00	57:00	58:00	59:00	60:00	61:00	62:00	63:00	64:00	65:00	66:00	67:00	68:00	69:00	70:00	71:00
放 1	放射線監視盤の状態確認及び監視	放射線対応班長	1	放射線対応班長																							
放 2	検量計貸出、入域管理、現場環境確認(初動対応)を行う各建屋対策班の対策作業員への着装補助	放対2班	2																								
放 3	可搬型排気モニタリング設備設置(主排気筒管理建屋)	放対1班	2																								
放 4	放射性希ガスの指示値確認	放対1班、放対2班 放対3班、放対4班 放対5班	8																								
放 5	捕集した排気試料の放射能測定	放対1班、放対2班 放対3班、放対4班 放対5班	8																								
放 6	簡易型風向・風速測定	放対2班、放対3班 放対4班、放対5班	6																								
放 7	出入管理区画設営(中央制御室用)	放対2班、放対3班 放対4班、放対5班	6																								
放 8	出入管理区画運営(中央制御室用) ※:放射性物質の放出後は、5の対応を追加する(11:00以降を想定)	放対2班、放対3班 放対4班、放対5班	6																								
放 9	管理区域への入域状況確認、通常退域者の支援	放対3班、放対4班 放対5班 建屋内32班、建屋内33班	8																								
放 10	建屋周辺モニタリング	放対2班、放対3班 放対4班、放対5班 建屋内32班、建屋内33班	10																								
放 11	可搬型環境モニタリング設備及びデータ伝送装置設置	放対6班、放対7班 放対8班、放対9班	6																								
放 12	可搬型環境モニタリング設備及びデータ伝送装置設置(緊急時対策用)	放対6班	2																								
放 13	可搬型気象観測設備及びデータ伝送装置の設置	放対1班	2																								
放 14	中央制御室及び緊急時対策所へのデータ伝送装置の設置(可搬型ガスモニター用)	放対1班	2																								
放 15	出入管理区画の設営・運営(使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の制御室用)	放対3班、放対4班	2																								
放 16	緊急時環境モニタリング(放射性物質の放出後に実施(11:00以降を想定))	放対1班	2	放対1班																							
放 17	可搬型排気モニタリング設備運搬(使用済燃料受入れ・貯蔵管理建屋)	放対8班、放対9班	2																								
放 18	可搬型排気モニタリング設備設置(使用済燃料受入れ・貯蔵管理建屋)	放対1班	2																								

第14.2-9 図 地震を想定した重大事故等が同時発生した場合の放射線管理における必要な要員及び作業項目(その3)



	作業番号	作業内容	作業班	要員数	経過時間(時:分)																							
					24:00	25:00	26:00	27:00	28:00	29:00	30:00	31:00	32:00	33:00	34:00	35:00	36:00	37:00	38:00	39:00	40:00	41:00	42:00	43:00	44:00	45:00	46:00	47:00
情報把握計装設備	情 1	・保管庫から設置場所までの運搬	建屋内48班, 建屋内49班	3																								
	情 2	・情報表示装置及び情報収集装置設置(中央制御室)	建屋内48班, 建屋内49班	3																								
	情 3	・情報収集装置設置(精製建屋)	建屋内48班, 建屋内49班	3																								
	情 4	・情報収集装置設置(分離建屋)	建屋内48班, 建屋内49班	3																								
	情 5	・情報収集装置設置(ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋)	建屋内48班, 建屋内49班	3																								
	情 6	・情報収集装置設置(高レベル廃液ガラス固化建屋)	建屋内48班, 建屋内49班	3																								
	情 7	・情報収集装置設置(前処理建屋)	建屋内48班, 建屋内49班	3																								

第14.2-10図 地震を想定した重大事故等が同時発生した場合の情報把握計装設備における必要な要員及び作業項目 (その2)

	作業番号	作業内容	作業班	要員数	経過時間(時:分)																							
					48:00	49:00	50:00	51:00	52:00	53:00	54:00	55:00	56:00	57:00	58:00	59:00	60:00	61:00	62:00	63:00	64:00	65:00	66:00	67:00	68:00	69:00	70:00	71:00
情報把握計装設備	情 1	・保管庫から設置場所までの運搬	建屋内48班, 建屋内49班	3																								
	情 2	・情報表示装置及び情報収集装置設置(中央制御室)	建屋内48班, 建屋内49班	3																								
	情 3	・情報収集装置設置(精製建屋)	建屋内48班, 建屋内49班	3																								
	情 4	・情報収集装置設置(分離建屋)	建屋内48班, 建屋内49班	3																								
	情 5	・情報収集装置設置(ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋)	建屋内48班, 建屋内49班	3																								
	情 6	・情報収集装置設置(高レベル廃液ガラス固化建屋)	建屋内48班, 建屋内49班	3																								
	情 7	・情報収集装置設置(前処理建屋)	建屋内48班, 建屋内49班	3																								

第14.2-10図 地震を想定した重大事故等が同時発生した場合の情報把握計装設備における必要な要員及び作業項目 (その3)

対策	作業番号	作業内容	作業班	要員数	所要時間※ (時:分)	事前対応	経過時間(時:分)																							
							0:00	1:00	2:00	3:00	4:00	5:00	6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00
屋外設備 移動	-	-	-	-	-	-																								
	水素乾固 発生防止	AA 19	-膨張槽水位確認	建屋内12班、建屋内13班	4	1:30																								
		AA 22	-可搬型貯槽温度計設置及び貯槽溶液温度計測	建屋内14班、建屋内15班	4	1:10																								
		AA 20	-内部ループ通水準備(可搬型建屋内ホース敷設、接続、隔離)	建屋内16班、建屋内17班	4	1:00																								
		AA 21	-内部ループ通水(弁操作、漏えい確認、内部ループ健全性確認、冷却水流量(内部ループ通水)確認)	建屋内14班	2	0:30																								
		AA 23	-貯槽溶液温度計測	建屋内15班	2	0:40																								
		AA 25	-可搬型漏えい検出血液計設置(漏えい検出血液計測定)	建屋内16班、建屋内17班	4	1:35																								
	系発乾固 拡大防止	AA 24	-可搬型建屋内ホース敷設、接続	建屋内16班、建屋内17班	4	1:00																								
		AA 25	-可搬型貯槽液位計設置及び貯槽液位計測	建屋内13班、建屋内14班 建屋内18班	6	1:10																								
		AA 26	-貯槽注水、漏えい確認等	建屋内28班	2	0:30																								
AA 27		-貯槽液位計測	建屋内29班	2	0:40																									
水素爆発 発生防止	AA 1	-可搬型建屋外ホース敷設	建屋内22班、建屋内23班	4	1:30																									
	AA 2	-可搬型貯槽補気圧縮空気流量計、可搬型水素掃気系統圧縮空気圧力計設置及び可搬型セル導出ユニット流量計設置	建屋内24班、建屋内25班	4	0:25																									
	AA 3	-可搬型建屋内ホース敷設、接続	建屋内24班、建屋内25班	4	0:35																									
	AA 4	-可搬型空気圧縮機起動	建屋内24班、建屋内25班	4	0:15																									
	AA 5	-可搬型空気圧縮機からの供給開始、可搬型水素掃気系統圧縮空気圧力確認	放対8班	2	0:10																									
	AA 6	-水素掃気系統圧縮空気圧力及び貯槽掃気流量確認、貯槽掃気流量調整、可搬型セル導出ユニット流量調整	建屋内22班、建屋内23班	4	1:00																									
	AA 7	-可搬型貯槽補気圧縮空気流量計設置	建屋内24班、建屋内25班	4	0:25																									
	AA 8	-可搬型建屋内ホース敷設、接続	建屋内24班、建屋内25班	4	0:25																									
	AA 9	-可搬型空気圧縮機からの供給開始	建屋内25班	2	0:10																									
	AA 10	-貯槽掃気流量確認、貯槽掃気流量調整、可搬型セル導出ユニット流量確認	建屋内22班、建屋内23班	4	0:50																									
拡大防止 (放出防止)	AA 28	-可搬型建屋内ホース敷設、接続、隔離掃気温度計設置	建屋内16班、建屋内17班	4	0:30																									
	AA 29	-凝縮器通水、漏えい確認及び凝縮器通水流量監視	建屋内16班	2	0:40																									
	AA 11	-ダンパ閉止	建屋内33班	2	1:00																									
	AA 12	-隔離弁の操作、可搬型セル導出ユニット流量計設置、可搬型凝縮器通水流量調整	建屋内32班	2	0:45																									
	AA 14	-可搬型導出先セル圧力計設置、可搬型ガス洗浄塔入口圧力計設置	建屋内34班	2	1:20																									
	AA 15	-可搬型電源ケーブル敷設	制御室1班、制御室2班 制御室3班	6	1:00																									
	AA 15	-可搬型ダクト、可搬型フィルタ設置、可搬型排風機設置	放対6班、放対7班 放対8班、放対9班	6	2:30																									
	AA 16	-可搬型発電機起動	制御室1班	2	0:15																									
	AA 17	-可搬型排風機起動準備	放対6班、放対7班	4	0:15																									
	AA 13	-可搬型水素濃度計設置	建屋内46班、建屋内47班	4	0:30																									
AA 31	-水素濃度測定	建屋内13班、建屋内43班 建屋内48班	6	3:10																										
AA 18	-可搬型導出先セル圧力確認、可搬型排風機起動	放対6班、放対7班 放対8班、放対9班	6	1:00																										
系発乾固 拡大防止	AAコ1 1	-可搬型建屋内ホース等運搬(前処理建屋内部ループ1)	建屋内17班	2	0:50																									
	AAコ1 2	-冷却コイル又は冷却ジャケット通水準備(可搬型建屋内ホース敷設、冷却コイル圧力計設置、接続(前処理建屋内部ループ1))	建屋内20班、建屋内21班	4	1:30																									
	AAコ1 3	-冷却コイル又は冷却ジャケット通水(弁操作、漏えい確認、冷却コイル又は冷却ジャケット健全性確認、冷却水圧力(冷却コイル通水)確認)(前処理建屋内部ループ1)	建屋内22班、建屋内23班 建屋内24班	6	1:10																									
	AAコ1 4	-冷却コイル通水(弁操作、漏えい確認、冷却水圧力(冷却コイル通水)確認)(前処理建屋内部ループ1)	建屋内20班、建屋内21班	4	0:15																									
	AAコ2 1	-可搬型建屋内ホース等運搬(前処理建屋内部ループ2)	建屋内20班	2	1:20																									
	AAコ2 2	-冷却コイル又は冷却ジャケット通水準備(可搬型建屋内ホース敷設、冷却コイル圧力計設置、接続(前処理建屋内部ループ2))	建屋内22班、建屋内23班 建屋内24班、建屋内25班	8	1:20																									
	AAコ2 3	-冷却コイル又は冷却ジャケット通水(弁操作、漏えい確認、冷却コイル又は冷却ジャケット健全性確認、冷却水圧力(冷却コイル通水)確認)(前処理建屋内部ループ2)	建屋内13班、建屋内14班 建屋内15班、建屋内16班	8	1:30																									
AAコ2 4	-冷却コイル通水(弁操作、漏えい確認、冷却水圧力(冷却コイル通水)確認)(前処理建屋内部ループ2)	建屋内15班	2	0:30																										
計器監視 燃料の補給	AA 30	-計器監視(貯槽溶液温度、水素掃気圧縮空気圧力、水素掃気系統圧縮空気圧力、貯槽掃気流量、冷却水流量(内部ループ通水)、溶解セル圧力、放射性配管分岐系1セル圧力、水素濃度、貯槽液位、凝縮器出口排気温度、凝縮器通水流量) -可搬型発電機及び可搬型空気圧縮機等への燃料の補給	建屋内11班、建屋内12班	4	-																									

※:各作業内容の実施に必要な時間を示す。(複数回に分けて実施の場合は、作業時間の合計)

第14.2-11図 火山を想定した重大事故等が同時発生した場合の前処理建屋における必要な要員及び作業項目(その1)











対策	作業番号	作業内容	作業班	要員数	経過時間(時:分)																							
					24:00	25:00	26:00	27:00	28:00	29:00	30:00	31:00	32:00	33:00	34:00	35:00	36:00	37:00	38:00	39:00	40:00	41:00	42:00	43:00	44:00	45:00	46:00	47:00
高気圧側 発生防止	AB/L1 1	・可搬型建屋内ホース等運搬(分離建屋内部ループ2)	建屋内6班 建屋内7班 建屋内8班	6																								
	AB/L1 2	・断熱機液位確認(分離建屋内部ループ2)	建屋内6班 建屋内7班	4																								
	AB/L1 3	・可搬型貯槽温度計設置及び貯槽溶液温度計測(分離建屋内部ループ2)	建屋内6班 建屋内9班	4																								
	AB/L1 4	・内部ループ過水準備(可搬型建屋内ホース敷設、接続)(分離建屋内部ループ2)	建屋内6班 建屋内7班	4																								
	AB/L1 5	・内部ループ過水準備(ポンプ隔離、弁開閉)(分離建屋内部ループ2)	建屋内6班 建屋内7班	4																								
	AB/L1 6	・内部ループ過水(弁操作、漏えい確認、冷却水流量(内部ループ過水)確認)(分離建屋内部ループ2)	建屋内6班 建屋内9班	4																								
	AB/L1 7	・貯槽溶液温度計測(分離建屋内部ループ2)	建屋内36班	2																								
	AB/L1 変更	・可搬型漏えい検出機液位計設置(漏えい検出機液位測定)(分離建屋内部ループ2)	建屋内40班	2																								
	AB/L2 1	・可搬型建屋内ホース等運搬(分離建屋内部ループ3)	建屋内30班 建屋内31班 建屋内40班	6																								
	AB/L2 2	・断熱機液位確認(分離建屋内部ループ3)	建屋内34班 建屋内35班	4																								
	AB/L2 3	・可搬型貯槽温度計設置及び貯槽溶液温度計測(分離建屋内部ループ3)	建屋内32班 建屋内33班 建屋内37班 建屋内38班 建屋内39班 建屋内40班	12																								
	AB/L2 4	・内部ループ過水準備(可搬型建屋内ホース敷設、接続)(分離建屋内部ループ3)	建屋内30班 建屋内31班	4																								
	AB/L2 5	・内部ループ過水準備(ポンプ隔離、弁開閉)(分離建屋内部ループ3)	建屋内30班 建屋内31班	4																								
	AB/L2 6	・内部ループ過水(弁操作、漏えい確認、冷却水流量(内部ループ過水)確認)(分離建屋内部ループ3)	建屋内32班 建屋内33班	4																								
AB/L2 7	・貯槽溶液温度計測(分離建屋内部ループ3)	建屋内37班	2																									
AB/L2 変更	・可搬型漏えい検出機液位計設置(漏えい検出機液位測定)(分離建屋内部ループ3)	建屋内28班 建屋内29班 建屋内30班 建屋内31班 建屋内34班 建屋内35班	12																									
分離 建屋	AB/D1 1	・冷却コイル過水準備(可搬型建屋内ホース敷設、冷却コイル圧力計設置)(分離建屋内部ループ1)	建屋内30班 建屋内39班 建屋内40班	6																								
	AB/D1 2	・冷却コイル健全性確認(弁操作、漏えい確認、冷却コイル健全性確認、冷却水圧力(冷却コイル過水)確認)(分離建屋内部ループ1)	建屋内33班 建屋内34班	4																								
	AB/D1 3	・冷却コイル過水(弁操作、漏えい確認、冷却水圧力(冷却コイル過水)確認)(分離建屋内部ループ1)	建屋内33班 建屋内34班	4																								
	AB/D2 1	・可搬型建屋内ホース等運搬(分離建屋内部ループ2)	建屋内6班 建屋内9班 建屋内10班	6																								
	AB/D2 2	・冷却コイル又は冷却ジャケット過水準備(可搬型建屋内ホース敷設、冷却コイル又は冷却ジャケット圧力計設置)(分離建屋内部ループ2)	建屋内34班 建屋内35班 建屋内36班	6																								
	AB/D2 3	・冷却コイル又は冷却ジャケット健全性確認(弁操作、漏えい確認、冷却コイル又は冷却ジャケット過水)確認(分離建屋内部ループ2)	建屋内28班 建屋内29班	4																								
	AB/D2 4	・冷却コイル又は冷却ジャケット過水(弁操作、漏えい確認、冷却水圧力(冷却コイル又は冷却ジャケット過水)確認)(分離建屋内部ループ2)	建屋内30班 建屋内31班 建屋内10班	4																								
	AB/D3 1	・可搬型建屋内ホース等運搬(分離建屋内部ループ3)	建屋内3班 建屋内9班 建屋内10班	6																								
	AB/D3 2	・冷却コイル過水準備(可搬型建屋内ホース敷設、冷却コイル圧力計設置)(分離建屋内部ループ3)	建屋内3班 建屋内9班 建屋内7班 建屋内8班 建屋内9班 建屋内10班	12																								
	AB/D3 3	・冷却コイル健全性確認(弁操作、漏えい確認、冷却コイル健全性確認、冷却水圧力(冷却コイル過水)確認)(分離建屋内部ループ3)	建屋内6班 建屋内7班 建屋内8班 建屋内9班	6																								
	AB/D3 4	・冷却コイル過水(弁操作、漏えい確認、冷却水圧力(冷却コイル過水)確認)(分離建屋内部ループ3)	建屋内6班 建屋内7班 建屋内8班 建屋内9班	8																								
	AB/D4 1	・可搬型建屋内ホース敷設、接続(分離建屋内部ループ3)	建屋内6班 建屋内7班	4																								
	AB/D4 2	・貯槽溶液温度測定(分離建屋内部ループ3)	建屋内6班	2																								
	AB/D4 3	・漏えい確認(分離建屋内部ループ3)	建屋内7班	2																								
AB/D4 4	・可搬型貯槽液位計設置及び貯槽液位測定(分離建屋内部ループ3)	建屋内6班	2																									
AB/D4 5	・貯槽注水(分離建屋内部ループ3)	建屋内6班	2																									
高気圧側 発生防止	AB/D1 1	・可搬型建屋内ホース敷設、接続、弁操作(分離建屋内部ループ2、3)	建屋内36班 建屋内38班	4																								
	AB/D1 2	・漏えい確認(分離建屋内部ループ2、3)	建屋内36班 建屋内40班	4																								
	AB/D1 3	・漏れ確認(分離建屋内部ループ2、3)	建屋内36班 建屋内38班	4																								
計器監視 燃料の供給	AB 38	・計器監視(水素供給系統圧縮空気圧力、貯槽溶液流量、高レベル過流検出溶液温度、冷却水流量(内部ループ過水)、貯槽溶液温度、放射性能率分解器セム圧力、環境検出ガス検出センサ圧力、水素流量、貯槽溶液流量、高レベル過流検出溶液温度、漏れ検出ガス検出センサ圧力、貯槽溶液温度、貯槽溶液流量、貯槽溶液温度、貯槽溶液流量) ・可搬型発電機又は可搬型空気圧縮機等への燃料の供給	建屋内4班 建屋内5班	4																								

第14.2-12図 火山を想定した重大事故等が同時発生した場合の分離建屋における必要な要員及び作業項目(その4)



対策	作業番号	作業内容	作業班	要員数	経過時間(時:分)																							
					48:00	49:00	50:00	51:00	52:00	53:00	54:00	55:00	56:00	57:00	58:00	59:00	60:00	61:00	62:00	63:00	64:00	65:00	66:00	67:00	68:00	69:00	70:00	71:00
高気圧 発生防止	AB/L1 1	・可搬型建屋内ホース等運搬(分離建屋内部ループ2)	建屋内6班 建屋内7班 建屋内8班	6																								
	AB/L1 2	・断強機液位確認(分離建屋内部ループ2)	建屋内6班 建屋内7班	4																								
	AB/L1 3	・可搬型貯槽温度計設置及び貯槽溶液温度計測(分離建屋内部ループ2)	建屋内6班 建屋内9班	4																								
	AB/L1 4	・内部ループ過水準備(可搬型建屋内ホース敷設、接続)(分離建屋内部ループ2)	建屋内6班 建屋内7班	4																								
	AB/L1 5	・内部ループ過水準備(ポンプ隔離、弁隔離)(分離建屋内部ループ2)	建屋内6班 建屋内7班	4																								
	AB/L1 6	・内部ループ過水(弁操作、漏えい確認、冷却水流量)(内部ループ過水)確認(分離建屋内部ループ2)	建屋内6班 建屋内9班	4																								
	AB/L1 7	・貯槽溶液温度計測(分離建屋内部ループ2)	建屋内36班	2																								
	AB/L1 変換	・可搬型漏えい検出機液位計設置(漏えい検出機液位測定)(分離建屋内部ループ2)	建屋内40班	2																								
	AB/L2 1	・可搬型建屋内ホース等運搬(分離建屋内部ループ3)	建屋内30班 建屋内31班 建屋内40班	6																								
	AB/L2 2	・断強機液位確認(分離建屋内部ループ3)	建屋内34班 建屋内35班	4																								
	AB/L2 3	・可搬型貯槽温度計設置及び貯槽溶液温度計測(分離建屋内部ループ3)	建屋内32班 建屋内33班 建屋内37班 建屋内38班 建屋内39班 建屋内40班	12																								
	AB/L2 4	・内部ループ過水準備(可搬型建屋内ホース敷設、接続)(分離建屋内部ループ3)	建屋内30班 建屋内31班	4																								
	AB/L2 5	・内部ループ過水準備(ポンプ隔離、弁隔離)(分離建屋内部ループ3)	建屋内30班 建屋内31班	4																								
	AB/L2 6	・内部ループ過水(弁操作、漏えい確認、冷却水流量)(内部ループ過水)確認(分離建屋内部ループ3)	建屋内32班 建屋内33班	4																								
AB/L2 7	・貯槽溶液温度計測(分離建屋内部ループ3)	建屋内37班	2																									
AB/L2 変換	・可搬型漏えい検出機液位計設置(漏えい検出機液位測定)(分離建屋内部ループ3)	建屋内28班 建屋内29班 建屋内30班 建屋内31班 建屋内34班 建屋内35班	12																									
分離 建屋	AB/D1 1	・冷却コイル過水準備(可搬型建屋内ホース敷設、冷却コイル圧力計設置)(分離建屋内部ループ1)	建屋内38班 建屋内39班 建屋内40班	6																								
	AB/D1 2	・冷却コイル健全性確認(弁操作、漏えい確認、冷却コイル健全性確認、冷却水圧力(冷却コイル過水)確認)(分離建屋内部ループ1)	建屋内38班 建屋内40班	4																								
	AB/D1 3	・冷却コイル過水(弁操作、漏えい確認、冷却水圧力(冷却コイル過水)確認)(分離建屋内部ループ1)	建屋内38班 建屋内40班	4																								
	AB/D2 1	・可搬型建屋内ホース等運搬(分離建屋内部ループ2)	建屋内6班 建屋内9班 建屋内10班	6																								
	AB/D2 2	・冷却コイル又は冷却ジャケット過水準備(可搬型建屋内ホース敷設、冷却コイル又は冷却ジャケット圧力計設置)(分離建屋内部ループ2)	建屋内34班 建屋内35班 建屋内36班	6																								
	AB/D2 3	・冷却コイル又は冷却ジャケット健全性確認(弁操作、漏えい確認、冷却コイル又は冷却ジャケット健全性確認、冷却水圧力(冷却コイル又は冷却ジャケット過水)確認)(分離建屋内部ループ2)	建屋内28班 建屋内29班	4																								
	AB/D2 4	・冷却コイル又は冷却ジャケット過水(弁操作、漏えい確認、冷却水圧力(冷却コイル又は冷却ジャケット過水)確認)(分離建屋内部ループ2)	建屋内30班 建屋内31班 建屋内10班	4																								
	AB/D3 1	・可搬型建屋内ホース等運搬(分離建屋内部ループ3)	建屋内6班 建屋内9班 建屋内10班	6																								
	AB/D3 2	・冷却コイル過水準備(可搬型建屋内ホース敷設、冷却コイル圧力計設置)(分離建屋内部ループ3)	建屋内38班 建屋内39班 建屋内40班	12																								
	AB/D3 3	・冷却コイル健全性確認(弁操作、漏えい確認、冷却コイル健全性確認、冷却水圧力(冷却コイル過水)確認)(分離建屋内部ループ3)	建屋内6班 建屋内7班 建屋内8班 建屋内9班	8																								
	AB/D3 4	・冷却コイル過水(弁操作、漏えい確認、冷却水圧力(冷却コイル過水)確認)(分離建屋内部ループ3)	建屋内6班 建屋内7班 建屋内8班 建屋内9班	8																								
	AB/D4 1	・可搬型建屋内ホース敷設、接続(分離建屋内部ループ3)	建屋内6班 建屋内7班	4																								
	AB/D4 2	・貯槽溶液温度測定(分離建屋内部ループ3)	建屋内6班	2																								
	AB/D4 3	・漏えい確認(分離建屋内部ループ3)	建屋内7班	2																								
AB/D4 4	・可搬型貯槽液位計設置及び貯槽液位測定(分離建屋内部ループ3)	建屋内8班	2																									
AB/D4 5	・貯槽注水(分離建屋内部ループ3)	建屋内8班	2																									
高気圧 拡大防止	AB/D5 1	・可搬型建屋内ホース敷設、接続、弁操作(分離建屋内部ループ2、3)	建屋内36班 建屋内38班	4																								
	AB/D5 2	・漏えい確認(分離建屋内部ループ2、3)	建屋内38班 建屋内40班	4																								
	AB/D5 3	・凝縮器過水(分離建屋内部ループ2、3)	建屋内38班 建屋内40班	4																								
計器監視 燃料の補給	AB 38	・計器監視(水素供給系統圧縮空気圧力、貯槽溶液流量、高レベル過流検出器溶液温度、冷却水流量(内部ループ過水)、貯槽溶液温度、放射性能率分岐器7セル圧力、環境検出器大気浄化セル圧力、水素流量、貯槽溶液流量、高レベル過流検出器溶液温度、凝縮器出口排気温度、冷却水流量(凝縮器過水)貯槽溶液温度、貯槽液位) ・可搬型発電機又は可搬型空気圧縮機等への燃料の補給	建屋内4班 建屋内5班	4																								

第14.2-12図 火山を想定した重大事故等が同時発生した場合の分離建屋における必要な要員及び作業項目(その6)

対策	作業番号	作業内容	作業班	要員数	所要時間※ (時:分)	経過時間(時:分)																								
						0:00	1:00	2:00	3:00	4:00	5:00	6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00	
屋外設備移動	-	・車両着付 ・SA設備の固縛解縛 ・SA設備の玉がけ・地切り ・SA設備の吊り上げ及び積載 ・SA設備の車上固縛 ・SA設備の固縛解縛 ・SA設備の玉がけ・地切り ・SA設備の吊り上げ及び積載 ・SA設備の車上固縛 ・車両移動	建屋内19班、建屋内22班 建屋内19班、建屋内22班 建屋内19班、建屋内22班 建屋内19班、建屋内22班 建屋内19班、建屋内22班 建屋内19班、建屋内22班 建屋内19班、建屋内22班 建屋内19班、建屋内22班 建屋内19班、建屋内22班	4 4 4 4 4 4 4 4 4	0:10 0:10 0:05 0:10 0:05 0:10 0:05 0:10 0:10																									
	蒸発乾固発生防止	AC 20	・膨張槽液位測定	建屋内23班	2	1:00																								
		AC 25	・可搬型建屋内ホース敷設、接続、漏れ確認	建屋内18班、建屋内19班	4	0:45																								
		AC 26	・可搬型貯槽液位計設置及び貯槽液位計測	建屋内16班、建屋内17班、建屋内20班	6	1:30																								
		AC 27	・貯槽注水	建屋内48班	2	0:30																								
		AC 28	・貯槽液位測定	建屋内48班	2	0:30																								
		AC 2	・可搬型建屋外ホース及び可搬型建屋内ホース敷設、接続	建屋内27班	2	0:30																								
	水素爆発発生防止	AC 3	・可搬型貯槽掃気圧縮空気流量計及び可搬型水素掃気系統圧縮空気圧力計設置	建屋内24班、建屋内25班	4	0:45																								
		AC 4	・可搬型建屋内ホース接続	建屋内24班、建屋内25班	4	0:15																								
		AC 5	・可搬型空気圧縮機起動	建屋内27班	2	0:20																								
AC 6		・可搬型空気圧縮機からの供給開始、水素掃気用圧縮空気圧力確認	建屋内22班	2	0:15																									
AC 7		・水素掃気系統圧縮空気圧力及び貯槽掃気圧縮空気流量確認、貯槽掃気流量調整、セル導出ユニット流量確認	建屋内21班、建屋内22班	4	1:05																									
AC 33		・圧縮空気自動供給貯槽又は機器圧縮空気自動供給ユニット圧力確認	建屋内13班、建屋内19班、建屋内20班、建屋内25班	8	0:50																									
AC 35		・圧縮空気自動供給貯槽圧力確認、弁操作	建屋内21班	2	0:10																									
精製建屋	AC 1	・圧縮空気手動供給ユニットからかかはん系統への圧縮空気供給	建屋内20班、建屋内21班	4	1:05																									
	AC 34	・圧縮空気手動供給ユニット圧力確認	建屋内18班、建屋内20班、建屋内21班、建屋内22班、建屋内25班	10	1:00																									
	AC 8	・可搬型建屋内ホース接続(建屋入口)	建屋内23班、建屋内24班	4	0:20																									
	AC 9	・可搬型建屋内ホース接続(建屋内)、可搬型貯槽掃気圧縮空気流量計及び可搬型かかはん系統圧縮空気圧力計設置	建屋内23班、建屋内24班	4	0:30																									
	AC 10	・可搬型空気圧縮機からの供給開始、かかはん系統圧縮空気圧力確認	建屋内23班	2	0:15																									
	AC 11	・かかはん系統圧縮空気圧力及び貯槽掃気流量確認、貯槽掃気流量調整、セル導出ユニット流量確認	建屋内21班、建屋内22班	4	1:30																									
拡大防止(放出防止)	AC 29	・可搬型建屋内ホース敷設、接続、排気温度計設置	建屋内11班、建屋内12班	4	1:00																									
	AC 30	・漏れ確認等、凝縮器通水	建屋内11班、建屋内12班	4	0:20																									
	AC 12	・隔離弁の操作、可搬型セル導出ユニット流量計設置	建屋内14班	2	0:45																									
	AC 13	・可搬型導出先セル圧力計設置	建屋内14班	2	0:15																									
	AC 14	・ダンパ閉止	建屋内15班	2	0:50																									
	AC 15	・可搬型水素濃度計設置	建屋内13班、建屋内27班	4	0:30																									
	AC 32	・水素濃度測定	建屋内13班、建屋内15班、建屋内19班、建屋内20班、建屋内24班、建屋内25班、建屋内26班	14	2:00																									
	AC 16	・可搬型ダクト、可搬型排風機、可搬型フィルタの設置	建屋内19班、建屋内20班、建屋内21班、建屋内24班、建屋内25班、建屋内26班	12	2:15																									
	AC 17	・可搬型排風機起動準備	建屋内13班	2	0:20																									
	AC 18	・放射性配管分岐第1セル圧力確認、可搬型排風機起動	建屋内13班	2	1:00																									
蒸発乾固拡大防止	AC=1 1	・可搬型建屋内ホース等運搬(精製建屋蒸発乾固 1)	建屋内20班、建屋内22班、建屋内23班	6	0:40																									
	AC=1 2	・冷却コイル通水準備(可搬型建屋内ホース敷設、冷却コイル圧力計設置)(精製建屋蒸発乾固 1)	建屋内20班、建屋内22班、建屋内23班	6	0:40																									
	AC=1 3	・冷却コイル健全性確認(弁操作、漏れ確認、冷却コイル健全性確認、冷却水圧力(冷却コイル通水)確認)(精製建屋蒸発乾固 1)	建屋内21班、建屋内22班	4	5:00																									
	AC=1 4	・冷却コイル通水(弁操作、漏れ確認、冷却水圧力(冷却コイル通水)確認)(精製建屋蒸発乾固 1)	建屋内22班	2	0:20																									
	AC=2 1	・可搬型建屋内ホース等運搬(精製建屋蒸発乾固 2)	建屋内23班、建屋内24班、建屋内25班	6	0:40																									
	AC=2 2	・冷却コイル通水準備(可搬型建屋内ホース敷設、冷却コイル圧力計設置)(精製建屋蒸発乾固 2)	建屋内23班、建屋内24班、建屋内25班	6	0:50																									
	AC=2 3	・冷却コイル健全性確認(弁操作、漏れ確認、冷却コイル健全性確認、冷却水圧力(冷却コイル通水)確認)(精製建屋蒸発乾固 2)	建屋内20班、建屋内21班	4	6:00																									
	AC=2 4	・冷却コイル通水(弁操作、漏れ確認、冷却水圧力(冷却コイル通水)確認)(精製建屋蒸発乾固 2)	建屋内20班	2	0:30																									
計器監視燃料の補給	AC 31	・計器監視(貯槽液位、冷却水流量(内部ループ通水)、水素掃気系統圧縮空気圧力、貯槽掃気圧縮空気流量、放射性配管分岐第1セル圧力、フルトリウム系増殖炉廃ガス洗浄セル圧力確認、水素濃度、貯槽液位、凝縮器出口排水温度、凝縮器通水流量、かかはん系統圧縮空気圧力) ・可搬型発電機及び可搬型空気圧縮機等への燃料の補給	建屋内26班、建屋内27班	4	-																									

※:各作業内容の実施に必要な時間を示す。(複数回に分けて実施の場合は、作業時間の合計)

第14.2-13図 火山を想定した重大事故等が同時発生した場合の精製建屋における必要な要員及び作業項目(その1)





対策	作業番号	作業内容	作業班	要員数	所要時間※ (時:分)	事前対応																								
						経過時間(時:分)																								
						0:00	1:00	2:00	3:00	4:00	5:00	6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00	
屋外設備移動	-	-	-	-	-																									
	系発乾固発生防止	CA 20	- 振張槽液位確認	建屋内23班	2	1:00																								
		CA 21	- 可搬型貯槽温度計設置及び貯槽温度計測	建屋内24班、建屋内25班	4	1:10																								
		CA 22	- 内部ループ連水準備(弁開閉、可搬型建屋内ホース敷設、接続、弁操作、内部ループ健全性確認、漏えい確認)	建屋内15班、建屋内16班	4	1:30																								
		CA 23	- 内部ループ連水(弁操作、冷却水流量(内部ループ連水)確認)	建屋内23班	2	0:10																								
		CA 24	- 受皿	建屋内20班、建屋内22班	4	2:00																								
	系発乾固拡大防止	CA 24	- 可搬型建屋内ホース敷設、接続、弁操作、漏えい確認	建屋内11班、建屋内12班	4	1:20																								
		CA 25	- 弁操作、機器注水	建屋内48班	2	0:10																								
		CA 26	- 可搬型貯槽液位計設置及び貯槽液位計測	建屋内13班、建屋内14班	4	2:00																								
	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	水素発生防止	CA 1	- 可搬型建屋外ホース敷設、接続	建屋内13班	2	0:40																							
CA 2			- 可搬型貯槽積気圧縮空気流量計及び可搬型水素捕集系統圧縮空気圧力計設置	建屋内20班	2	0:30																								
CA 3			- 可搬型建屋内ホース敷設、接続	建屋内13班	2	0:20																								
CA 4			- 可搬型空気圧縮機からの供給開始、水素捕集系統圧縮空気圧力確認	建屋内20班	2	0:10																								
CA 5			- 水素捕集系統圧縮空気圧力及び貯槽積気圧縮空気流量確認、貯槽積気圧縮空気流量調整、セル導出ユニット流量確認	建屋内20班、建屋内22班	4	0:30																								
水素発生拡大防止		CA 31	- 圧縮空気自動供給ユニット又は機器圧縮空気自動供給ユニット圧力確認	建屋内21班、建屋内24班、建屋内27班、建屋内43班、建屋内47班	10	1:20																								
		CA 33	- 圧縮空気自動供給ユニット圧力確認、弁操作	建屋内47班	2	0:10																								
		-	- 圧縮空気自動供給ユニットからかはん系統への圧縮空気供給(現場環境確認時実施)	建屋内18班、建屋内22班、建屋内23班	6	0:20																								
		CA 6	- 可搬型建屋外ホース接続	建屋内21班	2	0:20																								
		CA 7	- 可搬型建屋内ホース敷設、接続、可搬型貯槽積気圧縮空気流量計及び圧縮機からかはん系統圧縮空気圧力計設置	建屋内21班	2	0:40																								
水素発生拡大防止	CA 8	- 可搬型空気圧縮機からの供給開始、かはん系統圧縮空気圧力確認	建屋内21班	2	0:10																									
	CA 9	- 貯槽積気圧縮空気流量確認、貯槽積気圧縮空気流量調整、セル導出ユニット流量確認	建屋内20班、建屋内22班	4	0:30																									
	CA 32	- 圧縮空気自動供給ユニット圧力確認	建屋内12班、建屋内24班、建屋内27班、建屋内43班、建屋内47班	10	1:30																									
	CA 27	- 可搬型建屋内ホース敷設、接続、弁操作、漏えい確認	建屋内11班、建屋内12班、建屋内13班、建屋内23班	8	3:50																									
	CA 28	- 弁操作、凝縮器排水	建屋内11班	2	0:10																									
拡大防止(放出防止)	CA 10	- 隔離弁の操作、可搬型セル導出ユニット流量計設置	建屋内18班	2	1:30																									
	CA 11	- ダンパ閉止	建屋内17班、建屋内18班	4	0:30																									
	CA 12	- 可搬型導出先セル圧力計設置	建屋内17班、建屋内18班	4	0:10																									
	CA 13	- 可搬型水素濃度計設置	建屋内45班、建屋内46班	4	0:30																									
	CA 30	- 水素濃度測定	建屋内17班、建屋内20班、建屋内23班、建屋内24班、建屋内25班、建屋内27班、建屋内43班、建屋内45班、建屋内47班	18	2:30																									
	CA 14	- 可搬型ダクト設置	建屋内14班、建屋内15班、建屋内16班、建屋内18班、建屋内19班	12	2:30																									
	CA 15	- 可搬型排風機、可搬型フィルタ設置	建屋内14班、建屋内19班	4	0:50																									
	CA 16	- 可搬型電源ケーブル敷設	建屋内22班、建屋内23班、建屋内27班	6	1:50																									
	CA 17	- ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋可搬型発電機起動	建屋内27班	2	0:20																									
	CA 18	- 可搬型排風機起動準備	建屋内14班、建屋内19班	4	0:10																									
系発乾固発生防止	CA31 1	- 可搬型建屋内ホース等準備	建屋内11班、建屋内12班、建屋内13班、建屋内14班	8	1:00																									
	CA31 2	- 冷却ジャケット連水準備(可搬型建屋内ホース敷設、冷却ジャケット圧力計設置)	建屋内15班、建屋内16班、建屋内17班	6	0:30																									
	CA31 3	- 冷却ジャケット健全性確認(弁操作、漏えい確認、冷却ジャケット健全性確認、冷却水圧力(冷却ジャケット連水)確認)	建屋内15班、建屋内24班、建屋内25班	6	0:50																									
	CA31 4	- 冷却ジャケット連水(弁操作、漏えい確認、冷却水圧力(冷却ジャケット連水)確認)	建屋内24班、建屋内25班	4	0:50																									
	CA 29	- 計器監視(水素捕集系統圧縮空気圧力又はかはん系統圧縮空気圧力、貯槽積気圧縮空気流量、導出先セル圧力、水素濃度、貯槽積気圧縮空気流量(内部ループ連水)、貯槽液位、凝縮器排水流量、凝縮器出口排気温度、貯槽液位温度、可搬型発電機及び可搬型空気圧縮機等への燃料の補給)	建屋内18班、建屋内19班	4	-																									

※:各作業内容の実施に必要な時間を示す。(複数回に分けて実施の場合は、作業時間の合計)

第14.2-14 図 火山を想定した重大事故等が同時発生した場合のウラン・プルトニウム混合脱硝建屋における必要な要員及び作業項目(その1)



















対策	作業番号	作業内容	作業班	要員数	経過時間(時:分)																							
					24:00	25:00	26:00	27:00	28:00	29:00	30:00	31:00	32:00	33:00	34:00	35:00	36:00	37:00	38:00	39:00	40:00	41:00	42:00	43:00	44:00	45:00	46:00	47:00
通信手段の確保	通 4	・可搬型衛星電話及び可搬型トランシーバの敷設	放対7班, 放対9班	3																								
	通 5	・屋内機器と可搬型発電機の接続	放対7班, 放対9班	3																								
可搬型照明による使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の制御室の照明確保	F制 4	・使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の制御室への可搬型照明設置	制御室1班, 制御室2班	4																								
	F制 5	・可搬型送風機の起動準備(ケーブル敷設)	制御室1班, 制御室2班	4																								
	F制 6	・可搬型送風機の起動準備	制御室1班, 制御室2班	4																								
	F制 7	・可搬型送風機の起動	制御室3班	2																								
状態監視燃料の補給	状態監視	・状態監視(可搬型発電機, 可搬型送風機) ・可搬型発電機への燃料の補給	建屋内1班, 建屋内2班	2																								
使用済燃料受入れ・貯蔵建屋	F 1	・保管場所への移動並びに運搬車及びホイールローダによる可搬型重大事故等対処設備の運搬	建屋内7班, 建屋内8班 建屋内9班, 建屋内10班 建屋内44班	10																								
	F 2	・ホース敷設, 流量計設置及び建屋内外ホース接続	建屋内21班, 建屋内22班 建屋内24班, 建屋内25班	8																								
	F 3	・注水開始・流量確認	建屋内21班, 建屋内22班 建屋内24班, 建屋内25班	8																								
	F 4	・監視設備配置, ケーブル敷設・接続	建屋内11班, 建屋内12班 建屋内13班, 建屋内14班 建屋内15班, 建屋内16班 建屋内17班, 建屋内20班	16																								
	F 5	・監視ユニット, 計装ユニットとの接続	建屋内11班, 建屋内12班 建屋内13班, 建屋内14班 建屋内15班, 建屋内16班 建屋内17班, 建屋内20班	16																								
	F 6	・可搬型発電機の起動	建屋内11班, 建屋内12班 建屋内13班, 建屋内14班	8																								
	F 7	・監視設備の起動確認, 状態確認	建屋内11班, 建屋内12班 建屋内13班, 建屋内14班	8																								
	F 8	・冷却ケースの設置	建屋内11班, 建屋内12班 建屋内13班, 建屋内14班	8																								
	F 9	・空冷ユニット用ホース敷設	建屋内11班, 建屋内12班 建屋内13班, 建屋内14班 建屋内15班, 建屋内16班 建屋内17班, 建屋内20班	16																								
	F 10	計測ユニット, 空冷ユニットとの接続	建屋内11班, 建屋内12班 建屋内13班, 建屋内14班	8																								
	F 11	空冷ユニット系統起動, 起動状態確認	建屋内11班, 建屋内12班 建屋内13班, 建屋内14班	8																								

第14.2-16図 火山を想定した重大事故等が同時発生した場合の使用済燃料受入れ・貯蔵建屋における必要な要員及び作業項目(その2)

対策	作業番号	作業内容	作業班	要員数	経過時間(時:分)																					
					48:00	49:00	50:00	51:00	52:00	53:00	54:00	55:00	56:00	57:00	58:00	59:00	60:00	61:00	62:00	63:00	64:00	65:00	66:00	67:00	68:00	69:00
通信手段の確保	通 4	・可搬型衛星電話及び可搬型トランシーバの敷設	放対7班, 放対9班	3																						
	通 5	・屋内機器と可搬型発電機の接続	放対7班, 放対9班	3																						
可搬型照明による使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の制御室の照明確保	F制 4	・使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の制御室への可搬型照明設置	制御室1班, 制御室2班	4																						
	F制 5	・可搬型送風機の起動準備(ケーブル敷設)	制御室1班, 制御室2班	4																						
	F制 6	・可搬型送風機の起動準備	制御室1班, 制御室2班	4																						
	F制 7	・可搬型送風機の起動	制御室3班	2																						
状態監視燃料の補給	状態監視	・状態監視(可搬型発電機, 可搬型送風機) ・可搬型発電機への燃料の補給	建屋内1班, 建屋内2班	2	建屋内1班		建屋内1班		建屋内1班		建屋内1班		建屋内1班		建屋内1班		建屋内1班		建屋内1班		建屋内1班		建屋内1班		建屋内1班	
					建屋内2班		建屋内2班		建屋内2班		建屋内2班		建屋内2班		建屋内2班		建屋内2班		建屋内2班		建屋内2班		建屋内2班		建屋内2班	
使用済燃料受入れ・貯蔵建屋	F 1	・保管場所への移動並びに運搬車及びホイールローダによる可搬型重大事故等対処設備の運搬	建屋内7班, 建屋内8班 建屋内9班, 建屋内10班 建屋内44班	10																						
	F 2	・ホース敷設, 流量計設置及び建屋内外ホース接続	建屋内21班, 建屋内22班 建屋内24班, 建屋内25班	8																						
	F 3	・注水開始・流量確認	建屋内21班, 建屋内22班 建屋内24班, 建屋内25班	8																						
	F 4	・監視設備配置, ケーブル敷設・接続	建屋内11班, 建屋内12班 建屋内13班, 建屋内14班 建屋内15班, 建屋内16班 建屋内17班, 建屋内20班	16																						
	F 5	・監視ユニット, 計装ユニットとの接続	建屋内11班, 建屋内12班 建屋内13班, 建屋内14班 建屋内15班, 建屋内16班 建屋内17班, 建屋内20班	16																						
	F 6	・可搬型発電機の起動	建屋内11班, 建屋内12班 建屋内13班, 建屋内14班	8																						
	F 7	・監視設備の起動確認, 状態確認	建屋内11班, 建屋内12班 建屋内13班, 建屋内14班	8																						
	F 8	・冷却ケースの設置	建屋内11班, 建屋内12班 建屋内13班, 建屋内14班	8																						
	F 9	・空冷ユニット用ホース敷設	建屋内11班, 建屋内12班 建屋内13班, 建屋内14班 建屋内15班, 建屋内16班 建屋内17班, 建屋内20班	16																						
	F 10	計測ユニット, 空冷ユニットとの接続	建屋内11班, 建屋内12班 建屋内13班, 建屋内14班	8																						
	F 11	空冷ユニット系統起動, 起動状態確認	建屋内11班, 建屋内12班 建屋内13班, 建屋内14班	8																						

第14.2-16図 火山を想定した重大事故等が同時発生した場合の使用済燃料受入れ・貯蔵建屋における必要な要員及び作業項目(その3)



作業番号	作業内容	作業班	要員数	所要時間※ (時:分)	経過時間(時:分)																							
					0:00	1:00	2:00	3:00	4:00	5:00	6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00
外 6	・使用する資機材の確認	建屋外2班、建屋外3班、建屋外4班、建屋外5班、建屋外6班	10	0:20	建屋外2, 3, 4, 5, 6班																							
外 7	・第1貯水槽A取水準備	建屋外2班、建屋外3班、建屋外4班、建屋外5班、建屋外6班	10	0:10	外10(建屋外3班)、外11(建屋外4, 5班)、外25(建屋外6班)																							
外 8	・分離建屋、精製建屋及びウラン-プルトニウム混合脱硝建屋用の運搬車で運搬する可搬型建屋外ホースの準備(金具類、可搬型流量計、可搬型圧力計)	建屋外2班	2	0:30	建屋外2班																							
外 9	・分離建屋、精製建屋及びウラン-プルトニウム混合脱硝建屋用の運搬車による可搬型建屋外ホースの設置(金具類、可搬型流量計、可搬型圧力計)	建屋外2班	2	3:30	外5																							
外 10	・分離建屋、精製建屋及びウラン-プルトニウム混合脱硝建屋用の可搬型中型移送ポンプ運搬車による可搬型中型移送ポンプの運搬	建屋外3班	2	0:10	外7、建屋外3班																							
外 11	・分離建屋、精製建屋及びウラン-プルトニウム混合脱硝建屋用の可搬型中型移送ポンプの設置	建屋外3班、建屋外4班、建屋外5班	6	0:30	外7、建屋外3, 4, 5班、外27																							
外 12	・分離建屋、精製建屋及びウラン-プルトニウム混合脱硝建屋用のホース展張車で敷設する可搬型建屋外ホースの準備	建屋外6班	2	0:30	外27、建屋外6班、外28																							
外 13	・分離建屋、精製建屋及びウラン-プルトニウム混合脱硝建屋用のホース展張車による可搬型建屋外ホースの敷設及び接続	建屋外4班、建屋外5班、建屋外6班、建屋外7班	8	1:10	外27(建屋外6班)、外38(建屋外4, 5, 7班)、建屋外4, 5, 6, 7班、外14(建屋外4班)、外15(建屋外5, 6, 7班)																							
外 14	・分離建屋、精製建屋及びウラン-プルトニウム混合脱硝建屋用の可搬型中型移送ポンプの試運転	建屋外4班	2	0:30	外13、建屋外4班、外17																							
外 15	・分離建屋、精製建屋及びウラン-プルトニウム混合脱硝建屋用の可搬型建屋外ホースの状態確認	建屋外5班、建屋外6班、建屋外7班	6	0:30	外13、建屋外5, 6, 7班																							
外 16	・分離建屋、精製建屋及びウラン-プルトニウム混合脱硝建屋用の可搬型排水受槽を運搬車による運搬、設置及び可搬型建屋外ホースとの接続	建屋外5班、建屋外6班、建屋外7班	6	1:30	外64(建屋外5班)、外65(建屋外6, 7班)																							
外 17	・第1貯水槽へ可搬型水位計の設置	建屋外4班	2	0:20	外14、建屋外4班、外18																							
外 18	・精製建屋用の可搬型建屋外ホースと可搬型建屋内ホースとの接続	建屋外4班	2	0:10	外17、建屋外4班、外21																							
外 19	・分離建屋用の可搬型建屋外ホースと可搬型建屋内ホースとの接続	建屋外3班	2	0:10	外29、建屋外3班、外22																							
外 20	・ウラン-プルトニウム混合脱硝建屋用の可搬型建屋外ホースと可搬型建屋内ホースとの接続	建屋外3班	2	0:10	外22、建屋外3班、外40																							
外 21	・精製建屋への水の供給流量及び圧力の調整	建屋外1班、建屋外4班	4	0:30	外4(建屋外1班)、外18(建屋外4班)、建屋外1, 4班、外30(建屋外4班)、外24(建屋外1班)																							
外 22	・精製建屋への水の供給流量及び圧力の調整(必要に応じ精製建屋側も調整)	建屋外1班、建屋外3班	4	0:35	外19(建屋外3班)、外24(建屋外1班)、建屋外1, 3班、外20(建屋外3班)、外24(建屋外1班)																							
外 23	・ウラン-プルトニウム混合脱硝建屋への水の供給流量及び圧力の調整(必要に応じ分離建屋及び精製建屋側も実施)	建屋外1班、建屋外2班	4	1:40	外66(建屋外2班)、外24(建屋外1班)、建屋外1, 2班、外66(建屋外2班)、外24(建屋外1班)																							
外 24	・分離建屋、精製建屋及びウラン-プルトニウム混合脱硝建屋への水の供給及び状態監視(流量、圧力、第1貯水槽の水位) ・可搬型中型移送ポンプへ燃料の補給	建屋外1班	2	—	建屋外1班																							
外 25	・高レベル廃液ガラス固化建屋用の中型移送ポンプ運搬車による可搬型中型移送ポンプの運搬	建屋外6班	2	0:10	外7、建屋外6班、外12																							
外 26	・高レベル廃液ガラス固化建屋用の可搬型中型移送ポンプの設置	建屋外3班、建屋外4班、建屋外5班	6	0:30	外11、建屋外3, 4, 5班、外38(建屋外4, 5班)、外39(建屋外3班)																							
外 27	・高レベル廃液ガラス固化建屋用のホース展張車で敷設する可搬型建屋外ホースの準備	建屋外6班	2	0:30	外12、建屋外6班、外13																							
外 28	・高レベル廃液ガラス固化建屋用の運搬車で運搬する可搬型建屋外ホースの準備(金具類、可搬型流量計、可搬型圧力計)	建屋外3班	2	1:00	外30、建屋外3班																							
外 29	・高レベル廃液ガラス固化建屋用の運搬車による可搬型建屋外ホースの設置(金具類、可搬型流量計、可搬型圧力計)	建屋外3班	2	1:30	外19																							
外 30	・高レベル廃液ガラス固化建屋用のホース展張車による可搬型建屋外ホースの敷設及び接続	建屋外4班、建屋外5班、建屋外6班、建屋外7班	8	2:00	外21(建屋外4班)、外65(建屋外5, 6, 7班)、建屋外4, 5, 6, 7班、外5(建屋外4班)、外32(建屋外5, 6, 7班)																							
外 31	・高レベル廃液ガラス固化建屋用の可搬型中型移送ポンプの試運転	建屋外1班	2	0:30	外24、建屋外1班、外24																							
外 32	・高レベル廃液ガラス固化建屋用の可搬型建屋外ホースの状態確認	建屋外5班、建屋外6班、建屋外7班	6	0:30	外30、建屋外5, 6, 7班																							
外 33	・高レベル廃液ガラス固化建屋用の可搬型排水受槽を運搬車による運搬、設置及び可搬型建屋外ホースとの接続	建屋外5班、建屋外6班、建屋外7班	6	1:30	外67(建屋外6班)、外68(建屋外5, 7班)																							
外 34	・高レベル廃液ガラス固化建屋用の可搬型建屋外ホースの可搬型建屋内ホースとの接続	建屋外5班	2	0:10	外41、建屋外3班、外35																							
外 35	・高レベル廃液ガラス固化建屋への水の供給流量及び圧力の調整	建屋外1班、建屋外3班	4	0:30	外34(建屋外3班)、外24(建屋外1班)、外69(建屋外3班)、外24, 36(建屋外1班)																							
外 36	・高レベル廃液ガラス固化建屋への水の供給及び状態監視(流量、圧力、第1貯水槽の水位) ・可搬型中型移送ポンプへ燃料の補給	建屋外1班	2	—	建屋外1班																							

※:各作業内容の実施に必要な時間を示す。(複数回に分けて実施の場合は、作業時間の合計)

第14.2-17 図 火山を想定した重大事故等が同時発生した場合の屋外における必要な要員及び作業項目(その2)







作業番号	作業内容	作業班	要員数	経過時間(時:分)																							
				24:00	25:00	26:00	27:00	28:00	29:00	30:00	31:00	32:00	33:00	34:00	35:00	36:00	37:00	38:00	39:00	40:00	41:00	42:00	43:00	44:00	45:00	46:00	47:00
外 37	・使用済燃料受入れ・貯蔵建屋用の可搬型中型移送ポンプ運搬車による可搬型中型移送ポンプの運搬	建屋外7班	2																								
外 38	・使用済燃料受入れ・貯蔵建屋用の可搬型中型移送ポンプの設置	建屋外4班 建屋外5班 建屋外7班	6																								
外 39	・使用済燃料受入れ・貯蔵建屋用のホース展張車で敷設する可搬型建屋外ホースの準備	建屋外3班	2																								
外 40	・使用済燃料受入れ・貯蔵建屋用の運搬車で運搬する可搬型建屋外ホースの準備(金具類, 可搬型流量計, 可搬型圧力計)	建屋外3班	2																								
外 41	・使用済燃料受入れ・貯蔵建屋用の運搬車による可搬型建屋外ホースの設置(金具類, 可搬型流量計, 可搬型圧力計)	建屋外3班	2																								
外 42	・使用済燃料受入れ・貯蔵建屋用のホース展張車による可搬型建屋外ホースの敷設及び接続	建屋外4班 建屋外5班 建屋外6班 建屋外7班	8																								
外 43	・使用済燃料受入れ・貯蔵建屋用の可搬型建屋外ホースの敷設(使用済燃料受入れ・貯蔵建屋 外ホース展張車侵入不可部分を人手による運搬及び敷設)	建屋外4班 建屋外5班 建屋外6班 建屋外7班	8																								
外 44	・使用済燃料受入れ・貯蔵建屋用の可搬型中型移送ポンプの試運転(使用済燃料受入れ・貯蔵建屋)	建屋外1班	2																								
外 45	・使用済燃料受入れ・貯蔵建屋用の可搬型建屋外ホースの状態確認(使用済燃料受入れ・貯蔵建屋)	建屋外4班 建屋外5班	4																								
外 46	・使用済燃料受入れ・貯蔵建屋用の可搬型建屋外ホースと可搬型建屋内ホースとの接続	建屋外4班 建屋外5班	4																								
外 47	・使用済燃料受入れ・貯蔵建屋へホイールローダにて建屋外設備(空冷ユニット等)の運搬	建屋外6班	1																								
外 48	・使用済燃料受入れ・貯蔵建屋への水の供給流量及び圧力の調整	建屋外6班 建屋外7班	4																								
外 49	・使用済燃料受入れ・貯蔵建屋への水の供給及び状態監視(流量, 圧力, 第1貯水槽の水位) ・可搬型中型移送ポンプへ燃料の補給	建屋外1班	2	建屋外1班																							
外 50	・可搬型中型移送ポンプ運搬車による故障時バックアップ用可搬型中型移送ポンプの運搬	建屋外4班	2																								
外 51	・故障時バックアップ用可搬型中型移送ポンプの設置及び試運転	建屋外5班 建屋外6班 建屋外7班	6																								
外 52	・前処理建屋用の可搬型中型移送ポンプ運搬車による可搬型中型移送ポンプの運搬	建屋外6班	2																								
外 53	・前処理建屋用の可搬型中型移送ポンプの設置	建屋外4班 建屋外5班 建屋外7班	6																								
外 54	・前処理建屋用のホース展張車で敷設する可搬型建屋外ホースの準備	建屋外6班	2																								
外 55	・前処理建屋用の運搬車で運搬する可搬型建屋外ホースの準備(金具類, 可搬型流量計, 可搬型圧力計)	建屋外4班	2																								
外 56	・前処理建屋用の運搬車による可搬型建屋外ホースの設置(金具類, 可搬型流量計, 可搬型圧力計)	建屋外4班	2																								
外 57	・前処理建屋用のホース展張車による可搬型建屋外ホースの敷設及び接続	建屋外4班 建屋外5班 建屋外6班 建屋外7班	8																								
外 58	・前処理建屋用の可搬型中型移送ポンプの試運転	建屋外1班	2																								
外 59	・前処理建屋用の可搬型建屋外ホースの状態確認	建屋外4班 建屋外5班	4																								
外 60	・前処理建屋用の可搬型排水受槽を運搬車による運搬, 設置及び可搬型建屋外ホースとの接続	建屋外4班 建屋外5班 建屋外7班	6																								
外 61	・前処理建屋用の可搬型建屋外ホースと可搬型建屋内ホースとの接続	建屋外4班	2																								
外 62	・前処理建屋への水の供給流量及び圧力の調整	建屋外1班 建屋外4班	4																								
外 63	・前処理建屋への水の供給及び状態監視(流量, 圧力, 第1貯水槽の水位) ・可搬型中型移送ポンプへ燃料の補給	建屋外1班	2	建屋外1班																							
外 64	・可搬型中型移送ポンプ運搬車による排水用可搬型中型移送ポンプの運搬(分離建屋, 精製建屋及びウラン・プルトニウム混合脱硝建屋)	建屋外5班	2																								
外 65	・排水用可搬型中型移送ポンプの設置及び試運転(分離建屋, 精製建屋及びウラン・プルトニウム混合脱硝建屋)	建屋外5班 建屋外6班 建屋外7班	6																								
外 66	・可搬型中型移送ポンプによる排水, 状態監視及び除灰作業並びに第1貯水槽の水位確認(分離建屋, 精製建屋及びウラン・プルトニウム混合脱硝建屋) ・可搬型中型移送ポンプへ燃料の補給	建屋外2班	2	建屋外2班																							
外 67	・可搬型中型移送ポンプ運搬車による排水用可搬型中型移送ポンプの運搬(高レベル廃液ガラス固化建屋)	建屋外6班	2																								
外 68	・排水用可搬型中型移送ポンプの設置及び試運転(高レベル廃液ガラス固化建屋)	建屋外5班 建屋外6班 建屋外7班	6																								
外 69	・可搬型中型移送ポンプによる排水, 状態監視及び除灰作業並びに第1貯水槽の水位確認(高レベル廃液ガラス固化建屋) ・可搬型中型移送ポンプへ燃料の補給	建屋外3班	2	建屋外3班																							
外 70	可搬型・中型移送ポンプ運搬車による排水用可搬型中型移送ポンプの運搬(前処理建屋)	建屋外7班	2																								
外 71	・排水用可搬型中型移送ポンプの設置及び試運転(前処理建屋)	建屋外5班 建屋外6班 建屋外7班	6																								
外 72	・可搬型中型移送ポンプによる排水, 状態監視及び除灰作業並びに第1貯水槽の水位確認(前処理建屋) ・可搬型中型移送ポンプへ燃料の補給	建屋外2班	2	建屋外2班																							

第14.2-17 図 火山を想定した重大事故等が同時発生した場合の屋外における必要な要員及び作業項目 (その6)

作業番号	作業内容	作業班	要員数	経過時間(時:分)																											
				48:00	49:00	50:00	51:00	52:00	53:00	54:00	55:00	56:00	57:00	58:00	59:00	60:00	61:00	62:00	63:00	64:00	65:00	66:00	67:00	68:00	69:00	70:00	71:00				
燃 1	・軽油用タンクローリから可搬型空気圧縮機用容器(ドラム缶等)への燃料の補給及び軽油用タンクローリの移動(分庫建屋用1台、高レベル廃液ガラス固化建屋用1台並びに精製建屋及びウラン・プルトニウム混合脱硝建屋用1台)	燃料給油3班	1	燃5 →																											
燃 2	・軽油用タンクローリから可搬型発電機用容器(ドラム缶等)への燃料の補給及び軽油用タンクローリの移動(分庫建屋用1台、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋用1台、高レベル廃液ガラス固化建屋用1台、排気監視測定設備用1台、環境監視測定設備用1台及び制御建屋用1台)	燃料給油3班	1	燃5 →																											
燃 3	・軽油用タンクローリから可搬型発電機用容器(ドラム缶等)への燃料の補給及び軽油用タンクローリの移動(前処理建屋用1台、使用済燃料受入れ・貯蔵建屋用1台及び環境監視測定設備用3台)	燃料給油3班	1	燃5 →																											
燃 4	・軽油用タンクローリから可搬型空気圧縮機用容器(ドラム缶等)への燃料の補給及び軽油用タンクローリの移動(前処理建屋用1台及び可搬型空冷ユニット用1台)	燃料給油3班	1	燃5 →																											
燃 5	・軽油用タンクローリから可搬型発電機用容器(ドラム缶等)への燃料の補給及び軽油用タンクローリの移動(気象監視測定設備用1台、環境監視測定設備用5台、緊急時対策所用1台及び第1保管庫・貯水槽用2台)	燃料給油3班	1	燃5 →																											
燃 6	・軽油貯蔵タンクから可搬型中型移送ポンプ用容器(ドラム缶等)への燃料の補給及び可搬型中型移送ポンプ用容器(ドラム缶等)の運搬(使用済燃料受入れ・貯蔵建屋用1台、分庫建屋、精製建屋及びウラン・プルトニウム混合脱硝建屋用1台、高レベル廃液ガラス固化建屋用1台並びに前処理建屋用1台)	建屋外1班	2	燃5 →																											
燃 7	・軽油用タンクローリから可搬型発電機用容器(ドラム缶等)への燃料の補給及び軽油用タンクローリの移動(排気監視測定設備用1台、気象監視測定設備用1台、緊急時対策所用1台、環境監視測定設備用5台及び第1保管庫・貯水槽用可搬型発電機2台)	燃料給油2班	1	燃5 →																											
燃 8	・軽油用タンクローリから可搬型中型移送ポンプ用容器(ドラム缶等)への燃料の補給及び軽油用タンクローリの移動(分庫建屋、精製建屋及びウラン・プルトニウム混合脱硝建屋排水用1台、高レベル廃液ガラス固化建屋用1台並びに前処理建屋排水用1台)	燃料給油2班	1	燃8 → 燃8 → 燃8 → 燃8 →																											
外 3	・ホイールローダの確認	建屋外1班、建屋外8班	3	燃5 →																											
外 6	・アクセスルートの整備(除雪、除灰) (対応する作業班の1名がホイールローダにて作業する。)	建屋外1班、建屋外2班、 建屋外4班、建屋外5班、 建屋外6班、建屋外7班、 建屋外8班	13	燃5 →																											

第14.2-17 図 火山を想定した重大事故等が同時発生した場合の屋外における必要な要員及び作業項目 (その7)





対策	作業番号	作業内容	作業班	要員数	所要時間※ (時:分)	経過時間(時:分)																							
						0:00	1:00	2:00	3:00	4:00	5:00	6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00
通信手段の確保	通 1	可搬型衛星電話及び可搬型トランシーバの敷設	建屋内6班, 建屋内17班, 建屋内18班, 建屋内25班, 建屋内30班, 建屋内35班	12	1:15																								
	通 2	電源ケーブルの敷設	制御室1班, 制御室2班, 制御室3班	6	1:30																								
	通 3	屋内機器と可搬型発電機の接続	制御室1班, 制御室2班, 制御室3班	6	1:00																								
可搬型照明による中央制御室の照明確保	AG 4	安全監視室への可搬型照明設置	制御室4班	2	1:00																								
	AG 5	第1ブロックへの可搬型照明設置	制御室4班	2	0:40																								
	AG 6	第2ブロックへの可搬型照明設置	制御室4班	2	0:30																								
	AG 7	第3ブロック及び第4ブロックへの可搬型照明設置	制御室4班	2	0:50																								
	AG 8	第5ブロックへの可搬型照明設置	建屋内30班	2	0:35																								
	AG 9	第6ブロックへの可搬型照明設置	建屋内30班	2	0:30																								
代替中央制御室送風機による中央制御室の換気確保	AG 10	可搬型発電機の起動準備	制御室1班, 制御室2班	4	2:50																								
	AG 11	可搬型送風機の起動準備	制御室3班, 制御室5班	4	2:50																								
	AG 12	可搬型発電機の起動	制御室2班	2	0:10																								
	AG 13	可搬型送風機の起動	制御室3班	2	0:10																								
状態監視 燃料の補給	AG 14	状態監視(可搬型発電機, 可搬型送風機) 可搬型発電機への燃料の補給	制御室4班, 制御室5班	4	-																								

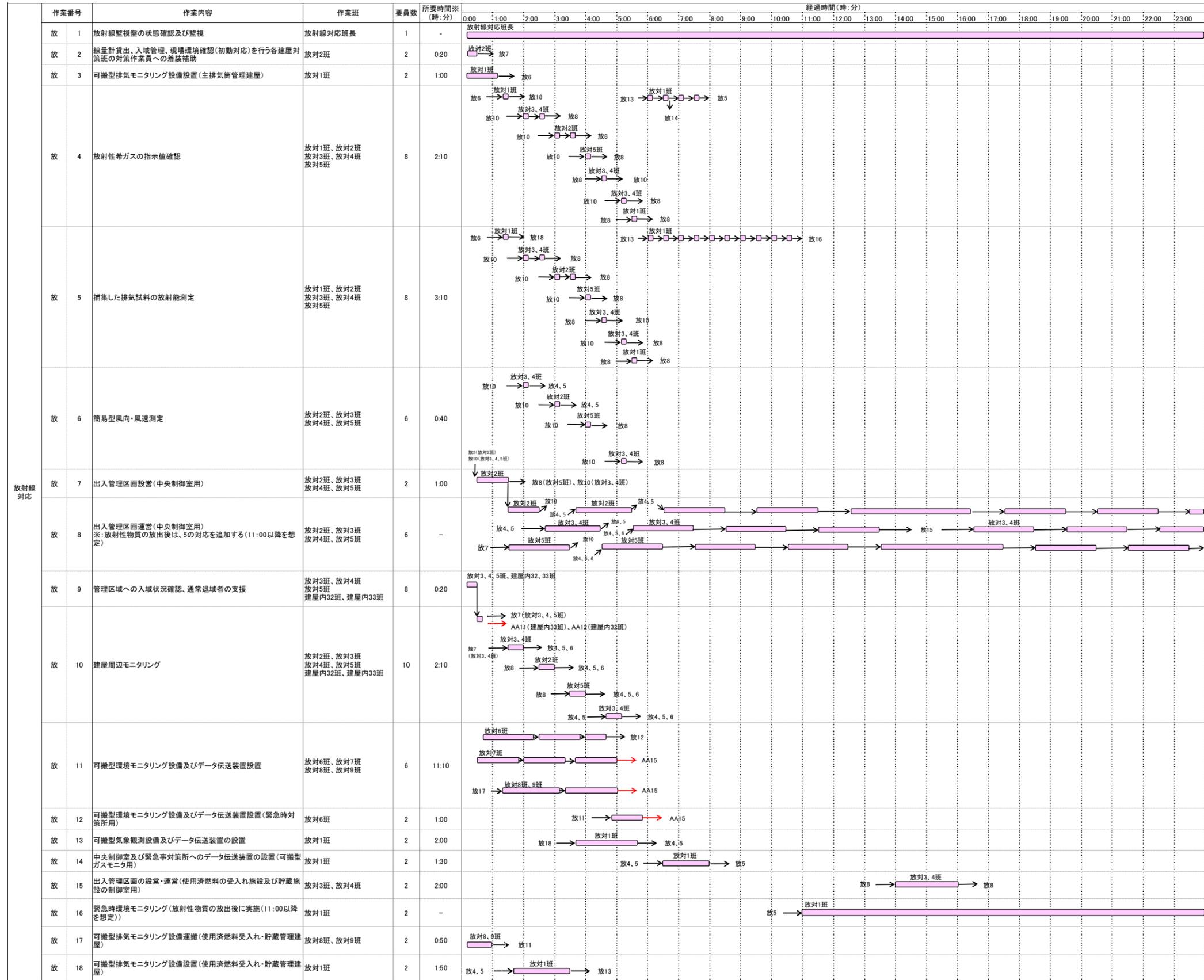
※:各作業内容の実施に必要な時間を示す。(複数回に分けて実施の場合は、作業時間の合計)

第14.2-18図 火山を想定した重大事故等が同時発生した場合の制御建屋における必要な要員及び作業項目(その1)

対策	作業番号	作業内容	作業班	要員数	経過時間(時:分)																																																																																																							
					24:00	25:00	26:00	27:00	28:00	29:00	30:00	31:00	32:00	33:00	34:00	35:00	36:00	37:00	38:00	39:00	40:00	41:00	42:00	43:00	44:00	45:00	46:00	47:00																																																																																
通信手段の確保	通 1	・可搬型衛星電話及び可搬型トランシーバの敷設	建屋内6班, 建屋内17班 建屋内18班, 建屋内25班 建屋内30班, 建屋内35班	12																																																																																																								
	通 2	・電源ケーブルの敷設	制御室1班, 制御室2班 制御室3班	6																																																																																																								
	通 3	・屋内機器と可搬型発電機の接続	制御室1班, 制御室2班 制御室3班	6																																																																																																								
可搬型照明による中央制御室の照明確保	AG 4	・安全監視室への可搬型照明設置	制御室4班	2																																																																																																								
	AG 5	・第1ブロックへの可搬型照明設置	制御室4班	2																																																																																																								
	AG 6	・第2ブロックへの可搬型照明設置	制御室4班	2																																																																																																								
	AG 7	・第3ブロック及び第4ブロックへの可搬型照明設置	制御室4班	2																																																																																																								
	AG 8	・第5ブロックへの可搬型照明設置	建屋内30班	2																																																																																																								
	AG 9	・第6ブロックへの可搬型照明設置	建屋内30班	2																																																																																																								
状態監視 燃料の補給	AG 10	・可搬型発電機の起動準備	制御室1班, 制御室2班	4																																																																																																								
	AG 11	・可搬型送風機の起動準備	制御室3班, 制御室5班	4																																																																																																								
	AG 12	・可搬型発電機の起動	制御室2班	2																																																																																																								
	AG 13	・可搬型送風機の起動	制御室3班	2																																																																																																								
状態監視 燃料の補給	AG 14	・状態監視(可搬型発電機, 可搬型送風機) ・可搬型発電機への燃料の補給	制御室4班, 制御室5班	4	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:10%;"></td><td style="width:10%;"></td> </tr> <tr> <td style="text-align:center">制御室4班</td><td style="text-align:center">制御室4班</td> </tr> <tr> <td style="text-align:center">制御室5班</td><td style="text-align:center">制御室5班</td> </tr> </table>																																																		制御室4班	制御室5班																																																				
制御室4班	制御室4班	制御室4班	制御室4班	制御室4班	制御室4班	制御室4班	制御室4班	制御室4班	制御室4班	制御室4班	制御室4班	制御室4班	制御室4班	制御室4班	制御室4班	制御室4班	制御室4班	制御室4班	制御室4班	制御室4班	制御室4班	制御室4班	制御室4班	制御室4班	制御室4班	制御室4班																																																																																		
制御室5班	制御室5班	制御室5班	制御室5班	制御室5班	制御室5班	制御室5班	制御室5班	制御室5班	制御室5班	制御室5班	制御室5班	制御室5班	制御室5班	制御室5班	制御室5班	制御室5班	制御室5班	制御室5班	制御室5班	制御室5班	制御室5班	制御室5班	制御室5班	制御室5班	制御室5班	制御室5班																																																																																		

第14.2-18図 火山を想定した重大事故等が同時発生した場合の制御建屋における必要な要員及び作業項目 (その2)





※:各作業内容の実施に必要な時間を示す。(複数回に分けて実施の場合は、作業時間の合計)

第14.2-19 図 火山を想定した重大事故等が同時発生した場合の放射線管理における必要な要員及び作業項目 (その1)

作業番号	作業内容	作業班	要員数	経過時間(時:分)																							
				24:00	25:00	26:00	27:00	28:00	29:00	30:00	31:00	32:00	33:00	34:00	35:00	36:00	37:00	38:00	39:00	40:00	41:00	42:00	43:00	44:00	45:00	46:00	47:00
放 1	放射線監視盤の状態確認及び監視	放射線対応班長	1	放射線対応班長																							
放 2	線量計貸出、入城管理、現場環境確認(初動対応)を行う各建屋対策班の対策作業員への着装補助	放対2班	2																								
放 3	可搬型排気モニタリング設備設置(主排気筒管理建屋)	放対1班	2																								
放 4	放射性希ガスの指示値確認	放対1班、放対2班 放対3班、放対4班 放対5班	8																								
放 5	捕集した排気試料の放射能測定	放対1班、放対2班 放対3班、放対4班 放対5班	8																								
放 6	簡易型風向・風速測定	放対2班、放対3班 放対4班、放対5班	6																								
放 7	出入管理区画設営(中央制御室用)	放対2班、放対3班 放対4班、放対5班	2																								
放 8	出入管理区画運営(中央制御室用) ※:放射性物質の放出後は、5の対応を追加する(11:00以降を想定)	放対2班、放対3班 放対4班、放対5班	6																								
放 9	管理区域への入域状況確認、通常退域者の支援	放対3班、放対4班 放対5班 建屋内32班、建屋内33班	8																								
放 10	建屋周辺モニタリング	放対2班、放対3班 放対4班、放対5班 建屋内32班、建屋内33班	10																								
放 11	可搬型環境モニタリング設備及びデータ伝送装置設置	放対6班、放対7班 放対8班、放対9班	6																								
放 12	可搬型環境モニタリング設備及びデータ伝送装置設置(緊急時対策所用)	放対6班	2																								
放 13	可搬型気象観測設備及びデータ伝送装置の設置	放対1班	2																								
放 14	中央制御室及び緊急時対策所へのデータ伝送装置の設置(可搬型ガスモニター用)	放対1班	2																								
放 15	出入管理区画の設営・運営(使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の制御室用)	放対3班、放対4班	2																								
放 16	緊急時環境モニタリング(放射性物質の放出後に実施(11:00以降を想定))	放対1班	2	放対1班																							
放 17	可搬型排気モニタリング設備運搬(使用済燃料受入れ・貯蔵管理建屋)	放対8班、放対9班	2																								
放 18	可搬型排気モニタリング設備設置(使用済燃料受入れ・貯蔵管理建屋)	放対1班	2																								

第14.2-19 図 火山を想定した重大事故等が同時発生した場合の放射線管理における必要な要員及び作業項目 (その2)

作業番号	作業内容	作業班	要員数	経過時間(時:分)																							
				48:00	49:00	50:00	51:00	52:00	53:00	54:00	55:00	56:00	57:00	58:00	59:00	60:00	61:00	62:00	63:00	64:00	65:00	66:00	67:00	68:00	69:00	70:00	71:00
放 1	放射線監視盤の状態確認及び監視	放射線対応班長	1	放射線対応班長																							
放 2	輸量計貸出、入域管理、現場環境確認(初動対応)を行う各建屋対策班の対策作業員への着装補助	放対2班	2																								
放 3	可搬型排気モニタリング設備設置(主排気筒管理建屋)	放対1班	2																								
放 4	放射性希ガスの指示値確認	放対1班、放対2班 放対3班、放対4班 放対5班	8																								
放 5	捕集した排気試料の放射能測定	放対1班、放対2班 放対3班、放対4班 放対5班	8																								
放 6	簡易型風向・風速測定	放対2班、放対3班 放対4班、放対5班	6																								
放 7	出入管理区画設営(中央制御室用)	放対2班、放対3班 放対4班、放対5班	2																								
放 8	出入管理区画運営(中央制御室用) ※:放射性物質の放出後は、5の対応を追加する(11:00以降を想定)	放対2班、放対3班 放対4班、放対5班	6																								
放 9	管理区域への入域状況確認、通常退域者の支援	放対3班、放対4班 放対5班 建屋内32班、建屋内33班	8																								
放 10	建屋周辺モニタリング	放対2班、放対3班 放対4班、放対5班 建屋内32班、建屋内33班	10																								
放 11	可搬型環境モニタリング設備及びデータ伝送装置設置	放対6班、放対7班 放対8班、放対9班	6																								
放 12	可搬型環境モニタリング設備及びデータ伝送装置設置(緊急時対策所用)	放対6班	2																								
放 13	可搬型気象観測設備及びデータ伝送装置の設置	放対1班	2																								
放 14	中央制御室及び緊急時対策所へのデータ伝送装置の設置(可搬型ガスモニター用)	放対1班	2																								
放 15	出入管理区画の設営・運営(使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の制御室用)	放対3班、放対4班	2																								
放 16	緊急時環境モニタリング(放射性物質の放出後に実施(11:00以降を想定))	放対1班	2																								
放 17	可搬型排気モニタリング設備運搬(使用済燃料受入れ・貯蔵管理建屋)	放対8班、放対9班	2																								
放 18	可搬型排気モニタリング設備設置(使用済燃料受入れ・貯蔵管理建屋)	放対1班	2																								

第14.2-19 図 火山を想定した重大事故等が同時発生した場合の放射線管理における必要な要員及び作業項目 (その3)



	作業番号	作業内容	作業班	要員数	経過時間(時:分)																							
					24:00	25:00	26:00	27:00	28:00	29:00	30:00	31:00	32:00	33:00	34:00	35:00	36:00	37:00	38:00	39:00	40:00	41:00	42:00	43:00	44:00	45:00	46:00	47:00
情報把握計装設備	情 1	・保管庫から設置場所までの運搬	建屋内48班, 建屋内49班	3																								
	情 2	・情報表示装置及び情報収集装置設置(中央制御室)	建屋内48班, 建屋内49班	3																								
	情 3	・情報収集装置設置(精製建屋)	建屋内48班, 建屋内49班	3																								
	情 4	・情報収集装置設置(分離建屋)	建屋内48班, 建屋内49班	3																								
	情 5	・情報収集装置設置(ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋)	建屋内48班, 建屋内49班	3																								
	情 6	・情報収集装置設置(高レベル廃液ガラス固化建屋)	建屋内48班, 建屋内49班	3																								
	情 7	・情報収集装置設置(前処理建屋)	建屋内48班, 建屋内49班	3																								

第14.2-20図 地震を想定した重大事故等が同時発生した場合の情報把握計装設備における必要な要員及び作業項目 (その2)

	作業番号	作業内容	作業班	要員数	経過時間(時:分)																							
					48:00	49:00	50:00	51:00	52:00	53:00	54:00	55:00	56:00	57:00	58:00	59:00	60:00	61:00	62:00	63:00	64:00	65:00	66:00	67:00	68:00	69:00	70:00	71:00
情報把握計装設備	情 1	保管庫から設置場所までの運搬	建屋内48班, 建屋内49班	3																								
	情 2	情報表示装置及び情報収集装置設置(中央制御室)	建屋内48班, 建屋内49班	3																								
	情 3	情報収集装置設置(精製建屋)	建屋内48班, 建屋内49班	3																								
	情 4	情報収集装置設置(分離建屋)	建屋内48班, 建屋内49班	3																								
	情 5	情報収集装置設置(ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋)	建屋内48班, 建屋内49班	3																								
	情 6	情報収集装置設置(高レベル廃液ガラス固化建屋)	建屋内48班, 建屋内49班	3																								
	情 7	情報収集装置設置(前処理建屋)	建屋内48班, 建屋内49班	3																								

第14.2-20図 地震を想定した重大事故等が同時発生した場合の情報把握計装設備における必要な要員及び作業項目 (その3)

## 第28条:重大事故等の拡大防止(14. 必要な要員及び資源の評価)

再処理施設 安全審査 整理資料 補足説明資料				備考(8月提出済みの資料については、資料番号を記載)
資料No.	名称	提出日	Rev	
補足説明資料14-1	重大事故等の同時発生時に必要な要員の評価	3/13	1	新規作成(精査中)
補足説明資料14-2	重大事故等の同時発生時の水源の評価	1/7	0	新規作成(精査中)
補足説明資料14-3	重大事故等の同時発生時の燃料の評価	1/7	0	新規作成(精査中)
補足説明資料14-4	重大事故等の同時発生時の電源の評価	3/13	1	新規作成(精査中)

令和2年3月13日 R1

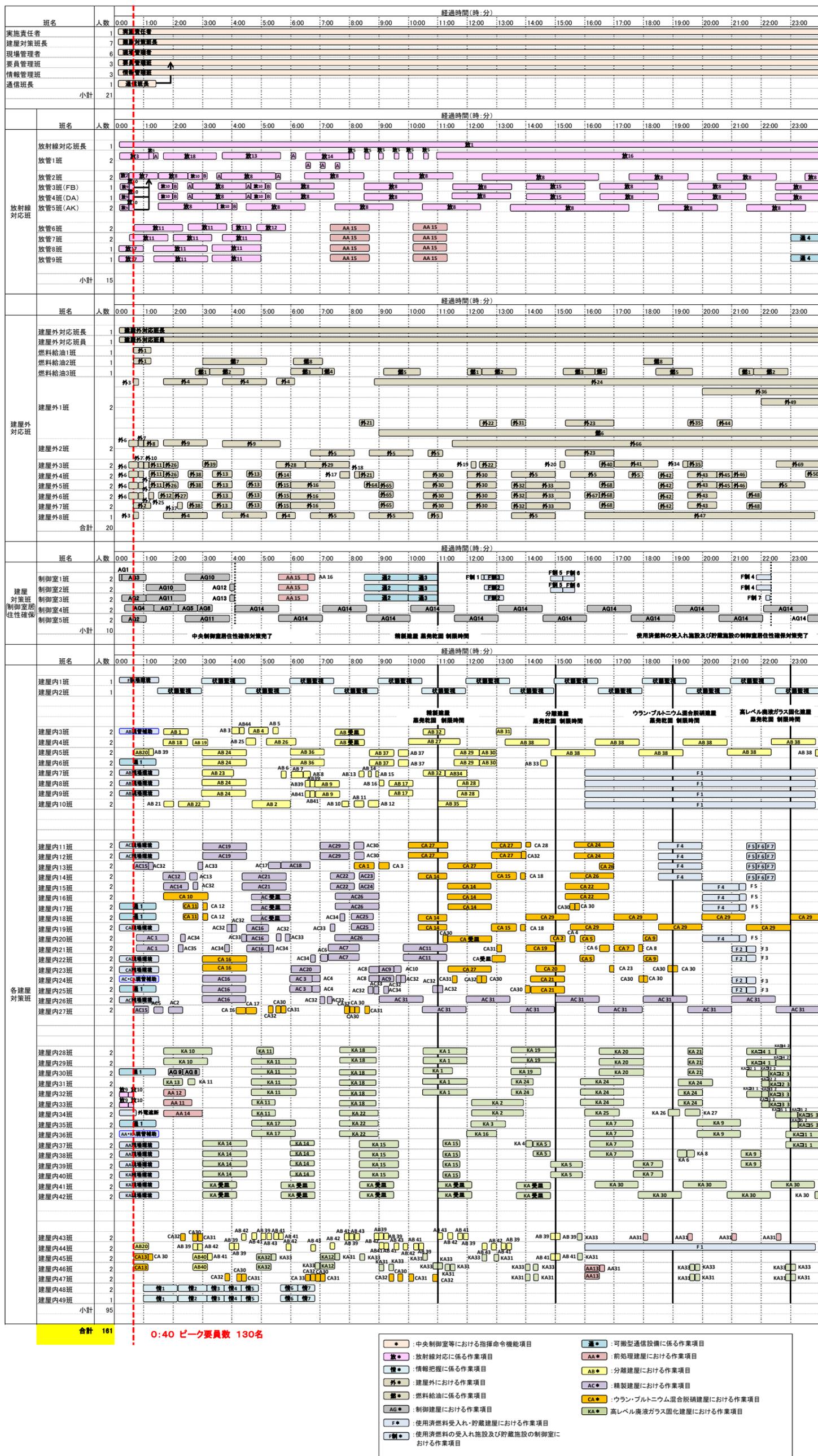
補足説明資料 1 4 - 1



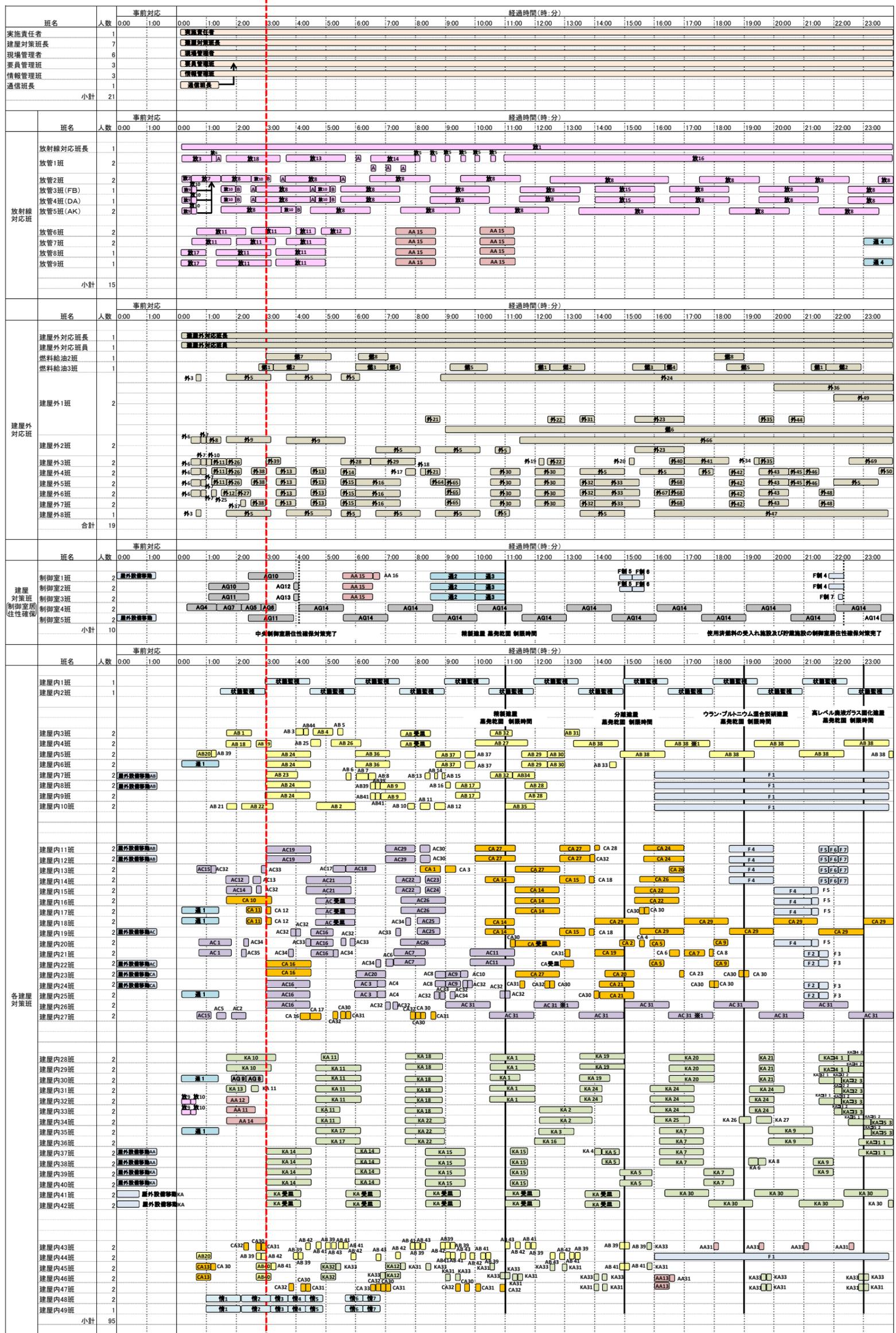
## 1. 必要な要員及び資源の算出方法

### 1.1 必要な要員の算出方法

重大事故等が同時発生に対処に必要な要員は、同一時間軸で最大となる要員と対処に必要な延べ要員を算出する。「地震」及び「火山」を条件とした場合の同一時間軸で最大となる要員と対処に必要な延べ要員を第 1. - 1 図及第 1. - 2 図に示す。



第1-1図 「地震」を条件として重大事故等が同時発生した場合の対処要員



第1.-2図 「火山」を条件として重大事故等が同時発生した場合の対応要員



令和2年3月13日 R1

## 補足説明資料 14－4



## 1. 必要な資源の算出方法

### (1) 容量の算出方法

電源においては、それぞれ必要な負荷を積上げるとともに、その負荷の起動順序並びに動的負荷の起動時を考慮し評価する。

### (2) 評価結果

#### (a) 可搬型発電機

##### a. 前処理建屋可搬型発電機

前処理建屋可搬型発電機の電源負荷を積上げた結果は以下のとおりである。動的負荷である前処理建屋の可搬型排風機の起動時容量については、電動機の起動電流（7.5 kW以下の電動機については、全負荷電流の75%）を踏まえ容量を7.5倍とし、5.2 kVA/台×1台×7.5=39 kVAと評価した。

可搬型排風機の起動時を考慮しても39 kVAであることから、可搬型発電機の容量である約80 kVAを超えることなく給電可能である。

(単位はkVA)

順番	対象機器	台数	定格容量	積上げ	起動時
<u>1</u>	<u>可搬型情報収集装置</u>	<u>1</u>	<u>6.6</u>	<u>6.6</u>	<u>6.6</u>
<u>2</u>	<u>可搬型排風機</u>	<u>1</u>	<u>5.2</u>	11.8	<u>45.6</u>
合 計 (起動時は最高値を記載)				11.8	<u>45.6</u>
評 価			80 kVA以下		

##### b. 分離建屋可搬型発電機

分離建屋可搬型発電機の電源負荷を積上げた結果は以下のとおりである。動的負荷である分離建屋の可搬型排風機の起動時容量について

は、電動機の起動電流（7.5 kW以下の電動機については、全負荷電流の750%）を踏まえ容量を7.5倍とし、 $5.2 \text{ kVA} / \text{台} \times 1 \text{ 台} \times 7.5 = 39 \text{ kVA}$ と評価した。

可搬型排風機の起動時を考慮しても39 kVAであることから、可搬型発電機の容量である約80 kVAを超えることなく給電可能である。

(単位はkVA)

順番	対象機器	台数	定格容量	積上げ	起動時
1	可搬型排風機	1	5.2	5.2	39
2	可搬型情報収集装置	1	7.2	12.4	12.4
合 計 (起動時は最高値を記載)				12.4	39
評 価			80 kVA以下		

c. ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋可搬型発電機（精製建屋と共用）

ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋可搬型発電機の電源負荷を積上げた結果は以下のとおりである。動的負荷である精製建屋及びウラン・プルトニウム混合脱硝建屋に可搬型排風機の起動時容量については、電動機の起動電流（7.5 kW以下の電動機については、全負荷電流の750%）を踏まえ容量を7.5倍とし、 $5.2 \text{ kVA} / \text{台} \times 1 \text{ 台} \times 7.5 = 39 \text{ kVA}$ と評価した。

可搬型排風機の1台運転中で、さらに1台が起動する場合は、約45 kVAであることから、可搬型発電機の容量である約80 kVAを超えることなく給電可能である。

(単位はkVA)

順番	対象機器	台数	定格容量	積上げ	起動時
1	可搬型排風機 (精製建屋)	1	5.2	5.2	39
2	可搬型排風機 (ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋)	1	5.2	10.4	44.2
3	可搬型情報収集装置 (精製建屋)	1	5.2	15.6	15.6
4	可搬型情報収集装置 (ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋)	1	8.0	23.6	23.6
合 計 (起動時は最高値を記載)				23.6	44.2
評 価			80 kVA以下		

d. 高レベル廃液ガラス固化建屋可搬型発電機

高レベル廃液ガラス固化建屋可搬型発電機の電源負荷を積上げた結果は以下のとおりである。動的負荷である可搬型排風機の起動時容量については、電動機の起動電流 (7.5kW以下の電動機については、全負荷電流の75%)を踏まえ容量を7.5倍とし、 $5.2\text{kVA}/\text{台} \times 1\text{台} \times 7.5 = 39\text{kVA}$ と評価した。

可搬型排風機の起動時を考慮しても39kVAであることから、可搬型発電機の容量である約80kVAを超えることなく給電可能である。

(単位はkVA)

順番	対象機器	台数	定格容量	積上げ	起動時
1	可搬型排風機	1	5.2	5.2	39
2	可搬型情報収集装置	1	5.6	10.8	10.8
合 計 (起動時は最高値を記載)				10.8	39
評 価			80 kVA以下		

e. 排気モニタリング設備の可搬型発電機

排気モニタリング設備に必要な負荷は以下のとおりである。対象負荷の積上げは約 2.8 kVA であることから、可搬型発電機の容量である約 3 kVA を超えることなく給電可能である。

(単位は kVA)

順番	対象機器	台数	定格容量	積上げ	起動時
1	可搬型ガスモニタ	1	0.09	0.09	0.09
2	可搬型ダスト・よう素サンプラ	1	0.3	0.39	0.39
3	可搬型トリチウムサンプラ	1	0.7	1.09	1.09
4	可搬型 C-14 サンプラ	1	0.7	1.79	1.79
5	可搬型放射能測定装置	1	-	1.79	1.79
6	可搬型核種分析装置	1	0.25	2.04	2.04
7	可搬型トリチウム測定装置	1	0.5	2.54	2.54
8	可搬型データ伝送装置	1	0.198	2.738	2.738
合計 (起動時は最高値を記載)				2.738	2.738
評価			3 kVA 以下		

f. 使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設可搬型発電機

使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設可搬型発電機の電源負荷は以下のとおりである。対象負荷の積上げは約 110 kVA、可搬型空冷ユニットの起動時を考慮しても約 150 kVA であることから、可搬型発電機の容量である約 200 kVA を超えることなく給電可能である。

(単位は kVA)

順番	対象機器	台数	定格容量	積上げ	起動時
1	可搬型燃料貯蔵プール水位計	1	0.034	0.034	0.034
2	可搬型燃料貯蔵プール	6	0.06	0.094	0.094

	水位計 (広域)				
3	可搬型燃料貯蔵プール 温度計	6	0.03	0.124	0.124
4	可搬型燃料貯蔵プール 状態監視カメラ	6	0.058	0.182	0.182
5	可搬型空冷ユニットA	1	22.378	22.56	63.26
6	可搬型空冷ユニットB	1	2.66	25.22	25.22
7	可搬型空冷ユニットC	1	21.36	46.58	99.98
8	可搬型空冷ユニットD	1	21.36	67.94	121.34
9	可搬型空冷ユニットE	1	21.36	89.30	142.70
10	可搬型空冷ユニットF	1	4.23	93.53	93.53
11	可搬型空冷ユニットG	1	4.51	98.04	98.04
12	空間線量率表示器	1	0.2	98.24	98.24
13	情報把握収集装置	1	0.65	98.89	98.89
14	代替制御室送風機	1	5.2	104.09	137.89
合 計 (起動時は最高値を記載)				104.09	142.7
評 価			200 k V A 以下		

電源容量の選定に当たっては、可搬型冷却ユニットの起動電流を踏まえ、容量を個別に積算した。

※	冷却ユニットA	定格	22.378 k V A	起動時	63.078 k V A
※	冷却ユニットB	定格	2.66 k V A	起動時	2.66 k V A
※	冷却ユニットC	定格	21.36 k V A	起動時	74.76 k V A
※	冷却ユニットD	定格	21.36 k V A	起動時	74.76 k V A
※	冷却ユニットE	定格	21.36 k V A	起動時	74.76 k V A
※	冷却ユニットF	定格	4.23 k V A	起動時	4.23 k V A
※	冷却ユニットG	定格	4.51 k V A	起動時	4.51 k V A
※	代替制御室送風機	定格	5.2 k V A	起動時	39 k V A

g. 代替環境モニタリング設備の可搬型発電機

代替環境モニタリング設備の可搬型発電機の電源負荷は以下のとおりである。対象負荷の積上げは約 0.80 k V A であることから、可搬型発電機の容量である約 3 k V A を超えることなく給電可能である。

(単位は k V A)

順番	対象機器	台数	定格容量	積上げ	起動時
1	可搬型線量率計	1	0.3	0.3	0.3
2	可搬型ダストモニタ	1	0.346	0.646	0.646

3	可搬型データ伝送装置 (衛星本体, FAXアダプタ)	1	0.15	0.796	0.796
合 計 (起動時は最高値を記載)				0.796	0.796
評 価			3 k V A以下		

#### h. 気象監視測定設備可搬型発電機

気象監視測定設備可搬型発電機の電源負荷は以下のとおりである。

対象負荷の積上げは約 0.84 k V Aであることから、可搬型発電機の容量である約 3 k V Aを超えることなく給電可能である。

(単位は k V A)

順番	対象機器	台数	定格容量	積上げ	起動時
1	可搬型気象観測設備	1	0.601	0.601	0.601
2	可搬型データ伝送装置 (衛星本体, FAXアダプタ, パソコン)	1	0.23	0.831	0.831
合 計 (起動時は最高値を記載)				0.831	0.831
評 価			3 k V A以下		

#### i. 環境モニタリング設備用可搬型発電機

環境モニタリング設備用可搬型発電機の電源負荷は以下のとおりである。対象負荷の積上げは約 2.4 k V Aであることから、可搬型発電機の容量である約 5 k V Aを超えることなく給電可能である。

(単位は k V A)

順番	対象機器	台数	定格容量	積上げ	起動時
1	モニタリング ポスト	1	0.9	0.9	0.9
2	可搬型ダスト モニタ	1	1.5	2.4	2.4
合 計 (起動時は最高値を記載)				2.4	2.4
評 価			5 k V A以下		

j. 制御建屋可搬型発電機

制御建屋可搬型発電機の電源負荷を積上げた結果は以下のとおりである。動的負荷である代替中央制御室送風機の起動時容量については、社内標準に基づき電動機の起動電流（7.5kW以下の電動機については、全負荷電流の750%）を踏まえ容量を7.5倍とし、5.2kVA／台×1台×7.5=39kVAと評価した。

代替中央制御室送風機を考慮しても48kVAであることから、可搬型発電機の容量である約80kVAを超えることなく給電可能である。

(単位はkVA)

順番	対象機器	台数	定格容量	積上げ	起動時
1	表示装置	1	1.1	1.1	1.1
2	可搬型情報収集装置	1	1.7	2.8	2.8
3	代替中央制御室送風機	1	5.2	8.0	41.8
4	代替中央制御室送風機	1	5.2	13.2	47.0
5	可搬型衛星電話（屋内用）（制御建屋）	9	2.34	15.54	15.54
6	可搬型ランシーバ（屋内用）（制御建屋）	4	3.2	18.74	18.74
合 計 (起動時は最高値を記載)				18.74	47.0
評 価			80kVA以下		

k. 緊急時対策所放射線計測設備可搬型発電機

緊急時対策所放射線計測設備可搬型発電機の電源負荷は以下のとおりである。対象負荷の積上げは約 0.8 k V A であることから、可搬型発電機の容量である約 3 k V A を超えることなく給電可能である。

(単位は k V A)

順番	対象機器	台数	定格容量	積上げ	起動時
1	可搬型線量率計	1	0.3	0.3	0.3
2	可搬型ダストモニタ	1	0.346	0.646	0.646
3	可搬型データ伝送装置 (衛星本体, F A X ア ダプタ)	1	0.15	0.796	0.796
合 計 (起動時は最高値を記載)				0.796	0.796
評 価			3 k V A 以下		

1. 緊急時対策所電源設備緊急時対策所用発電機

緊急時対策所電源設備緊急時対策所用発電機の電源負荷は以下のとおりである。対象負荷の積上げは約 1,200 k V A であることから、緊急時対策所用発電機の容量である約 1,700 k V A を超えることなく給電可能である。

(単位は k V A)

順番	対象機器	台数	定格容量	積上げ	起動時
—	緊急時対策所換気設備	1	700	700	—
—	緊急時対策所情報把握 設備	1	35	735	—
—	通信連絡設備等	1	165	900	—
—	その他 (照明, 雑動力 等)	1	300	1,200	—
合 計 (起動時は最高値を記載)				1,200	—
評 価			1,700 k V A 以下		